

舞鶴高専年報

－ 2016年度の教育・研究活動 －



独立行政法人国立高等専門学校機構
舞鶴工業高等専門学校

第14号 2017年4月

舞 鶴 高 専 年 報

— 2016年度の教育・研究活動—



国立舞鶴工業高等専門学校

第 14 号 2017 年 4 月

は じ め に

2016 年度、長岡及び豊橋にある二つの技術科学大学が創立 40 周年を迎えました。これらの国立大学は、高等専門学校教育との接続性に配慮されており、高等専門学校本科卒業生の重要な進学先となっています。高専卒業生の進路も多様化が進んでおり、現在では、約 6 割が就職、約 4 割が進学の道を選んでいます。2016 年 3 月に公表された文部科学省の調査研究協力者会議報告書「高等専門学校の充実について」の中でも、卒業後の進路が産業界であれ専攻科や大学学部への進学であれ、高度な実践力とその後の更なる可能性を兼ね備える人材を育成するという点も高等専門学校が果たすべき役割であると明記されており、このような状況も考慮した教育内容の充実が重要であるとされています。

本校における教育改善の取組としては、学生による授業アンケート、教員相互による授業参観、外部評価者も招いて実施する授業公開などを行っています。今年度実施された高専機構本部による監事監査では、外部評価者を招いて実施している本校の授業公開の取組は、全国の高専の中でもあまり例がなく、優れた取組であると評価されました。また、アドミッションポリシーに加えて、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを定め、学生が身につける能力の明確化、教育内容・方法の明確化などを図りました。今後も継続して教育の改善に取り組んでいきたいと考えています。

4 年目に入った COC 事業では、中央の委員会による中間的な事業評価が行われました。地域志向教育の内容も年々充実しており、出前授業・公開講座の件数も順調に増加しています。京都工芸繊維大学とともに取り組んでいる COC 事業「京都の産業・文化拠点形成と K16 プロジェクト」は、28 年度評価において「A」評価を受けています。

今年度、JICA による海外からの視察団が 3 度本校を訪れ、機械工学科や社会基盤メンテナンス教育センターの活動などを紹介しました。実社会に通じ、地域貢献に資する取組は、海外の同様の課題を持つ国々にとっても参考になるという意味において、国際化にも通じていることを実感しました。

18 歳から選挙権を付与する法律改正が発効した年でもありましたが、舞鶴市議会の建設班議員団が本校を訪れ、建設システム工学科の学生から公的に意見を聞くという機会がありました。一般参加者も見守る中、学生がまちづくりなどの提案を堂々で行い、有意義な意見交換の場となりました。

オリンピック開催の年でもありましたが、本校でも高専ロボコン全国大会出場、税に関する作文コンクール入賞など、多くの学生が多面で活躍しています。

舞鶴高専の活動内容も年々広がりを見せていますが、本年報が本校の活動内容の理解の一助となれば幸いです。

校 長

齋 藤 福 栄

総 目 次

はじめに	2
総目次	3
学校運営	
目次	5
運営報告	6
学科・部門別教員一覧	6 8
教職員数	8 8
学校行事日程	8 9
教育活動	
目次	8 5
学生数	8 6
入試状況	8 9
就職状況（本科）	9 0
就職状況（専攻科）	9 1
進学状況（本科）	9 2
進学状況（専攻科）	9 2
進路先一覧（本科）	9 3
進路先一覧（専攻科）	9 4
卒業研究題目	9 5
専攻科特別研究題目	9 8
インターンシップ受入先（本科）	9 9
インターンシップ受入先（専攻科）	1 0 0
課外活動成績	1 0 1
課外活動に対する教員の活動状況	1 0 3
研究活動	
目次	1 0 5
研究業績	1 0 6
外部研究費受入	1 3 2
学協会委員及び学会・研究会等の開催協力	1 3 6
教職員の活動状況	1 3 8
地域・社会活動	
目次	1 3 8
地域・社会業績	1 3 9
地域共同テクノセンター技術相談	1 4 9
地域委員	1 5 1
報道記事	
目次	1 5 3
報道記事一覧	1 5 4
編集後記	1 5 9

学 校 運 営

運営報告	6
教務委員会	6
学生委員会	1 0
学寮委員会	1 2
専攻科	1 6
人文科学部門	2 0
自然科学部門	2 2
機械工学科	2 4
電気情報工学科	2 6
電子制御工学科	2 8
建設システム工学科	3 0
図書館	3 2
情報科学センター	3 5
教育研究支援センター	3 7
地域共同テクノセンター	3 9
社会基盤メンテナンス教育センター（iMe c）	4 1
国際交流センター	4 3
留学生部会	4 4
知的財産委員会	4 5
情報セキュリティ推進委員会	4 6
企画室	4 7
評価委員会	4 9
FD・ICT部会	5 0
広報委員会	5 2
教育プログラム（MDE）委員会	5 3
進路指導委員会	5 6
学生相談室	6 0
オープンキャンパス	6 1
教育改善委員会	6 2
交通対策検討委員会	6 3
安全衛生委員会	6 4
創立50周年記念事業実行委員会	6 5
危機管理委員会 緊急連絡／安否確認システムワーキンググループ	6 7
学科・部門別教員一覧	6 8
教職員数	8 2
学校行事日程	8 3

教 務 委 員 会

教務主事 金森 満

1. 平成 28 年度役割分担

平成 28 年度の役割分担を次の表に示す。

平成 28 年度教務委員会の役割分担 敬称略 ※はチーフ *はサブ

役 割	委 員 名
総括	金森
委員長代行	教務主事補
教務制度・教務規程・教務環境の見直し・整備	※金森 主事補（全員）
モデルコアカリキュラム対応	※金森 *三輪 主事補（全員）
シラバス，We bシラバス	※内海 *三輪 主事補（全員）
学修単位化の推進	※背戸柳 *内海 荒川 小林 高谷
AL推進・教材開発	※金森 小林 奥村 高谷
定期試験・試験返却等到達度確認期間時間割編成， 授業時間割編成支援	※畑 内海
学年暦	※川田 宮崎
英語教育の充実・強化，海外研修旅行	※畑 *荒川 竹澤
学習支援（特別支援教育を含む）	※西山 *背戸柳
学習到達度試験	※金森 *背戸柳 宮崎
インターンシップ，キャリア教育	※川田 竹澤
入試広報	※金森 *西山 内海 畑
緊急連絡/安否確認システム作業部会	金森
その他教務上の問題	委員（随時）

2. 自殺予防・学力不振対策

(1) 各クラス平均点 70 点の標準化

クラス平均点が低い科目が多数見受けられるため、授業改善やアクティブラーニングにより教員自らの教育力を向上させるとともに、学生の全体的な学力を向上させることを期して、クラス平均点は 70 点以上を標準とした。「本校学業成績の評価並びに学年の課程の修了及び卒業の認定に関する規則の内規」第 2 条に明記し、各教員が徹底を期することになった。

(2) 学力補充の在り方の見直し

過年度及び前期未修得科目の追試験において、その合格率が低いことから、学力補充の在り方について見直した。未修得科目の追試験は、学生自らが未修得であった科目の自学自習を行い、学力を身につけた上で追試験に臨み、合格して行くことを想定したシステムであるが、学生の自学自習が不十分であるため合格できないことが確認された。そこで、以下の改善を行った。

①課題と追試験との総合的な評価

追試験の前に自学自習のガイドラインとなる課題を与え、課題学習の到達度を評価する観点から、追試験を実施する。課題の成果を 40%、追試験の成績を 60%として総合的に評価することを標準とし、60 点以上をもって当該科目の評価を合格（60 点）とする。

②年間スケジュール

前期申請のあった追試験においては、標準として 5 月中（前期中間試験以前）に課題を与え、7 月中に追試験を実施する。後期申請のあった追試験においては、標準として 11 月中（後期中間試験以前）に課題を与え、1 月中に追試験を実施する。6 月と 12 月を学力補充月間とする。

追試験の本実施要領は、学生便覧「追試験について（準学士課程）」に明記されることになった。

(3) 再履修免除の基準の見直し

留年した学生は 80 点以上の科目については再履修が免除され、不得意な科目の学習に時間やエネルギーを充当できるようになっている。しかし、留年する学生には一般的に 80 点以上の科目が少ないため、本システムはあまり機能していないことが確認された。そこで、再履修免除の基準を見直し、70 点以上の科目について、自己申告により再履修を免除することとした。ただし、免除科目が多すぎると、返って不登校となることが懸念されるため、上限を 8 単位とした。この基準は学生便覧「科目再履修の免除に関する申告せ」に明記することになった。

(4) 自殺予防のための特別 FD 講演会の開催

学生相談室、FD・ICT 部会、教務委員会共催により以下の通り講演会を開催した。

日 時：平成 28 年 9 月 14 日（水）13:30～15:00

場 所：大会議室

講 師：甲南大学教授 高石 恭子 先生

演 題：学生の自殺の防止と対応について

－危機にある学生を私たちはどう支えうるか－

対 象：全教職員

さらに、学生相談室メンバーを中心とした研修会を開催し、高石恭子先生に具体的な対応策や事例についてご指導をいただいた。

(5) こころと体の支援部会の設置

学生相談室の活動を中心として、カウンセラー、学校医、担任や研究の指導教員、家族関係者及び各委員会などが一体として学生のケアに取り組むことを目的として「こころと体の支援部会」を設置した。必要に応じて部会を開催し、情報を共有するとともに、有機的・効果的な対応策などを検討し、明るく楽しい学校づくりに努めている。

(6) 成績不振学生の面談の実施

後期中間試験結果に基づいて、成績不振学生との面談をクラス担任に依頼した。なぜ成績不振に陥ったのか、どこでつまづいたのか、何がいけなかったのかなど、担任が学生と一緒に考えてやり、これからどうすればよいのかについて考えさせるような指導を依頼した。

3. モデルコアカリキュラムの導入

平成 25 年度から計画的に「試案」の導入を実施してきた。その結果本年度は、建設システム工学科を除く専門 3 学科の科目では、試案への対応が概ね完了している。「IV 工学基礎、VII 専門的能力の実質化」、「英語」及び「国語」においては△を残す結果となり、今後の改善が必要である。

また、本年度出された「本案」に対する意見聴取を行い、平成 29 年 2 月に回答を完了した。平成 30 年度からの実施に向けて準備を進める。

4. Web シラバスの導入

7 月 22 日（金）を期日として、リンクを切った（非公開の）状態で、平成 28 年度の本科全科目のシラバスを試行的に Web シラバスに入力し、その後チェックを行ない、修正作業を行った。12 月には、Web シラバス上に「試行版」であることを明記して、リンクを繋いで公表した。

平成 29 年度の専攻科も含む全科目のシラバスについては、平成 29 年 2 月に Web シラバスへの入力を完了した。

5. 学修単位の導入

授業時間数を 1 割削減し、アクティブラーニングを 2 割増加させる目的で、学修単位の導入を検討した。基本方針は以下のとおりである。

- (1) 講義科目における学修単位は、30 時間の授業と 60 時間の自学自習をもって 2 単位を与えるものとする（専攻科の講義科目と同じ）。
- (2) 4 年以上の講義科目において学修単位を導入する。
- (3) 専門共通選択科目（8 単位）は、学修単位科目（8 単位）とする。
- (4) 一般の講義科目において学修単位を 1.4 単位とする。
- (5) 専門の講義科目（専門共通選択科目を含む）において学修単位を 20 単位とする。
- (6) 原則として教育内容は変更しない。教育内容を変更する場合は、モデルコアカリキュラムとの整合性を考慮するものとし、別途、カリキュラム改正の観点から検討するものとする。
- (7) 平成 29 年度内に具体案の策定を完了する。

以上の基本方針に沿って、各学科・部門のカリキュラム案をいただいた。今後は、専門共通科目の設置を検討しつつ、具体的な調整を継続して行う。

6. 教員 16 時間／週の担当計画

第三ブロックの校長会議の決定を受けて、教育の質を落とさず非常勤講師の経費を削減する目的で、一般教員 16 時間／週の授業担当案について検討した。基本方針は以下のとおりである

- (1) 平成 30 年度から、一般教員の授業時間数を原則として 16 時間／週とする。
 - (2) 学修単位の授業については、授業時間数を 2 倍にカウントするものとする。
 - (3) 平成 28 年度中に、各部門において授業科目担当案を策定し、教務委員会の議を経て運営会議において承認を得るものとする。
 - (4) 平成 30 年度から担当する科目については、平成 29 年 11 月末日までに授業の準備を完了する。
- 以上の基本方針に沿って各部門からいただいた改正案について、継続的に検討を進める。

7. 入試広報

(1) プレオープンキャンパス

プレオープンキャンパスは、これまで開催していた舞鶴会場と京都会場に加えて、本年度は三田会場、彦根会場の 4 会場で実施した。参加人数は以下の通り。

- ①舞鶴会場：中学生 93 人、保護者 82 人、②京都会場：中学生 84 人、保護者 95 人
③三田会場：中学生 27 人、保護者 31 人、④彦根会場：中学生 17 人、保護者 20 人

(2) 中学校訪問

三回に分けて、以下の通り中学校訪問を実施した。

- ①プレオープンキャンパス舞鶴会場の案内 : 4 月 20 日～5 月 13 日、近隣重点校 45 校

②プレオープンキャンパス（舞鶴会場以外）の案内：5月10日～6月3日，重点校55校

③オープンキャンパスの案内：6月6日～7月8日，対象校100校

(3) オープンキャンパス

オープンキャンパスは，西山教務主事補をチーフとして7月30日（土）31日（日）に本校で開催し，中学生400人，保護者・付添者438人の参加があった。詳細は本年報，オープンキャンパス報告を参照されたい。

(4) その他の入試広報イベント

10月29日（土）の高専祭期間中に高専祭キャンパスウォークを開催し，「技術者を目指す君たちへ」と題した講演とキャンパス・ツアーを行った。中学生64人，保護者80人が参加した。10月から11月にかけて，入試説明会を本校，京都（3会場），亀岡，福知山，豊岡，三田，草津において行った。全体で，中学生130人，保護者153人，中学校教員70人，塾講師25人が参加した。12月10日（土）に，女子の卒業生や女子の在校生の協力を得て，女子中学生高専一日体験会を開催した。女子中学生25人，保護者30人，学校関係者2人が参加した。

8. 海外研修旅行・英語デー

(1) 海外研修旅行

11月8日（火）～11月12日（土）の間，4年生は海外研修を行った。研修先は以下の通り。

機械工学科：台湾，国立聯合大學，台湾電綜股份有限公司

電気情報工学科：大韓民国，南ソウル大学，富士ゼロックス 코리아

電子制御工学科：ベトナム，ハノイ交通通信大学，エンケイ・ベトナム社

建設システム工学科：台湾，国立高雄第一科技大學，国家運動場，高雄総合図書館

大学を訪問し学生間の交流を行い，現地企業や建築物を見学することにより，技術者としての国際的視点を育成した。また，訪問国の文化に直接触れることができ，異文化理解の一助となった。

(2) 英語デー

7月15日（金）に「英語デー」を実施し，4年生と専攻科1年生はTOEICの試験を受けた。本年度からは，本科4年生と専攻科1年生は全員TOEICを受験することとし，他の学生は希望者のみ受験できるものとした。経費については，本科4年生と専攻科1年生は後援会費で，他の学生は後援会費及び受験者負担で実施することとなった。希望により受験した学生数は28名であった。

9. インターンシップ・キャリア教育

7月13日（水）進路指導委員会の協力を得て，インターンシップ説明会を開催した。原則として夏季休業中に学生を希望する企業等へ派遣し，インターンシップを実施した。機械工学科で41件，電気情報工学科で37件，電子制御工学科で20件，建設システム工学科で28件，専攻科で4件の実施があった。実施機関による評価，インターンシップ報告書における評価，インターンシップ報告会による評価を総合的に勘案し，教務委員会の議を経て単位認定を行った。詳細は平成28年度インターンシップ報告書を参照されたい。

10. 地域志向教育の推進とアントレプレナー教育

28の地域志向科目をシラバスの科目表に明示すると共に，各科目のシラバスにおいて，地域を志向した授業内容や取り組みなどを明記することとした。起業マインドを醸成するため，松江工業高等専門学校卒業生で起業家の（株）アイ・コミュニケーション代表取締役社長・目次真司氏をお招きし，11月2日（水）視聴覚教室において，アントレプレナー講演会を開催した。

11. 三つの方針の策定

学校教育法の改正に伴い，三つの方針（ディプロマ・ポリシー，カリキュラム・ポリシー，アドミッション・ポリシー）を策定または確認し，ホームページに掲載した。

学 生 委 員 会

学生主事

平成 28 年度の学生委員会、並びにその指導のもとでの主な学生会・クラブの活動等について

1. 新入生支援・指導

- 4 月 11 日 (月) クラブ紹介
- 4 月 12 日 (火) 13 (水) 新入生合宿研修
- 4 月 23 日 (土) 学生会・寮生会共催新入生歓迎会
- 5 月 9 日 (月) ～5 月 18 日 (水) パートナシップ

2. 交通安全指導・禁煙指導

- 4 月 7 日 (月) 駐車場仮登録
- 4 月 18 日 (月) 交通安全講習会 (2, 3, 5 年生及び専攻科生)
- 4 月 20 日 (水) 交通安全講習会 (4 年生)
- 4 月～6 月 駐車指導, 禁煙巡回指導
- 10 月～11 月 駐車指導, 禁煙巡回指導
- 12 月～ 積雪時の駐車指導
- 1 月～2 月 禁煙巡回指導

3. 環境美化

- 6 月 8 日 (水) 第 1 回環境美化清掃
- 9 月 23 日 (金) 第 2 回環境美化清掃
(警報による時間割変更のためクラスごとのホームルーム教室の清掃に変更)
- 12 月 7 日 (水) 第 3 回環境美化清掃
- 3 月 2 日 (木) 第 4 回環境美化清掃

4. 課外活動

<学生会>

- 5 月 7 日 (土) リーダーシップセミナー
- 5 月 9 日 (木) 学生総会
- 5 月 18 日 (水) スポーツフェスタ
- 6 月 11 日 (土) 松尾寺駅周辺ボランティア清掃
- 6 月 18 日 (土) 夕涼みコンサート (松尾寺駅駅舎にて)
- 7 月 12 日 (火) 校長フリートーキング
- 10 月 1 日 (土) 松尾寺駅周辺ボランティア清掃
- 10 月 11 日 (月) 舞鶴赤れんがハーフマラソン 2016 ボランティア
- 10 月 12 日 (火) 球技大会
- 11 月 15 日 (火) 学生総会
- 1 月 17 日 (火) 青葉会館 (売店・食堂) 業者とのフリートーキング

<クラブ活動>

- 5 月 14 日 (土) 15 日 (日) 近畿地区高専体育大会 (硬式野球)
- 5 月 15 日 (日) 福井高専との交歓試合
- 6 月 17 日 (金) 近畿地区高専体育大会抽選会
- 6 月 25 日 (土) Honda エコマイレッジチャレンジもてぎ大会
- 7 月 9 日 (土) 10 日 (日) 近畿地区高専体育大会 (舞鶴会場)

7月10日(日)	近畿地区高等専門学校空手道親善試合
7月12日(火)	全国高等学校野球選手権京都大会
7月19日(火)	近畿地区高等専門学校弓道大会
10月8日(土) 9日(日)	全国高等専門学校プログラミングコンテスト
10月16日(日)	高専ロボコン2016 近畿地区大会
11月20日(日)	高専ロボコン2016 全国大会
11月12日(土) 13日(日)	近畿地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト
12月17日(土) 18日(日)	全国高等専門学校デザインコンペティション

<高専祭関係>

10月22日(土)	高専祭市中パレード
10月27日(木)	高専祭準備
10月28日(金)	高専祭準備・前夜祭
10月29日(土) 30日(日)	本祭(一般公開)
10月31日(月)	高専祭片付・後夜祭

5. 講演会

6月27日(月)	薬物乱用防止講演会(3年生)
10月17日(月)	メンタルヘルス講演会(2年生)
11月21日(月)	H I V等予防講演会(2年生)
1月23日(月)	命の大切さ講演会(3年生)
1月30日(月)	人権講演会(1年生)

6. その他

6月14日(火)	第1回中丹高等学校補導連絡協議会
6月30日(木)	元気回復行動プランワークショップ(1年生)
7月4日(月)	防災訓練
7月15日(金)～22(金)	いじめに関するアンケート
10月6日(木)	平成28年度学生顕彰式
10月12日(火)	第2回中丹高等学校補導連絡協議会
2月14日(火)	第3回中丹高等学校補導連絡協議会

学 寮 委 員 会

寮務主事 仲川 力

平成 28 年度の学寮運営の理念および基本方針を以下に示します。

1. 平成 28 年度 学寮運営の理念

「全人教育（自主性と協調性）」

寮生活を通して1年生、2年生（低学年）は基本的な生活習慣を身に付け、人格陶冶と規則遵守の態度を養う。3年生以上（高学年）は寮生活の経験に基づき友情、相互寛容など人間関係について正しい理解と自主、自律の精神を養う。

2. 平成 28 年度 学寮運営の基本方針

- ① 勉学と課外活動の拠点としての学寮
 - ・低学年の 23 時完全消灯（ブレーカードアウン）
 - ・パソコンゲームの抑制（自習・就寝時間内の禁止）
 - ・点呼の厳格実施
- ② 安全、安心、清潔な学寮
 - ・避難訓練の実施，原子力防災の啓蒙，防犯講習会実施
 - ・二足制の維持，昼食検食，清掃チェック
 - ・給食検討委員会（委託業者の選定），栄養講座実施，寮生以外の寮内立入禁止
- ③ 人間性・社会性・公共性を育む学寮
 - ・寮生会・指導寮生会等の自主的活動のサポート
 - ・ボランティア活動のサポート
- ④ きめの細かい学生指導と相談体制の整備
 - ・フロアミーティングの実施（適宜）
 - ・フロア巡回（適宜），低学年登校指導
 - ・年度途中の1年生の部屋替実施，寮室点検
 - ・禁酒・禁煙，低学年アルバイト禁止
 - ・担任との連携（早期発見・早期対応）

3. 平成 28 年度学寮委員会役割分担（*＝責任者）

① 学寮委員による活動

役割	担当	職務内容
寮生会	* 牧野 奥村(昌)	寮生会の活動（特に役員会）をサポートする。随時寮生会役員会との会合を持つ。学寮見学を企画・実施する。
指導寮生会	* 生水 ジョナサン	指導寮生会の活動をサポートする。随時指導寮生会との会合を持つ。
給食検討・清掃	* 船木 村上	寮生会生活委員会の活動を，清掃・給食の面を中心にサポートする。給食検討委員会を主催する。1年生対象の栄養講座を実施する。
広報	* 井上 宮元	寮生会文化報道委員会の活動をサポートする。鶴友たよりを年2回発行する。学寮HPを維持管理する。

防災・防犯	* 徳永 須田	寮生会防災委員会の活動をサポートする。防災・防犯に関する寮務を企画する。避難訓練を実施，防犯講習会を実施，AED講習会を実施する。 学寮食堂における重食，盗食の防止。
車輛	* 牧野 四蔵 毛利	寮生会車両委員会の活動をサポートする。車輛許可申請の受付。無許可車輛，駐車違反の取締り，自転車の整理等を実施する。
寮生交換	* 徳永 村上	リーダーシップセミナーの実施。
無線LAN サポート	* 井上 船木 高木	寮生の無線LAN利用のサポートおよび情報科学センターとの調整。
点呼	* 伊藤 室巻	点呼結果の集計及び毎月のパソコン点呼の集計とその改善。
寮室点検	* 生水 宮野 藤田	寮室の清掃と整理整頓の指導，違反物品の持込みの取締り等を実施する。
ボランティア活動	* 奥村(昌) 四蔵	各種ボランティア活動を企画・実施する。
宿日直割当	* 上杉	年2回宿日直割当を行う。宿日直割当表作成方法の改善を図る。
特別支援教育	* 上杉 井上	特別支援教育連絡協議会の支援活動をサポートする。

② フロア担当

棟	フロア	担当	棟	フロア	担当	棟	フロア	担当
1	女子寮	上杉，中道	4	4-1	船木，四蔵	6	6-1	宮野，室巻
2	留学生	ケイ，仲川		4-3			6-2	
	2-2	徳永，藤田		5-1	伊藤，毛利		6-3	村上，須田
	2-3			5-2	牧野，奥村(昌)		6-4	
3	3-1	井上，生水	5	5-3		7	7-1	高木，仲川
	3-2				7-2			
	3-3	伊藤，毛利			7-3		宮元，仲川	
				7-4				

○学寮関係行事

4月 2日（土） 開寮

4月 3日（日） 入寮式（147名の学生の入寮と保護者懇談の開催）

4月 6日（水）～5月13日（金）フロアミーティングの実施

4月16日（土） 新入寮生挨拶指導，学生会と寮生会主催による歓迎ドッジボール大会

4月23日（土） 寮生会主催による新入生歓迎会

（午前）軽音楽同好会のライブ演奏

（午後）餅つき大会，ビンゴ大会

5月18日（水） 学寮避難訓練

6月 7日（土） 栄養学講座

6月 8日（水） 学寮部屋替え
6月 9日（木）～6月17日（金） 第1回寮室点検
7月16日（土） カレーパーティー
7月18日（月） サマーフェスティバル
7月20日（水） 学寮防犯講習会
7月23日（土） 閉寮
7月30日（土），31日（日） オープンキャンパス（学寮施設見学）
9月 4日（日） 開寮（寮室内害虫駆除，寮内廊下等ワックス掛け済）
9月20日（火），23日（金） 学寮食堂フェスタ
9月26日（月）～10月 7日（金） 第2回寮室点検
9月28日（木） 近畿国立高専寮務主事会議（和歌山高専）
10月 1日（土） 松尾寺清掃
11月 1日（火）～11月18日（金） フロアミーティングの実施
12月 8日（木） 入寮選考説明会
12月 7日（水） 寮生総会（寮生会長，寮生副会長の選挙）
12月16日（金） クリスマス企画
12月23日（金） 閉寮
12月23日（金） 2016高専女子フォーラム in 関西
1月 9日（日） 開寮
1月14日（土），15日（日） 学寮訪問（香川・高松）
1月28日（土） おでん企画
2月10日（金） 入寮選考結果発表
3月 2日（木），3日（金） 学寮部屋替え
3月 4日（土） 閉寮

○学寮委員会等の開催

4月 1日（火） 第1回学寮委員会
5月25日（水） 第2回学寮委員会
9月15日（木） 第3回学寮委員会
10月11日（火） 第4回学寮委員会
12月13日（火） 第5回学寮委員会
2月 1日（水） 第6回学寮委員会

※学生指導などに関連し，複数回の主事・主事補会議を開催。

○近畿地区寮務主事会議

平成28年9月28日（木）和歌山高専に本校および明石高専，奈良高専，和歌山高専の近畿地区国立4高専の寮務主事が集まり、本会議が開催された。

本会議では，以下に示す協議事項および承合事項について協議と情報交換が行われた。

【協議事項・承合事項】

1. メンタル面で問題を抱える学生への指導・対応について（提案校：和歌山高専）
2. 男子寮内における女性教員ら，または女子寮内における男性教員らによる巡回の実施状況について（提案校：明石高専）
3. 学寮の全寮制について（提案校：和歌山高専）

○ 女子寮生の増加に伴う改修

女子寮生の増加に伴い、現在の女子寮の部屋数では、平成 29 年度以降、不足する可能性が生じたため、3 月の閉寮後、管理棟 2 階の洗面所・シャワー室および 1 号館 2 階のラウンジを改修し、寮室 4 部屋を新設した。

専攻科

専攻科長 三輪 浩

1. 年間活動の概要

専攻科の年間活動の概要を下表に示す。

表1 活動内容

年 月	内 容
平成 28 年 4 月	・ 第 1 回専攻科委員会 ・ 専攻科（総合システム工学専攻）入学式 ・ 新入生オリエンテーション ・ 1 年生，2 年生研究室配属決定 ・ 平成 30 年度専攻科学生募集要項の作成 ・ 専攻科学生の TA（ティーチングアシスタント）募集 ・ JABEE 説明会 ・ 兵庫県立大学大学院応用情報学研究科との推薦入学に関する協定締結（締結日：5 月 20 日）
平成 28 年 5 月	・ 第 2 回専攻科委員会
平成 28 年 6 月	・ 特例適用による学位申請説明会 ・ 専攻科推薦特別選抜 ・ 第 3 回専攻科委員会 ・ 第 4 回専攻科委員会
平成 28 年 7 月	・ JSTS2016(Japan Seminar on Technology for Sustainability) 学生派遣 ・ 専攻科学力選抜試験（前期） ・ 第 5 回専攻科委員会 ・ 第 6 回専攻科委員会
平成 28 年 8 月	・ 第 3 ブロック専攻科長会議 ・ 国内インターンシップ学生派遣
平成 28 年 9 月	・ 第 7 回専攻科委員会 ・ 前期期末試験 ・ 学修総まとめ科目履修計画書の確認 ・ 国内インターンシップ報告会（ES コース） ・ 特例適用専攻科変更の届出
平成 28 年 10 月	・ 国内インターンシップ報告会（CA コース） ・ 学位見込申請 ・ 特別研究基礎中間発表 ・ 第 8 回専攻科委員会 ・ 専攻科学力選抜試験（後期） ・ 第 9 回専攻科委員会 ・ 特例適用による学位申請 ・ コース長による学生面談（1 年生） ・ 兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科との推薦入学に関する協定締結（締結日：12 月 1 日）
平成 28 年 11 月	・ 第 10 回専攻科委員会
平成 28 年 12 月	・ 専攻科ウェブページ更新 ・ 学位見込申請小論文試験 ・ 合同学校説明会参加

	・第11回専攻科委員会 ・近畿地区高専専攻科長会議 ・特例適用専攻科変更の届出（補正申請）
平成29年1月	・特別研究発表会 ・第12回専攻科委員会
平成29年2月	・エンジニアリング・デザイン演習成果発表会 ・後期期末試験（2年生：1/30～2/3，1年生：2/15～2/24） ・第13回専攻科委員会 ・学修総まとめ科目成果の要旨の確認 ・再試験
平成29年3月	・特別研究基礎発表会 ・第14回専攻科委員会 ・専攻科修了証書授与式 （電気・制御システム工学専攻2名，総合システム工学専攻17名） ・平成30年度専攻科学生募集要項の最終確認 ・電気・制御システム工学専攻の廃止届提出

2. 専攻科の運営

2.1 専攻科委員会の構成と役割分担

専攻科の活動は専攻科委員会が担い委員長，教務主事の他，学科・部門から各1名の教員および学生課長と学生課長補佐（平成28年12月より）が委員として所属し，教務関係担当職員が事務手続き業務に当たっている。なお，当該委員会は委員長の下，委員会での合議によって運営されている。平成28年度の人員構成と役割分担および事務手続き担当職員は以下のとおりである。

表2 専攻科の運営メンバー

氏名	役割	主たる業務分担	備考
三輪 浩	委員長	総括	専攻科長
金森 満		教務関係事項への助言	教務主事
片山英昭	電気・制御システム工学専攻長，電気電子システム工学コース長（併任）	当該専攻および当該コースの運営	電気情報工学科
篠原正浩	機械制御システム工学コース長	当該コースの運営	機械工学科
徳永泰伸	建設システム工学コース長	当該コースの運営	建設システム工学科
町田秀和		入試関係書類の整備	電子制御工学科
松井信義		英語入試方法の検討	人文科学部門
宮野敏男		推薦図書選定	自然科学部門
松梨英輔		事務手続きの承認	学生課長
由良耕士		事務手続きの承認	学生課長補佐
嵯峨信子		事務手続きの実施	学生課職員
富田 誠		事務手続きの実施	教務係長
中村仁美		事務手続きの実施	教務係員

2.2 入学と修了

平成28年度入学者として，4月4日に電気電子システム工学コース11名，機械制御システム工学コース5名，建設工学コース6名の学生を受け入れた。また，当該年度修了者として，3月17日に電気・制御システム工学専攻2名，総合システム工学専攻17名（電気電子システム工学コース9名，機械制御システム工学コース6名，建設工学コース2名）の学生に修了証書が授与された。

2.3 入試関係

調査書および推薦書の記入用 pdf ファイルを作成し、平成 29 年度の導入に向けてその運用方法について検討した。

2.4 特例適用専攻科変更の届出

平成 28 年度および平成 29 年度入学者に係る科目表および学修総まとめ科目担当者変更の届出を、平成 28 年 9 月に行った。この手続に先立ち、平成 28 年度入学者に対する 2 年次のシラバスおよび平成 29 年度入学者に対する 1 年次と 2 年次のシラバスの提出を担当教員に依頼した。平成 29 年 3 月、当専攻科の届出は認められ、新たに認定された科目表に基づく教育と学位申請が行われることになった。

2.5 学位授与申請

本校専攻科は平成 26 年度に特例適用専攻科として認定された。これを受け、平成 28 年 10 月に特例による学位授与の申請を行った。これに先立ち、「特例適用による学位申請説明会」を開催するとともに、学修総まとめ科目（特別研究）履修計画書の確認を行った。また、当該学生に対する履修単位の確認と学修総まとめ科目成果の要旨の確認も行った。特例適用による学位申請に対する大学改革支援・学位授与機構の審査を経て、平成 29 年 3 月、申請者全員に「学士」の学位が授与された。なお、入学年度等の関係で従来の方式による学位申請（見込申請）を行った学生は、単位の修得確認、学修成果レポートの提出および学修成果・試験を経て、全員に「学士」の学位が授与された。

2.6 JABEE 対応

平成 27 年度の JABEE 受審において指摘された改善項目で、専攻科委員会が主として担当する事項について検討した。その結果、1 年生に対する到達度確認を含む学修状況全般に関する面談の実施および「専攻科総合システム工学専攻修了者像」の改訂が行われた。また、エンジニアリング・デザイン演習については、平成 29 年 9 月のシラバス提出に向けて内容の検討が進められた。

3. 学生教育関係（進路指導含む）

3.1 学生の研修

高専機構、長岡技術科学大および豊橋技術科学大学が主催し、平成 28 年 7 月につくば市で開催された JSTS (Japan Seminar on Technology for Sustainability) に 1 年生 1 名を派遣した。このセミナーは、海外協定校の学生を交えた少人数のグループで活動し、「持続可能な科学技術」の見識を深めるとともに、英語コミュニケーション能力の向上、多様な集団で協働する能力の向上を目的としたものである。

3.2 研究成果の発表

専攻科では、学生が自身の研究成果を積極的に学外で発表することを奨励している。これは、研究発表技術を涵養するためだけではなく、学外での客観的な評価を受けることによって、研究に関する新たな発見や今後の方向性に繋がるためでもある。今年度の発表件数を以下にまとめる。なお、括弧内の数字は国際会議で内数を示す。

表 3 学外での研究発表件数

コース名	発表件数
電気電子システム工学	7 (1)
機械制御システム工学	4
建設工学	6 (1)

3.3 インターンシップ

今年度は5名の学生が国内インターンシップに参加した。これらの学生はインターンシップ報告会で報告を行うとともに、評価に基づいて規程に従って単位認定が行われた。なお、別途2名の学生が海外インターンシップを希望していたが、国際情勢悪化により派遣を断念した。派遣先と派遣期間は以下のとおりである。

表4 インターンシップ派遣状況

番号	派 遣 先	派 遣 期 間
1	知能技術株式会社	8月15日～8月26日
2	株式会社インダ	8月18日～8月24日
3	ニチコン亀岡株式会社	8月19日～8月31日
4	日新電機株式会社 コンデンサ事業部	8月22日～9月2日
5	国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所	8月18日～8月31日

注：番号2はインターンシップ期間が規程に満たないため、単位認定されていない。

4. 進路状況

本校専攻科の学生に対する企業等の求人は好調であり、ほぼ全ての学生が推薦によって内定を得ることができた。自由応募が基本の大学学部生が就職活動に時間を割いているのに比べ多くの点で高専専攻科のアドバンテージが発揮されているといえよう。また、約1/3の学生は大学院に進学し、より高度な学問を探究することとなった。進路状況を以下に示す。

表5 進路状況（平成29年3月）

進 路	企業等・大学院
就職 (内定企業)	株式会社アルファシステムズ、アイテック阪急阪神株式会社、池上通信機株式会社、株式会社インダ、オムロン株式会社、関西電力株式会社、株式会社小松製作所、株式会社GSユアサ、日新電機株式会社、パナソニック株式会社アプライアンス社、株式会社堀場エステック、三菱電機株式会社通信機製作所、兵庫県庁
進学 (合格大学院)	大阪大学大学院、京都府立大学大学院、奈良先端科学技術大学院、兵庫県立大学大学院、北陸先端科学技術大学院

5. その他

5.1 第3ブロック専攻科長会議

一昨年度まで実施されていた高専機構主催の専攻科長会議が昨年度から廃止されたことに伴い、第3ブロックを対象とした専攻科長会議が開催されることになった。今年度は岐阜高専を担当校として、8月9日（火）に名古屋都市センターで開催された。協議事項では、学位授与権に係る基本的な方向性等について議論された。また、承合事項では、特例認定関係、JABEE 関係、入試関係、履修関係等について各校の状況が説明された。

5.2 近畿地区高専専攻科長会議

今年度の近畿地区高専の専攻科長会議は、大阪府立大学高専を主管校として12月14日（水）に大阪府立大学なんば I-Site にて開催された。協議事項では、学修総まとめ科目に関連する組織的な対応について議論された。また、承合事項では、特例適用変更の届出、入試関係、等について各校の状況が説明された。

人文科学部門

人文科学部門長 垂谷 茂弘

1. 授業公開

本年度は、畑恵里子教員が1月18日（水）3・4時限「国語国文Ⅱ」（4年生選択科目）の授業時において実施した。学内評価者は人文科学部門の田村修一教員（主査）と自然科学部門の背戸柳実教員とが務め、学外評価者を元京都府立高等学校教員・元本校非常勤講師の公文公雄先生と清水厳三郎先生、及び、舞鶴市郷土資料館学芸員の小室智子先生に依頼した。

2. 英語デー

7月15日（金）、英語教員が実施運営主体となり、クラス担任等の協力を仰ぎ、教務委員会主催の学校行事としてTOEICおよびACEの団体受検を実施した。日頃の学習の成果および英語のリーディング・リスニング能力を評価する目的で、本科1・2年生はACE（Assessment of Communicative English）を、本科3年生から専攻科2年生まではTOEIC（Test of English for International Communication）を受検した。本年度は、本科4年生と専攻科1年生が全員受験（受験料無料）で、本科1・2・3・5年生と専攻科2年生は任意受験で、受験生が受験料の一部を負担した。

3. 英語プレゼンテーションコンテスト

第10回近畿地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストは、11月12日（土）と13日（日）、奈良工業高等専門学校にて開催された（主幹校、奈良高専）。

スピーチの部

建設システム工学科3年 松田早也香 Being Absorbed

プレゼンの部 Why do People Make a Pilgrimage?

電気情報工学科3年 太田航介

電子制御工学科3年 岡部武琉

電子制御工学科3年 藤村和成

スピーチの部では松田さんが審査員特別賞を受賞。すてきな顧問の先生との出会いから陸上競技にのめりこみ、かけがえのない人生の豊かな経験を得られたという内容は、青春を感じさせる良い発表であった。留学経験を持つ出場者の発表を含め、高レベルの発表が続き、非常に重圧のかかる中でも、力強く堂々とした発表態度で、審査員からも高く評価された。

プレゼンテーションの部では、巡礼をテーマにした発表で、観光業やサブカルチャーと結びついた、現代における新たな形の巡礼を分析する重厚な内容であった。入賞こそならなかったものの、審査員長からは「示唆に富んだ」発表という言葉をいただき、テーマおよび構成において高評価を受けた。

なお、このプレゼンテーション作成にあたっては、COC+「巡礼学びのプロジェクト」から、資料作成や撮影などでの協力をいただいたことを記しておく。

英語教員全員で出場者の指導にあたり、大会はジョナサン・ケイ教員と藤田教員が引率した。

4. 外部資金導入

本年度は、人文科学部門教員で、以下の者が科研費を受けている。吉永進一教員（研究分担者）基盤研究（B）（代表：安藤礼二多摩美術大学准教授）「神智学運動とその汎アジア的文化接触の比較文学的研究—東西融和と民主主義の相克—」、吉永進一教員（研究分担者）基盤研究（C）「デジタルアーカイブ構築による人文書院戦前期資料の多面的文化史研究（代表：横浜国立大学一柳廣孝教授）、吉永進一教員（研究分担者）基盤研究（C）「複眼的視点からの大本教研究—データベース構築と国際宗教ネットワークの研究」（代表：對馬路人関西学院大学教授）、吉永進一教員（研究分担者）基盤

研究（C）「実験と伝統-明治・大正期の宗教と心理体験-」（岩田文昭大阪教育大学教授）、牧野雅司教員（研究代表者）若手研究（B）「廃藩置県をめぐる日朝双方の対応を軸に読み解く近代日朝関係の成立」、児玉圭司教員（研究代表者）若手研究（B）「監獄学（刑事政策学）継受過程の再検討―「日本的特質」をめぐる言説に着目して」。

5. 「地（知）の拠点整備事業」関連

「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」に関連する講義として、「地域学Ⅰ，Ⅱ」（牧野雅司教員担当）、「現代日本の政治・経済と法Ⅰ，Ⅱ」（児玉圭司教員担当）が開講された。畑恵里子教員は、大学COC事業の一環として、日東精工株式会社様（綾部市）において、「京都府北部地域を舞台とする伝説・物語・旧跡」と題する講演を行った。同公演は、「中古文学会創立五十周年記念祝賀連携企画」でもあり、舞鶴工業高等専門学校地域テクノアカデミア見学会・講演会にて行われた。

6. 日本語検定団体受検

10月12日（土）、日本語検定団体受検を新規に導入し、実施した（田村修一教員、畑恵里子教員）。日本語検定とは、「日本語の総合的な運用能力を測るため、6つの領域から幅広く出題します。領域ごとの得意不得意がわかるよう、受検後にお送りする成績表（個人カルテ）には、それぞれの領域の得点率を記載します。」（日本語検定公式HP）というものである。読売新聞社が特別協賛、時事通信社・東京書籍が協賛、文部科学省・日本商工会議所・経団連事業サービス・全国連合小学校長会・全日本中学校長会・全国高等学校長協会・全国高等学校国語教育研究連合会が後援をしている。

本校の団体受検では（平成28年11月12日実施）、主に1～3年生が受検し、自分の日本語運用能力を測る機会となった。実施結果は以下のとおりである。

【受検者 全30名（2,3級）】 2級・準2級認定率 40% 3級・準3級認定率 96%

7. 教員の動き

平成27年度末をもって退職された宮崎操先生の後任に藤田憲司先生を准教授としてお迎えした。また、山根秀介先生が助教（任期：平成28年10月1日～平成29年3月31日）として採用となった。

自然科学部門

自然科学部門長 小野 伸一郎

1. 学力向上のための取り組み

(1) 数学基礎力診断テスト

1年生の数学基礎力診断テストを年度当初の「数学演習ⅠA」の授業時に実施しました。このテストによって基礎学力の不足が判明した学生に対しては、その後の「基礎数学Ⅰ」の授業において授業担当者が特に注意を向けることにしました。

(2) 模擬試験（3年生対象）

1年生、2年生と3年生の10月までの学習の成果を確かめるために、数学の模擬試験を11月10日（木）の「微分積分Ⅲ」の授業時に実施しました。内容は、過去の到達度試験の問題を解かせる模擬試験でした。試験実施直後に数学教員が共同作成した「解答と解説」（計24ページの冊子）を配付し、また答案返却時には、受講者各自の学習領域ごとの試験成績について、学年内及び学科内の相対位置を記した「個人成績結果」を配付するなどして、今後の学習意欲の動機付けになるように工夫しました。

物理については、1,2年次の各学習領域から精選した60題の問題の解答と解説を記した「学習到達度試験物理問題集」（物理教員が共同作成した計39ページの冊子）を9月末に学生に配付し、学習内容の復習を促しました。また、11月7日（月）7,8限には、この問題集に含まれる問題の類7,8題を出題してマークシート形式で解答させる模擬試験を実施しました。模擬試験後、学年内及び学科内の順位などを記した「個人成績結果」を学生に配布すると共に、学習領域ごとの試験結果分析を行い、次年度以降の授業の改善に利用しました。

(3) 学力向上対策

4年編入学生4名に対して、「微分積分Ⅱ、Ⅲ」の補講を週1回、前期中間試験前まで実施しました。3年留学生に対しては、希望がなかったために、補習を実施しませんでした。

(4) その他

国立高等専門学校学習到達度試験「数学」・「物理」が1月12日（木）に実施されました。

2. 授業公開

亀谷睦教員が1月17日（火）に「数学演習Ⅱ」の授業公開を行う予定でしたが、その前々日に亀谷睦教員の親族のご逝去のため、中止となりました。

3. オープン・キャンパス

本年も人文科学部門と共同での教科書展示のほか、授業の板書の抜き書きや曲面模型の展示を行いました。POPなどはハンドメイド同好会の協力を得ました。教科書の説明が華やかとなり好評でした。

4. 人事など

・数学担当の新任として4月1日に喜友名朝也講師が、また、体育担当の新任として11月15日に木村健二講師が、それぞれ着任しました。

・昭和55年から37年間の長きにわたり物理をご担当の宮野敏男教授が本年度をもって退職をします。教育はもとより、校務、学術研究をはじめ本校の発展に多大なるご功績を残しました。

・各教員の校務など

教員名	校務など
上杉智子	1年4組担任，寮務主事補，企画室員，COCプロジェクト推進会議委員，入試広報WG，理科主任，吹奏楽部顧問，女子バレーボール部顧問
梅垣浩二	
岡田浩嗣	2年4組担任，学生主事補，国際交流センター運営委員，安全衛生委員，軽音楽部顧問，弓道部顧問
奥村昌司	FD・ICT部会長，学寮委員，広報委員，吹奏楽部顧問，柔道部顧問，ボランティア同好会顧問
小野伸一郎	1年2組担任，部門長，陸上競技部顧問
亀谷 睦	教育改善委員長，FD・ICT部会員，紀要編集委員，女子バスケット部顧問，ローイング部顧問
喜友名朝也	教育支援センター運営委員会委員，図書館運営委員会委員，学生委員会委員，ハンドボール副顧問，ボランティア同好会副顧問
木村健二	広報委員，学生委員
背戸柳実	2年2組担任，教務主事補，教育プログラム委員，硬式野球部，雪上スポーツ同好会顧問
宮崎昭仁	教務委員，情報科学センター運営委員，情報セキュリティ管理委員，国際交流センター運営委員，テニス部顧問，ソフトテニス部顧問
宮野敏男	学寮委員，専攻科委員，FD・ICT部会委員，テニス部顧問，鉄道研究会顧問

機 械 工 学 科

機械工学科長 生水 雅之

1. 年間活動の概要

年 月	活 動 内 容
平成28年4月	・新入生対象学科ガイダンス (4/4)
5 月	・プレオープンキャンパス (舞鶴会場, 5/21)
6 月	・タイ国キングモンクット工科大学 Summer Training 2016 男子学生4名受入, 各卒研究室訪問 (6/14) ・プレオープンキャンパス (京都会場, 6/12) (三田会場, 6/25)
7 月	・プレオープンキャンパス (彦根会場, 7/3) ・タイ国キングモンクット工科大学 Summer Training 2016 学生4名の機械工学科での研修 (7/4~13) ・オープンキャンパス (7/30, 31)
9 月	・公開講座「3D-CAD を使ってみよう! パソコンで3Dモデル組立て」(本校, 9/4, 対象: 中学生11名) ・公開講座「考えて動かそう! きみにもできるロボットづくり」(本校, 9/5, 対象: 小中学生13名) ・インターンシップ報告会 (9/26, 対象: 4M学生)
10 月	・卒業研究中間発表会 (10/20) ・赤れんがフェスタ in 舞鶴 2016(舞鶴市役所, 10/22~23)
11 月	・海外研修旅行 (台湾, 11/8~12, 機械工学科4年生) ・舞鶴高専出前授業 2016in 高浜中学校「高専で自動車って作れるの?, 高専でロボットって作れるの?」
12 月	・女子中学生一日高専体験会 (12/10) ・機械工学科特別講演会「会社での必要スキル」(三菱重工業工作機械株式会社, 12/16, 対象: 3M, 4M学生)
平成29年1月	・工場見学 (株式会社日進製作所・本社工場&赤坂工場, 1/11, 4M希望者11名) ・授業公開「4M, 材料力学ⅡB」(授業実施者: 篠原教員, 1/20)
2 月	・工場見学 (株式会社椿本チエイン, 2/3, 4M希望者12名) ・公開講座「測定工具取扱いの基礎と引張試験の実習」(本校, 2/4, 対象: 舞鶴工業集積協議会会員5名) ・第11回科博連サイエンス・フェスティバル「MDF材でネームプレートを作ろう」, 「レーザーカットした材料で乗り物を作ろう」(京都市青少年科学センター, 2/5, 参加者: 幼稚園児, 小中学生および保護者) ・卒業研究発表会 (2/14)



オープンキャンパス (7/30, 31)

2. COC+事業による京都府内企業の工場見学

平成 29 年 1 月 11 日、機械工学科 4 年生 11 名の希望者が株式会社日進製作所本社・工場および赤坂工場を見学しました。日進製作所はホーニング盤を中心とした工作機械の開発・製造およびマシン・自動車・オートバイの部品の設計・製造を手掛けており、これらの製品が実際に作られているところを見せて頂きました。また日進製作所で活躍されている舞鶴高専 0B のエンジニアの方々との交流があり、学生からは活発な質疑がありました。

また平成 29 年 2 月 3 日、株式会社椿本チェーン京田辺工場に機械工学科 4 年生 12 名の希望者が見学を行いました。工場では様々なチェーンの生産を行っており、部品加工、熱処理、組立の各工場の案内を通して、チェーンができるまでの工程を見せて頂くことができました。見学後には舞鶴高専 0B 社員の方との交流の時間を頂き、学生からは活発な質疑がありました。

京都府内二社の見学を通して、地域企業に対する見聞を広めるとともに地域志向マインドを高めることが出来たと思います。



日進製作所での本校 0B との交流会



椿本チェーンでの製品の見学

3. 機械工学科特別講演会

12 月 16 日 14 時 35 分より、本校視聴覚教室で以下のような特別講演会を実施しました。

題目：会社での必要スキル

講師：三菱重工業工作機械株式会社 技術部工作機械設計課 基本機チーム主席チーム統括
加藤 卓氏（本校機械工学科 0B，24 期生）

対象：機械工学科 3 年生，4 年生および本校関係教職員

三菱重工業株式会社という巨大企業として、また工作機械株式会社として取り組んでいる事業内容について、興味深い話を聞くことができました。平易な用語を使ってわかりやすい講演に学生達は興味深く聞き入っていました。質疑応答では普段の授業では見られない多数の質問が学生から出されるなど、充実した講演を聴講することができました。会社での必要な力として、講演者より頂いた言葉「積極性を持つこと」、「何事にも興味を持つこと」、「あきらめず最後までやりぬくこと」等は、現在の学生生活を送る上で、また今後の進路を決める上で大いに参考になったことと思います。



三菱重工業工作機械株式会社・加藤氏による特別講演会

電気情報工学科

学科長 竹澤 智樹

1. 年間活動の概要

年 月	内 容
平成 28 年 4 月	・新入生を対象としたガイダンス(4/4)
平成 28 年 5 月	・プレ・オープンキャンパス(5/21 本校)体験学習「身近な電気信号を観測しよう！」
平成 28 年 6 月	・プレ・オープンキャンパス(6/12 京都市)体験学習「身近な電気信号を観測しよう！」 ・プレ・オープンキャンパス(6/25 三田市)体験学習「身近な電気信号を観測しよう！」
平成 28 年 7 月	・プレ・オープンキャンパス(7/3 彦根市)体験学習「身近な電気信号を観測しよう！」 ・創造工学成果発表会 (7/19) ・オープンキャンパス(7/30, 7/31) 体験学習「振れば絵が出る残像イルミネーション！」丹下,「ソフトで体験！画像処理!!」芦澤
平成 28 年 9 月	・インターシップ 報告会(9/26 ; 4 年生, 企業 34 社, 大学等 4, 井上)
平成 28 年 10 月	・電気情報工学科講演会(10/13 ; 電気三学会関西支部主催) 「企業における画像認識技術開発の取り組み」 三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 研究員 渡邊 清高 氏 ・工学基礎研究の配属を決定(10/18) ・卒業研究中間発表会(10/20 ; 上位 2 名 電気学会主催高専卒業研究発表会 3 月) ・赤れんがフェスタ出展 (10/22, 23)
平成 28 年 11 月	・4 年生研修旅行(韓国, 引率 ; 井上, 船木)(11/8~12) ・キッズ★バリアフリーフェスティバルしちゃった in まいづる(11/19) ・東舞鶴駅イルミネーション設置(11/22 大型バスにて 3 年生全員移動し設置完了) NTT テクノフィールド株式会社の技術者から地域貢献として現場指導
平成 28 年 12 月	・東舞鶴駅イルミネーション点灯制御(点灯期間 12/1-2/28, 担当 3 年工学実験) ・女子中学生 1 日高専体験会(12/10 本校 竹澤, 古林) ・冬の公開講座「フルカラー LED で七色に光るクリスマスツリーを作ろう!!」 (12/10 片山, 丹下, 福井)
平成 29 年 1 月	・授業公開「回路理論(科目担当 : 竹澤, 主査 : 内海)」(1/20) ・4 年生工学基礎研究発表会 (1/31, 2/2)
平成 29 年 2 月	・5 年生卒業研究発表会 (2/14) ・3 年生工場見学 (2/27 パナソニック)
平成 29 年 3 月	・電気学会関西支部主催高専卒研発表会 (3/4)



創造工学発表会



赤れんがフェスタ



東舞鶴駅イルミネーション



冬の公開講座



3 年生工場見学



高専卒業研究発表会

2. 学生による学会発表

年 月	発 表 学 会	発 表 者
平成 28 年 8 月	日本高専学会（第 22 回年会講演会） “n 型シリコン基板を用いた学生実験用ショットキーバリアダイオードの検討”	江湖俊仁，森 涼太 （内海研）
平成 29 年 1 月	第 22 回高専シンポジウム in 三重 “チタン-アルミニウム電極を使用したショットキーバリアダイオードの検討” “微粒子光学フィルタの透過特性の評価” “学生実験のためのショットキー型太陽電池の基礎的検討”	江湖俊仁，森 涼太 （内海研） 安藤直也，池山拓斗 （内海研） 森 涼太，江湖俊仁 （内海研）
平成 29 年 3 月	電気学会関西支部高専卒業研究発表会 “チタン-アルミニウム電極を使用したショットキーバリアダイオードの作製” “フラクタル画像圧縮における縮小写像系の検討” 平成 29 年電気学会全国大会 “PV モデルを用いた MPPT の高速化の検討” 第 64 回応用物理学会春季学術講演会 “ショットキーバリアダイオード教材の改良”	江湖俊仁（内海研） 田邊天音（芦澤研） 池野孝（中川研） 江湖俊仁，森 涼太 （内海研）

3. 電気情報工学科特別講演会

平成 28 年 10 月 13 日（木）に電気四学会関西支部主催の特別講演会を、本校視聴覚教室にて開催しました。講師は三菱電機株式会社先端技術総合研究所の渡邊清高氏にお願いして、「企業における画像認識技術開発の取り組み」のご講演を頂きました。学生達は、画像処理の技術が様々な場面で利用されているというお話を、非常に興味深く聞かせて頂きました。



特別講演会

4. プレ・オープンキャンパス、オープンキャンパス、女子中学生 1 日体験会

プレ・オープンキャンパス、オープンキャンパスおよび、女子中学生 1 日高専体験会の体験学習では、本科生と専攻科生が中学生に内容を優しく教えました。3 イベント 6 日間に、多くの在校生が説明役を担ってくれました。



プレ・オープンキャンパス



オープンキャンパス



女子中学生 1 日高専体験会

5. 5 年生の進路状況

今年度の 5 年生は在籍者 31 名で、進学希望者が 20 名、就職希望者が 11 名と、進学希望者が 65% と高いクラスでした。また進学者の内 9 名が舞鶴高専専攻科に進学することも大きな特徴です。就職活動は、経団連の方針により 6 月 1 日から企業の選考が開始されることとなり、前年度より 2 か月の前倒しとなりました。そのため 7 月末までにほとんどの就職希望者が内定を獲得できました。（金山）

就職(主な内定企業)：アイテック 阪急阪神(株)，医療システムズ(株)，CTC テクノロジー(株)，日新電機(株)，日鉄住金 テックスエンジ(株)，三菱電機(株)，(株)ミライト，矢崎総業(株)，レンゴー(株)，(株)ロジックデザイン

進学(主な合格先)：岡山大学，京都工芸繊維大学，島根大学，豊橋科学技術大学（4 名），長岡科学技術大学（2 名），福井大学，舞鶴高専専攻科（9 名），室蘭工業大学

電子制御工学科

電子制御工学科長 川田 昌克

1. 年間活動の概要

電子制御工学科の年間活動の概要を下表に示す。

年 月 日	活 動 内 容
H28 年 4 月 4 日 (月)	新入生専門学科ガイダンス
H28 年 5 月 21 日 (土)	プレオープンキャンパス (舞鶴高専)
H28 年 6 月 11 日 (土)	出前授業「舞鶴高専学生が開発したロボットの実演と LEGO によるカニ型ロボットの製作」(小浜市図書館, 担当: 川田)
H28 年 6 月 12 日 (日)	プレオープンキャンパス (京都会場)
H28 年 6 月 25 日 (土)	プレオープンキャンパス (三田会場)
H28 年 7 月 3 日 (日)	プレオープンキャンパス (彦根会場)
H28 年 7 月 14 日 (木)	【COC 事業】出前授業「水の流れをマッピングしてみよう!」(舞鶴市立三笠小学校, 担当: 野間, 畑 (教育支援センター))
H28 年 7 月 30 日 (土)・31 日 (日)	オープンキャンパス
H28 年 8 月 28 日 (日)	公開講座「つくってみよう! 移動ロボット」(1 回目: ロボット組み立て講習会)
H28 年 10 月 3 日 (月)	4 年生インターンシップ報告会
H28 年 10 月 20 日 (木)	5 年生卒業研究中間発表会
H28 年 10 月 22 日 (土)	【COC+事業】出前授業「ロボット操作体験」(みずなぎ鹿原学園, 担当: 川田, 畑 (教育支援センター))
H28 年 10 月 22 日 (土)・23 日 (日)	「赤れんがフェスタ in 舞鶴 2016」における学科展示
H28 年 10 月 29 日 (土)	公開講座「つくってみよう! 移動ロボット」(2 回目: 小学校の部, 競技会)
H28 年 10 月 30 日 (日)	公開講座「つくってみよう! 移動ロボット」(2 回目: 中学校の部, 競技会)
H28 年 11 月 8 日 (火)～12 日 (土)	4 年生海外研修旅行 (訪問国: ベトナム, 訪問校: 交通通信大学, 訪問企業: エンケイ・ベトナム社)
H28 年 11 月 17 日 (木)	出前授業「高専でロボットってつくれるの?」(高浜町立高浜中学校, 担当: 川田)
H28 年 11 月 19 日 (土)	【COC+事業】出前授業「LEGO MINDSTORMS と iPad を利用したロボット製作と競技」(舞鶴市立城南中学校, 担当: 川田)
H28 年 11 月 20 日 (日)	【COC+事業】出前授業「iPad を用いたプログラミング教室」(舞鶴市立白糸中学校, 担当: 井上 (電気情報工学科), 川田)
H28 年 11 月 28 日 (月)	出前授業 (京都市立桂中学校, 担当: 芦澤 (電気情報工学科), 高木)
H28 年 11 月 30 日 (水)	1 年生工場見学 (オムロン株式会社綾部事業所)
H28 年 12 月 10 日 (土)	女子中学生 1 日高専体験会
H28 年 12 月 14 日 (水)	授業公開 (科目: 計算機工学Ⅱ, 授業担当者: 町田)
H28 年 12 月 19 日 (月)	【企業技術者等活用プログラム事業】シーケンス制御実習 (講師: 谷岡弘基氏 (オムロン株式会社))
H28 年 12 月 22 日 (木)	学科特別講演会「ロボットスーツ HAL を使用した鈴鹿ロボケアセンターの取り組み」(講師: 竹腰仁志氏 (鈴鹿ロボケアセンター株式会社))
H29 年 2 月 13 日 (月)・14 日 (火)	5 年生卒業研究発表会
H29 年 2 月 27 日 (月)	4 年生創造設計プロジェクト競技会

2. 教育活動

(1) 各種競技会

PBL によるアクティブ・ラーニングとして以下の競技会を実施した。

- ・「工学基礎」(1 年)におけるライントレースカー競技: 6 月 1 日 (1-3), 7 月 20 日 (1-4), 12 月 14 日 (1-1), 2 月 8 日 (1-2)
- ・「電子制御実習」(2 年)におけるライントレースカー競技: 2 月 8 日
- ・「電子制御実験」(3 年)におけるミニロボコン: 2 月 7 日
- ・「創造設計プロジェクト」(4 年)におけるミニロボコン: 2 月 27 日

4 年の「創造設計プロジェクト」の「アイデア出しプレゼン」と「競技会」には、COC+事業の一環として、オムロン株式会社より企業技術者に参加していただいた。

(2) インターンシップ (4・5 年生)

夏季休業中に 4 年生 16 名が企業, 4 年生 2 名・5 年生 2 名が教育機関のインターンシップに参加

し、5～10日の就業（就学）体験をした。また、インターンシップ参加学生はインターンシップ報告会で発表した。

(3) 特別講演会（3～5年生，12月22日）

今年度は竹腰仁志氏（鈴鹿ロボケアセンター株式会社）に、「ロボットスーツ HAL を使用した鈴鹿ロボケアセンターの取組み」という題目でご講演いただいた。ロボティクス技術の福祉分野への応用事例を実演も交えて説明していただいた。



(4) 工場見学（1年生，11月30日）

「工学基礎」で実施される工場見学として，昨年度と同様オムロン株式会社綾部事業所を訪問した。会社概要の説明を受けた後，製造現場を見学し，本校卒業生1名も交えて活発な質疑応答があった。

(5) 海外研修旅行（4年生，11月8日～12日）

海外研修旅行としてベトナムを訪問し，交通通信大学との交流を行った。また，日本企業の現地法人であるエンケイ・ベトナム社を訪問した。海外渡航が初めての学生が多く，貴重な経験となった。

(6) 講習会（3年生，12月19日）

授業改善を検討するために講師を招き，シーケンス制御実習の講習会を実施した。

3. 学科広報活動

(1) 公開講座

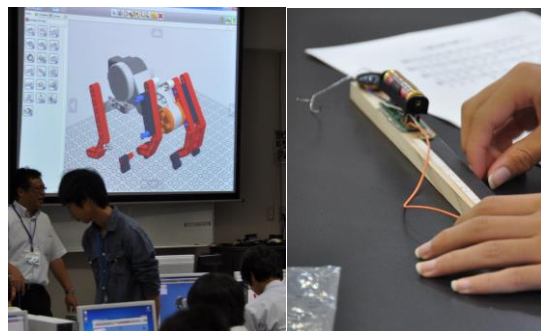
公開講座「つくってみよう！移動ロボット」（小学生の部と中学生の部）を8月28日（ロボット組み立て講習会）と10月29日・30日（競技会）の2回ずつ実施した。募集定員20名に対して多数の申し込みがあった。成績優秀者2名ずつが和歌山県御坊市で開催される「全日本小中学生ロボット選手権」に進み，小学生の部で「ものづくり大賞受賞」および「第3位入賞」を，中学生の部で「優勝・ものづくり大賞受賞」を果たした。

(2) 出前授業

7件の出前授業を実施した。このうち，COC・COC+事業として小学校1校，中学校2校を訪問した。

(3) プレオープンキャンパス，オープンキャンパス，女子中学生一日高専体験会

本校・京都・三田・彦根会場（5月21日・6月12日・6月25日・7月3日）で実施されたプレオープンキャンパスでは，本学科のカリキュラムの特徴の説明と，学生が開発したロボットの実演を行った。7月30日・31日に実施したオープンキャンパスでは，午前中に学科展示（本学科で実践しているPBL教育や卒業研究の紹介）を行った。また，午後に体験学習「レゴロボットを作って動かそう」，「シンセサイザーを作って演奏しよう」を実施した。12月10日開催の女子中学生一日高専体験会では，本学科女子学生に授業やクラブ紹介をしてもらった。また，本学科卒業生（佐藤美澄氏（株式会社GSユアサ））にもプレゼンをしていただいた。



4. 進路状況

最近5年間の進路状況を下表に示す。本年度も就職希望者，進学希望者については全員の進路が確定した。

年度	卒業者数	就職	進学	その他
平成28年度	35	18	15	2
平成27年度	33	14	18	1
平成26年度	37	19	18	0
平成25年度	37	23	14	0
平成24年度	32	17	15	0

建設システム工学科

建設システム工学科長 四蔵茂雄

1. 年間活動の概要

建設システム工学科の活動概要を下表に示す。

年 月	活 動 内 容
28 年 4 月	・新入生対象専門学科ガイダンス (4/4)
28 年 5 月	・プレ・オープンキャンパス in 舞鶴 (5/21)
28 年 6 月	・プレ・オープンキャンパス in 京都 (6/12)
28 年 7 月	・公開講座「まちをつくろう1 -いえパズル-」(7/9) ・オープンキャンパス (7/30～31)
28 年 9 月	・インターンシップ報告会 (9/26)
28 年 10 月	・卒業研究/卒業設計 中間発表会 (10/20) ・赤れんがフェスタ出展 (10/22, 23) ・建設技術展 2016 近畿 技術出展 (10/26～27)
28 年 11 月	・3C 見学会 (11/9) ・4C 海外研修旅行 台湾 (高雄) (11/8～11)
28 年 12 月	・女子中学生一日高専体験会 (12/10) ・特別講演会 藤田香織先生「近年の木造建築の潮流」(12/14)
29 年 1 月	・建設システム工学科全体集会 (1/20) ・授業公開 「河川環境」(三輪教員) (1/18) ・出前授業 「住まいの設計」(白糸中学校, 青葉中学校) (1/31, 2/2, 2/13, 2/14)
29 年 2 月	・卒業研究/卒業設計 発表会 (2/17) ・まいづる土木・建築フォーラム (2/27)
29 年 3 月	・高専土木系工学教育の諸問題を話す会参加, 呉高専 (3/21～22)

2. 教育活動

(1) 4 年生インターンシップ・体験学習

夏期休業中に実施される企業・役所等のインターンシップ, 大学の体験学習に 29 名の学生が参加した。学生はその結果を「インターンシップ報告会」で発表した。

(2) 4 年生海外研修旅行

平成 28 年 11 月 8 日 (火) から 11 日 (金) の 4 泊 5 日で, 海外研修旅行として台湾を訪問した。11 月 9 日 (水) は高雄第一科学技術大学との交流会を実施した。(写真-1)



写真-1 海外研修旅行

(3) 3 年生見学会

3C 学生 39 名は, 平成 28 年 11 月 9 日 (水) に京都市のみやこめっせで開催された水道研究発表会と水道展(主催: 日本水道協会)を見学した。水道研究発表会では, 水道に関する研究発表を聴講した。水道展では最新の水道技術の展示を見学した。(写真-2)

写真-2 3C 見学会
(みやこめっせ)

3. 学科活動

(1) 公開講座，出前授業

公開講座はまちづくりや商店街づくりを題材に，舞鶴高専の商店街ラボ「よろず」で実施した。（写真-3）出前授業では，白糸中学校と青葉中学校で住宅づくりに関する授業を行った。



写真-3 公開講座（よろず）

(2) プレ・オープンキャンパス，オープンキャンパス

舞鶴会場，京都会場，三田会場，彦根会場において，プレ・オープンキャンパスを実施した。学科の概要を説明すると共に，舞鶴会場と京都会場では，「地震に強い家づくり」と題する地震時倒壊解析の紹介とトータルステーション（測量機器）の実演を行った。（写真-4）三田会場と彦根会場においては建築模型作品，トータルステーション，アメニティメータ等の展示を行った。

オープンキャンパスでは，都市環境系の実験室を公開すると共に，計測機器や学生の成果品を展示した。また，体験学習として「篠原一男の住宅作品「白の家」の模型作りと液状化を再現する模型作りを実施した。（写真-5）フレンドリーで熱気のこもった説明等，学生の協力と活躍により，参加中学生から高い評価を得ることができた。



写真-4 プレオープンキャンパス
（舞鶴会場）



(a)展示説明



(b)体験学習

写真-5 オープンキャンパス

(3) 第5回まいづる土木・建築フォーラム

平成29年2月27日（月）に当学科主催のフォーラムを舞鶴市政記念館ホールで開催した。このフォーラムでは，5年生が卒業研究で取り組んだ舞鶴およびその周辺に関わる研究成果として，10件の口頭発表と5件のポスター発表を行った。（写真-6）



写真-6 土木建築フォーラム



4. 進路状況

平成28年度卒業生の進路状況は下表のとおりである。本科が2コース制となって8期目を数える。

コース	就職			進学・編入学			合計
	民間企業	官公庁	小計	専攻科	大学学部	小計	
都市環境	12	3	15	1	6	7	22
建築	8	1	9	2	3	5	14
合計	20	4	24	3	9	12	36

図 書 館

図書館長 尾上 亮介

1. 長岡技術科学大学・高等専門学校統合図書館システム (E-Cats)

長岡技術科学大学附属図書館が、全国立高専 55 キャンパスと連携し、当該システムを管理・運用している。このシステムの最大の特徴（利点）は、同大学にサーバ管理業務を集約し、システム管理やメンテナンス等を同大学が一元的に行っている点である。

なお、現行システムは第 2 期に当たり、第 3 期は平成 29 年 3 月開始予定で、それへ向けての各種対応が、同大学に止まらず各高専でも今後益々重要になってくる。

2. ブックハンティング

学生会図書委員長と調整のうえ、今年度も昨年度同様、前期の土曜日（5 月 21 日）に、大垣書店イオンモール KYOTO 店で実施した。学生 45 名（学生会図書委員と留学生及び専攻科生代表）と引率教員が、学習参考書や教養図書等を選書し、187 冊（324,792 円）を購入した。

参加者：尾上 亮介、石川 一平、喜友名 朝也、渡邊 彰宏、溝畑 仁

3. 第 18 回(平成 28 年度)高等専門学校及び技術科学大学図書館情報交流集会

今年度は「障がい学生の図書館利用に対する合理的配慮 ～高専図書館・長岡技科大でできること～」をテーマに開催された。

昨年度同様、グループミーティングと全体ミーティングがプログラムのメインとなり、加えて今年度は JDreamIII の利用講習会が行われた。各高専や長岡技術科学大学関係者に加えて、機構本部からも参加があった。

日 時 1 日目：平成 28 年 8 月 25 日(木) 10:30～17:20

2 日目：平成 28 年 8 月 26 日(金) 9:00～15:10

場 所 長岡技術科学大学マルチメディアシステムセンターほか

参加者 溝畑 仁

4. 平成 28 年度近畿地区高等専門学校図書館連絡協議会

協議事項「(1) 図書館の活性化に向けてどのような取り組みを行っているか」、「(2) 図書館利用を促すためのソフト的（ブックハンティングなど）、ハード的（施設整備など）な種々の取り組みについて、意見交換を行った。

日 時 平成 28 年 10 月 27 日(木) 13:15～16:00

場 所 ホテルアウエーナ大阪

当番校 舞鶴高専

参加校 明石高専、奈良高専、和歌山高専、大阪府立高専、神戸市立高専、近畿大学高専

5. 「舞鶴高専図書館だより(NIT, Maizuru College Library Information)」第 95 号の発行

今年度は 3 月に、村上信太郎委員（図書館だより主担当）が主導して発行した。

第 95 号では、教員による学生向け推薦図書紹介文や貸出しランキングを掲載した。

また、学生の読書感想文がメインとなっている。先生方にとっては、普段接している学生の別の一面を垣間見られたのではないかな。

「図書館だより」が、それを手に取った学生・教職員にとって、図書館への興味や関心を喚起する一助になっている。

6. 研究支援サービス

図書館ホームページ中の「研究支援サービス」のページより、以下の電子ジャーナル及び学術情報データベースを提供している。

- (1) 長岡技術科学大学によるコンソーシアムを介して提供しているサービス
 - ・ ScienceDirect, AIP(American Institute of Physics), APS(American Physical Society), JDreamIII
- (2) 機構本部によるコンソーシアムを介して提供しているサービス
 - ・ Science, MathSciNet, CiNii

また図書館で提供（利用）している他のサービスとして、以下のものがある。

- (1) 国立情報学研究所(NII)が行っているサービス
 - ・ NACSIS-ILL (図書館間で行われている相互貸借サービス (文献複写や資料現物の貸借の依頼及び受付) のメッセージのやりとりを電子化したシステム)
 - ・ ILL 文献複写等料金相殺サービス (NACSIS-ILL の料金情報を元にして参加機関同士の利用料金を相殺するシステム)
 - ・ Webcat Plus(NII 図書情報ナビゲータ)
 - ・ KAKEN(科学研究費助成事業データベース)
 - ・ JAIRO(学術機関リポジトリポータル)
- (2) その他の機関が行っているサービス
 - ・ NDL-OPAC(国立国会図書館蔵書検索, 複写・貸借申込みシステム)
 - ・ JST(国立研究開発法人科学技術振興機構)文献複写サービス (平成 28 年 2 月末日でサービス終了)

ScienceDirect や NACSIS-ILL 等の平成 28 (2016) 年における利用件数は以下のとおりである。

- (1) ScienceDirect の利用件数(平成 28 年 1 月～10 月)

- ・ アクセスされたジャーナル数 : 162 誌
- ・ アクセスされた論文件数 : 840 件
- ・ 利用の多い電子ジャーナルのトップ 10 及びアクセスされた件数

順位	ジャーナル名	件数
1	Proceedings of the Combustion Institute	129
2	Materials Science and Engineering: A	63
3	Automation in Construction	60
4	Journal of Alloys and Compounds	29
5	Fuel	27
6	Journal of Number Theory	24
7	International Journal of Heat and Mass Transfer	19
8	Energy Procedia	17
8	Journal of Computational Physics	17
8	Solar Energy Materials and Solar Cells	17
9	Mechanics of Materials	15
9	Renewable Energy	15
10	Renewable and Sustainable Energy Reviews	14

- (2) NACSIS-ILL の利用件数(平成 28 年 1 月～12 月)
 - ・ 文献複写依頼 : 25 件, 図書貸借依頼 : 5 件, 文献複写受付 : 1 件, 図書貸借受付 : 1 件
- (3) 国立国会図書館への文献複写等の依頼件数(平成 28 年 1 月～12 月)
 - ・ 文献複写依頼 : 2 件, 図書貸借依頼 : 0 件
- (4) JST への文献複写依頼件数(平成 28 年 1 月～12 月)
 - ・ 文献複写依頼 : 0 件

7. 「研究支援サービス」で挙げた資料についての補足説明

- ScienceDirect

エルゼビアが提供するデータベース。エルゼビア発行の2,500タイトル以上の電子ジャーナルが搭載され、バックファイルについては、1995年以降のものが収録されている。検索雑誌の本文全てを閲覧できる「フルテキストデータベース」であり、オンライン上での閲覧やダウンロードが可能である。

- JDreamIII

JSTより提供されてきたJDreamIIを引き継ぎ、(株)ジー・サーチにより提供されている科学技術や医学などの文献情報検索システム。データベースに収録されている学术论文の抄録等の情報を閲覧することが可能である。

- Science

アメリカ科学振興協会(AAAS)発行「Science」誌のオンライン版。1997年以降の本文閲覧が可能である(本校は平成25年1月からコンソーシアムへ参加)。

- MathSciNet

米国数学会が提供するデータベース。1940年以降の世界の数学文献情報を包括的に収録。検索した学术论文の抄録及びレビュー等の情報を閲覧することが可能である。

- CiNii

国立情報学研究所が提供するデータベース。国内の学术论文情報を中心に収録し、一部の論文に関しては、本文の閲覧が可能である。



情報科学センター

情報科学センター長 野間 正泰

情報科学センターには、「研究・教育部門」と「機器運用・セキュリティ部門」の2つの部門がある。研究・教育部門では、学术交流に関する講演会、全学生対象のネットワーク講習会、情報科学センター年報の発行などを行っている。機器運用・セキュリティ部門では、校内の教育、研究および業務において使用するサーバやネットワーク機器類の維持管理と教育用電子計算機システムの運用を行っている。

1. 研究・教育部門

情報科学センターでは産官学の技術交流の一環として、学内外の技術者や研究者が一堂に会し、活発に情報交換ができる場を提供するとの主旨のもと、情報科学センター講演会の企画・開催を継続してきたが、今回で41回を数えることとなった。昨年度からは年1回、後期に開催することにし、負担軽減をはかっている。本年度の講演内容を表1に示す。

藤田准教授の講演要旨は、以下のとおりであった。アウシュビッツ強制収容所体験を証言するレーヴィの語りは「人間（ヒューマン）」の概念を大きく揺さぶる問を投げかけてくる。呼吸をしてはいないが、もはや人としての「生」を生きてはいない人間、証言不可能な存在、その形象を前にして如何なる語りが可能なのか。否、むしろ証言不可能な存在にこそ語りの可能性があるのではないだろうか。可能性の条件として不可能性をとらえる思考は、現在進行形で噴出している「生」を奪われた人間を思考する手掛かりとなるだろう。

喜友名朝也講師の講演要旨は、以下のとおりであった。Bernoulli 数とは、1713年スイスの数学者 Jakob Bernoulli が導入した有理数である。この有理数は、べき乗和の公式や Riemann ゼータ関数の特殊値など、数学のいたるところで現れる「人気者」である。本講演では、Bernoulli 数に関連する数学の話題と最新の研究結果（300年以上も前に発見された対象でも、まだまだ新しい知見があるのだ!!）をお話ししたい。

いずれの講演においても活発な質疑応答が行われたが、学外から聴講者がなかったのが残念であった。

表1 2016年度情報科学センター講演会

第41回講演会（2016年12月1日（木）15:00～16:50）、参加者33名（教職員31名、学生2名）	
(1) 人文科学部門	藤田憲司准教授：「生」のアクチュアリティー プリーモ・レーヴィの証言を読み解く
(2) 自然科学部門	喜友名朝也講師：「Bernoulli 数とゼータ関数」



写真1 藤田准教授の講演



写真2 喜友名講師の講演

2. 機器運用・セキュリティ部門

(1) 教育用電子計算機システムの管理・運営

今年度のハードウェア障害は、サーバの電源およびバックパネルの障害による交換が2件、サーバのディスク障害による交換が1件、端末のマウス故障による交換が6件、端末の原因不明な障害によるマ

ザーボード交換が2件であった。

なお、平成22年3月に更新され7年間利用してきた教育用電子計算機システムは、今年度末に延長リースを終えることとなった。このため、今年度は機器更新のための仕様策定と入札が行われ納入業者が決定した。新システムは、前システムと同じく、OSをサーバ上のイメージから起動し使用するネットワークブート方式である。次年度の大きな変更点として、システムが導入される演習室が変更されることが挙げられる。情報科学センター演習室と電子制御工学科棟3階CAD/CAM教室については従来通りであるが、図書館3階マルチメディア教室が学生所有のパソコンなどを用いた授業用教室となり、新たに本館2階CALL教室と専攻科棟情報演習室を加えた4部屋体制となる。

(2) 校内LAN基幹システムの運用

平成25年3月に更新された校内LAN基幹システムは運用開始から丸4年が経過した。今年度も、校内LAN基幹システムのハードウェアとソフトウェアには大きな障害は発生しなかった。しかし、ネットワークについては、今年度もMACアドレスのフラッピングが多発し、一部の棟においてネットワークが不通となる不具合が発生した。ポートの再起動により応急対応しつつ調査したところ、特定の古いルータや10MスイッチングHUBを使用している箇所が多発していることがわかった。これらが原因とは特定できていないが、念のため古いルータやHUBを交換したところ、現在は安定して稼働している。

また、昨年度末になるが、従前は京都デジタル疎水ネットワーク経由でSINET4データセンターに接続されていた外部接続回線の切り替えを行った。これは高専機構統一ネットワークシステム導入に向けたネットワーク構成の標準化に伴い、専用回線によりSINET5データセンターへ直結する構成となったものである。切り替え当時は若干の不具合があったものの、現在は安定した外部接続回線となっている。

その他、基幹サーバと同様にミッションクリティカルなシステムとして、サーバールームのエアコンが挙げられる。今年度は、他の機器の異常から発生したブレーカーダウンによる停止と、センサー異常による停止の、計2回の障害が発生した。これらは常駐職員不在時に発生したが、温度監視システムによる通知を受け、勤務中の教職員により応急対応することができた。バックアップ用のエアコンがあれば万全であるが、予算の関係で設置が厳しいのが現状である。

最後に、国立高等専門学校機構では、平成30年度の統一ネットワークシステム導入へ向け作業が進められている。本校においても、施設係と協力しながら光ケーブルの敷設、外部接続回線の切り替えを行ってきた。また、システム導入業者も決定し、ヒアリングを重ねているところである。機器運用・セキュリティ部門として、統一ネットワークシステムの導入は、将来の学生や教職員が利用する情報インフラに大きく関わるため、引き続き丁寧に対応していきたいと考えている。

(3) グループウェアの更新

現在、本校で運用されているグループウェアの更新について検討を行った。平成18年から無償グループウェア「Group Session」が運用されているが、本格稼働から10年以上経過しており、ハードウェアの老朽化による障害やソフトウェア障害などが頻発し、また、管理部署や利用上のルールがあいまいであるなどの問題を抱えている。さらに、国立高等専門学校機構による情報セキュリティ監査においても、不安定である点やアップデートを含めたメンテナンスが困難である点が指摘され、グループウェアの更新を勧められてきた。以上の観点から、新しく導入する有償グループウェアの選定を行い、株式会社ネオジャパンの「desknet's NEO パッケージ版」を採用することに決定した。このグループウェアの管理・運用（規則）などについては今後の検討課題となっている。

3. その他

本稿では、平成28年度の取り組みについて概要を報告した。業務が年々多忙化し、教育関連の時間確保が難しくなっているが、情報システムは業務や日常生活において必要不可欠となっており、安全にシステムを提供し利用するためには、情報関連に限らず基礎教育や啓発は必須のこととなっている。国立高等専門学校機構主導の取り組み以外にも、情報科学センターとして、独自のセキュリティ講演会開催や新規グループウェアの活用を通じて、全学的なセキュリティレベルの向上に努めていきたい。

教育研究支援センター

教育研究支援センター長 西山 等

教育研究支援センターでは、昨年度に引き続いて、教育研究の支援ならびに地域貢献等に関連して、さまざまな取組みを行った。現在、常勤 12 名体制で職務を遂行している。

以下に、本年度に技術職員が取り組んだ活動および成果について報告する。

1. 教育研究支援

本年度も昨年度までと同様に、実験・実習を中心として教育研究支援の役割を果たしてきた。本年度はその支援の中で得たノウハウや新たな技術を基に、高専技術教育研究発表会 in 木更津に 1 件、総合技術研究会 2017（東京大学）に 1 件、近畿地区国立高等専門学校技術職員研修会に 1 件、その他学会および研究会に 5 件等、その成果を発表し、技術職員としての業績の積み重ねが積極的に行われた。

実習工場においては、平成 28 年 4 月 20 日（水）、独立行政法人 国際協力機構（JICA）の本邦研修の一環で、コートジボワール産業・鉱業省局長らが本校実習工場などを見学した。本支援センター職員が工場設備、特に炭酸ガスレーザー加工機の説明などの対応を行った。レーザー加工機で作製した木製定規を手渡し、好評だった。

一方、研究支援においては、卒業研究や受託試験等、技術職員の視点で支援を行っている。

また、各学科で行われている地域貢献や学校 PR 事業も多数支援し、学科学校運営に大きく貢献している。

2. 公開講座および出前授業

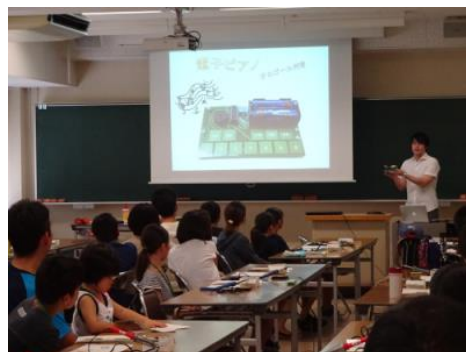
平成 28 年度は公開講座 3 件、出前授業 2 件を行った。受講生の皆さんに、なぜ？と不思議に感じてもらうことや、身近にある材料で作成できることなどを考慮し、公開講座や出前授業用の教材を開発している。

平成 28 年 9 月 3 日には、教育研究支援センター主催の公開講座「電子ピアノを作ろう」を開催した。本講座では、あまりなじみのないはんだ付けの体験ができる電子工作を教材とした。本教材を開発するにあたり、部品点数をできるだけ少なくすることで、小学生でも集中力をなくさず作業できるようにプリント基板の製作を行った。実際には、電子ピアノの鍵盤にあたるスイッチを静電容量を用いたタッチセンサをプリント基板上に形成することにより、大幅な部品点数の削減を行った。

大半の受講者は、はんだ付けになじみがないことや自己流であるため、正しくはんだ付けをできるようにはんだ付けの講習を行い、電子ピアノの製作を行った。慣れないはんだ付けで苦勞しながらも完成して音が鳴った時の笑顔が印象的であった。上手いかわなくて、スタッフの手を借りながら、受講者全員完成させることができた。音を題材にした教材のため、音の仕組み（音程、音色、音の大きさ）についての説明も好評であった。

平成 28 年 11 月 19 日には、教育研究支援センター主催の公開講座「レーザー加工でオリジナル定規を作ろう！ー測って削ってコマも作ろうー」を開催した。今年度 2 回目となる本講座では、ものづくりにおいて重要となる測定器をテーマに、簡易ノギスの組み立てや測定及び逆立ちコマの加工を体験してもらった。

初めに概要を簡単に説明し、まずは CAD にてオリジナル三角定規のデザインをしてもらった。お絵かきソフトとは異な



る CAD の独特な操作にもすぐに慣れ、それぞれが思い思いの絵や文字をデザインした。次に、あらかじめ用意しておいた MDF による組み立てキットを使用し、簡易ノギスを組み立ててゼロ点や副尺の滑りを調整してもらった。少し時間がかかるかと心配していたが、受講生全員が手際よく組み立てることができた。その後、組み立てたノギスを使って、柄の長い逆立ちコマの全長を測定した。理論的に逆立ちする全長まで、柄を削っては測定し、また、実際に回してみたりしながら調整した。最後に、初めにデザインした模様をレーザー加工機でけがく様子を見学してもらい、講座は終了となった。

レーザー光や逆立ちゴマの原理など、少し難しいところもあったが、ものつくりの楽しさに加え、ノギスという測定器やレーザー加工について知ってもらえる良い機会になった。

平成 28 年 12 月 3 日には、教育研究支援センター主催の公開講座「暗くなると光る家形 LED ライトを作ろう」を開催した。今年度 3 回目となる本講座は、暗くなると LED が光る回路を製作するとともに、回路を覆う木製の家形模型を組み立てて、家形 LED ライトを作成するものである。

講座では、はじめに家形模型のデザインに使うレーザー加工機や暗くなると LED が光る仕組みの説明を行い、その後、CAD を使ったデザイン、回路製作、家形模型の組み立てを行った。CAD による作業では、予め準備しておいた素材をコピー、移動するなどして、家形模型の屋根の部分のデザインを考案してもらった。受講者の作成したデザインは担当者がレーザー加工機用のデータに変換後、加工機により、模型屋根部分へのけがきの作業を行った。この間、受講者は次の作業である電子回路製作を行った。電子回路はフォト IC ダイオードや高輝度 LED、抵抗などを用いた簡単な回路であり、ほとんどの受講者が難なく、回路を完成させることができた。最後に木材を組み合わせて家形模型を作る作業を行ったが、金づちを使った経験があまりないためか、受講者にとって一番難しい作業だったようである。金づちによる釘打ちに苦戦する受講者が多かったものの、同伴の保護者の方々や職員のサポートにより、全員が時間内に家形模型を完成することができた。



平成 28 年 11 月 12 日、11 月 26 日には、出前授業を行った。今回の教材は、WG を中心に設計した回路と市販のおもちゃとを組み合わせ、ハンダ付け不要のブレッドボードを用いた教材とした。また、可変抵抗により音の感度と走る距離を調節できるものとした。初めに概要と原理を簡単に説明し、その後、ブレッドボード上に回路を組んだ。受講生は、トランジスタ、ダイオード、マイク、コンデンサ等初めて見る電子部品に戸惑いながらも、回路を組んでいた。電池を接続したテストでうまく動作しなかった受講生は、回路図とにらめっこしながら一生懸命回路を調整していた。また、完成後の走行テストでは、可変抵抗を自分なりに何度も調整しテストを繰り返す姿が印象的だった。

3. 人事評価自己申告に基づく活動発表会

平成 24 年度から実施している活動発表会は、各技術職員が年度の初めに年度目標・計画を立て、年度の終わりに目標・計画がどの程度達成できたかを、教育研究支援センター長および全技術職員に対して発表するものである。この開催により、各技術職員がどのような目標を持ち、どのような姿勢でその目標を達成しようとしているか、どのような問題に直面しているか等、活動状況をお互いが理解し合うことができ、問題解決にあたるヒントを全体で探り出すこともできる。本年度は 3 月 6 日に実施した。

地域共同テクノセンター

地域共同テクノセンター長 平地克也

地域共同テクノセンターは地域貢献活動の推進、および地域の企業や官公庁との連携の強化を目的に種々の活動を実施しています。平成 28 年度の主な活動を以下に報告します。

<地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）>

「地（知）の拠点整備事業」は、地方創生のための文部科学省の事業で、地域の拠点となる大学や高専の機能強化を目的としています。COC プロジェクト推進会議を中心として全校をあげて取り組んでいます。地域共同テクノセンターでは公開講座・出前授業の推進や地域企業との連携強化を通じて COC の推進に貢献しています。

<舞鶴高専地域テクノアカデミア>

舞鶴高専地域テクノアカデミアは COC を契機として舞鶴高専と地域産業界の連携強化のために平成 26 年 3 月に設立された企業団体です。地域共同テクノセンターはその活動推進に貢献しています。平成 28 年度は 7 月 27 日に総会、11 月 14 日に見学会と講演会が実施されました。講演会では次の 2 件の講演を行い、会員の皆様から好評をいただきました。

- (1) 生水雅之教授、「日東精工株式会社と舞鶴高専機械工学科の産学連携活動のご紹介」
- (2) 畑恵里子准教授、「京都府北部地域を舞台とする伝説・物語・旧跡」



生水雅之教授の講演



畑恵里子准教授の講演

<企業技術者等活用プログラム>

企業技術者等活用プログラムは、企業技術者等の優れた実践的技術力を高専教育に活用するために設けられた国立高専機構のプログラムです。舞鶴高専では地域共同テクノセンターが取りまとめて応募しています。平成 28 年度は「COC で築いた地域との繋りによる地域貢献」というテーマで応募し、採択されました。4 学科全てが参加し、次の 4 つのプロジェクトを実施しました。

- ・機械工学科：地域課題に対応できる機械技術者育成プロジェクト
- ・電気情報工学科：ものづくりによる地域貢献プロジェクト
- ・電子制御工学科：現場ニーズに即したシーケンス制御実践カリキュラム構築
- ・建設システム工学科：商店街空き店舗活用プロジェクト

<展示会>

舞鶴高専および教員の研究成果を PR するために積極的に展示会に出展しています。平成 28 年度は次の 2 つの展示会に出展しました。

- (1) ビジネス・エンカレッジ・フェア（11 月 9 日、10 日）

「マイドームおおさか」にて開催、次の 2 件の展示を行いました。

- ・火災延焼シミュレーションに関する研究紹介：城崎町喜多地区のシミュレーション結果について

- ・社会基盤メンテナンス教育センター（iMec）
：iMec 講習会や橋梁点検に関する技術資格認定の紹介
- (2)建設技術展 in 京都（10月26日,27日）
「マイドームおおさか」にて開催，専攻科の研究と社会基盤メンテナンス教育センター（iMec）の紹介パネルを展示しました。



建設技術展 in 京都（10月26日,27日）

＜舞鶴高専技術通信＞

舞鶴高専技術通信は毎年発行している地域共同テクノセンターの機関誌です。平成28年度も3月に発行しました。舞鶴高専の産学官連携活動の状況などを紹介しています。京都北都信用金庫の各支店などで配布していただきました。

＜公開講座・出前授業＞

舞鶴高専では公開講座と出前授業は地域貢献の重要な手段として積極的に取り組んでいます。平成28年度は94回実施しました。地域共同テクノセンターは公開講座・出前授業を管轄しており，その推進のための環境を整備しています。



太陽光で色が変わるアクセサリ作り

空気抵抗の小さな浮子と η - η を作ってみよう

電子ピアノを作ろう

＜微細加工実験室＞

地域共同テクノセンターには各学科の教員が共同で利用できる微細加工実験室があり，ナノテク研究のための高度な設備を備えています。4つの研究室が使用しており，研究成果を精密工学会関西地方定期学術講演会，高専シンポジウム，応用物理学会などで発表しました。精密工学会関西地方定期学術講演会では2年連続でベストポスタープレゼンテーション賞を受賞しました。

また，公開講座「ナノテクノロジー体験教室」を7月24日（日）と12月3日（日）の2回実施しました。午前は小学生を対象に，薄膜形成技術の応用例として鏡の作製と簡単な真空実験であるエジソン電球の実験を行いました。午後は中学生を対象に，マイクロログヤマスクパターンの形成を行いました。



社会基盤メンテナンス教育センター（iMec）

社会基盤メンテナンス教育センター長 玉田 和也

安全・安心な暮らしには、橋梁やトンネル、高速道路等の社会基盤（インフラ）の適正な維持管理が不可欠です。インフラの老朽化が全国的に問題となる中、市町村は技術力不足のため適切な維持管理が困難な状況にあります。『建設』から『維持管理』へ思考を転換し、インフラの維持管理や修繕等に対応できる人材の育成が急務です。

今年度から iMec では、対面式の講習会の事前学修として e ラーニングを組み込んだ e+iMec 講習会を実施しています。事前学修により修得した知識と対面式の座学に加え、橋梁の劣化部材の観察や体験型学習、維持管理計画の立案演習などを行い受講者がより主体的に学修できる教育プログラムを構築しました。また、地域の産官と舞鶴高専による「京都府北部社会基盤メンテナンス推進協議会」を通して地元ニーズを抽出し、「橋梁点検【基礎編】・【応用編】」に加えて「鋼構造物の非破壊検査」「コンクリートの品質管理」「地盤と斜面」の教育コンテンツの開発と実証検証を行いました。

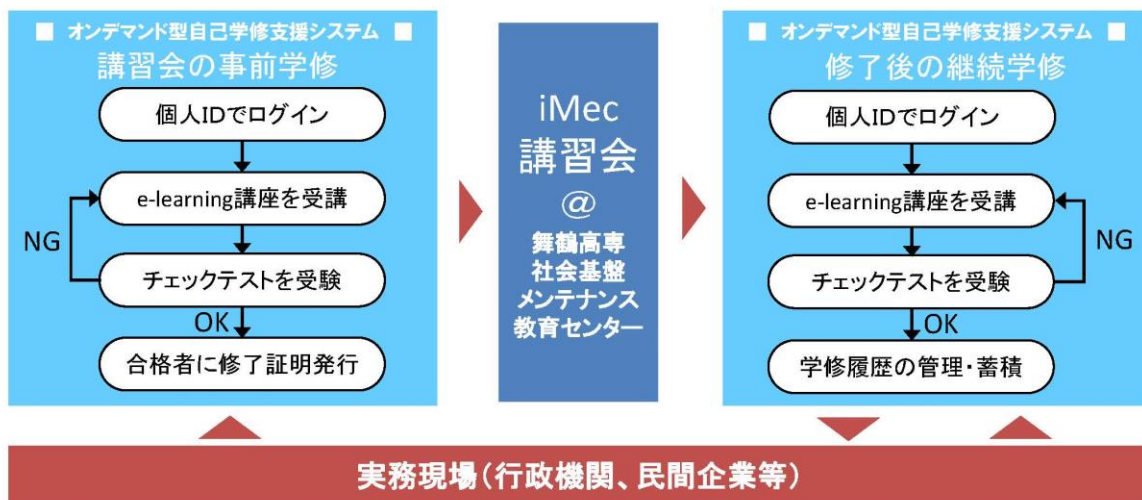
eラーニングによるオンデマンド型自己学修支援システム



実務者のニーズ（多忙な業務とメンテナンス技術獲得・向上の両立）に応え
時間・場所を選ばず必要な時に必要な知識を学修できる環境を構築

eラーニングによるオンデマンド型自己学修支援システム

- iMec講習会受講者は事前学修としてeラーニングを受講し、必要な知識を修得
- iMec講習会修了者には継続学修の環境としてシステムを常時公開



今年度の活動として、16回のe+iMec講習会（基礎編は2日間、応用編は3日間）を実施し、受講者125名のうち准橋梁点検技術者48名と橋梁点検技術者2名の資格認定を行いました。また、高専生を対象とした夏季インターンシップを実施し、最終日には舞鶴市が管理するクレインブリッジの内部に入り維持管理のポイントを実地で研修しました。

また、2016年度JICA研修（都市内道路整備コース）を受入れ、1回目（8月12日）は、14カ国（アフガニスタン、カンボジア、エジプト、インド、インドネシア、ヨルダン、キルギス、ラオス、マレーシア、フィリピン、スリランカ、タジキスタン、トルクメニスタン、ベトナム）から計16名が参加しました。また、2回目（9月30日）も、14カ国（コートジボワール、ウガンダ、エチオピア、ケニア、コンゴ民主共和国、ザンビア、ジブチ、セネガル、タンザニア、ナイジェリア、マラウイ、ルワンダ、リベリア、スワジランド）から計14名が参加しました。研修会では、日本の橋梁の維持管理や技術者教育の実態について説明したほかに、iMecのコンクリート教材部材を用いた打音点検や鉄筋探査、赤外線サーモグラフィなどの体験学習を行いました。



今年度より、iMecで実施した講習会により高専機構から「准橋梁点検技術者」と「橋梁点検技術者」の資格認定を行っています。その資格がこのたび国土交通省の登録資格として認定されました。これによって、基礎編+応用編を受講し資格認定試験に合格すると国土交通省や地方自治体が発注する橋梁点検業務に関する資格要件を満足することになり、資格の有効活用ができるようになりました。

〔独〕国立高等専門学校機構による橋梁メンテナンスに関する技術資格の認定 『橋梁点検技術者』及び『准橋梁点検技術者』

- 平成28年度から〔独〕国立高等専門学校機構による橋梁メンテナンスに関する技術資格として『橋梁点検技術者』及び『准橋梁点検技術者』の認定を開始
（平成28年度の認定者数：橋梁点検技術者2人、准橋梁点検技術者48人（他10人手続き中）H29.3現在）
- 舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター（略称iMec）において、技術資格認定講習会及び認定試験を実施
（講習会開催実績：橋梁点検技術者講習会2回、15人、准橋梁点検技術者講習会13回、96人）
- 現在17機関が橋梁点検・診断の民間資格付与機関として登録
このうち、教育機関は6機関（5大学、1高専）
- 『橋梁点検技術者』は平成29年2月24日付で『国土交通省登録資格』に登録
国及び地方公共団体では業務発注に際し総合評価で加点評価するなど資格保有者を積極的に活用



学生のキャリアアップ

建設系学科の高専本科生及び専攻科生・大学生による在学中の技術資格取得を推進

地域への貢献

全国の高等専門学校との連携による地域の技術者育成と教育拠点の形成



〔独〕国立高等専門学校機構
が認定する技術資格

応用編
『橋梁点検技術者』認定講座

国土交通省が発注する全ての橋梁形式の点検業務を実施できるレベル

基礎編
『准橋梁点検技術者』認定講座

地方自治体が発注する一般的な橋梁形式の点検業務を実施できるレベル
道路構造物の損傷に関する初歩的な知識及び技能を修得する（受講は任意）

技術資格名称	技術資格認定要件 (全てに該当していること)	点検業務の実施範囲 (特殊な橋梁形式 (アーチ橋、吊橋、斜張橋等) 一般的な橋梁形式 (桁橋、梁橋、橋脚橋等))
准橋梁点検技術者	● e+iMec講習会【基礎編（橋梁点検）】又は准橋梁点検技術者 切替講習会の修了証を授与されていること ● 准橋梁点検技術者認定試験合格証を有していること	資格なし 点検業務※
橋梁点検技術者	● 准橋梁点検技術者として認定を受けていること ● 橋梁の整備・維持管理に係る1年以上の実務経験を有すること ● e+iMec講習会【応用編（橋梁点検）】の修了証を授与されて いること ● 橋梁点検技術者認定試験合格証を有していること	点検業務 刷新業務※

※主に地方自治体発注業務を対象

インターンシップ

- 対象
全国の高専本
科生、専攻科生
- 実施時期
夏季休暇中など
- 場所
舞鶴高専iMec
- 期間
1週間または2週
間、1dayなどカ
リキュラムをカ
スタマイズ可能

准橋梁点検技術者及び橋梁点検技術者の認定・登録・更新等フロー



国際交流センター

国際交流センター長 荒川吉孝

1. 海外協定校からの受け入れ（キングモンクット工科大学サマー・トレーニング）

6月13日（月）から7月16日（土）にかけて、協定校のタイ王国キングモンクット工科大学（KMITL）学生4名（男子）をインターンシップ生として受入れた。KMITLからの受け入れは下に述べる中部日本海高専国際化推進委員会の5高専で連携して行っている。

タイ留学生と引率のNattawoot先生とは関西空港でケイ教員が出迎え、岡田教員がオリエンテーションを行った。今年は機械工学科で研修を行い、須田教員と室巻教員とが指導を担当した。専門の研修に加え、保健体育Ⅲ（畠山教員、斎藤教員）、応用解析1（奥村教員）、現代英語Ⅰ（荒川）の授業を参観し、保健体育では剣道の体験もした。華道部（畑教員担当）では、コーチの藤岡先生とコーチ補助の田中先生とにご指導いただき、体験交流の機会を持った。また、市内見学（松井教員、ケイ教員）や、奈良見学（竹澤教員）を実施した。最後に、本校学生、指導教員、教職員等を交え、報告会を行い、斎藤校長より修了証が授与された。報告会の模様はスカイプでKMITLに中継された。

2. 海外インターンシップ

8月22日（月）から9月2日（金）にかけ2週間のインターンシップをMalaysia-Japan International Institute of Technology (MJIT)（クアラルンプール）で行う予定だったが、7月初め、穏健なイスラム教徒の国バングラデシュで日本人がISにより殺害され、当運営委員会臨時会議を開催した。6月末にはクアラルンプール近郊でISの関与したとされる初めての爆発事件もあり、東南アジアでのISの拠点の一つとしてマレーシア国内でテロを起こす可能性もあるため、今年度は実施を見送ることになった。また、今後の派遣についても検討課題とした。

一方、タイ日進でのインターンシップについても、本校で1名、他の中部日本海の4高専から1名、計2名の募集をしたが、該当する学生が進学希望のため、応募がなかった。

3. 海外研修旅行

研修旅行WG（座長：金森教務主事）の要請を受け、現地の日系企業等とは国際交流委員の豊田教員、竹澤教員、野間教員が、協定校を含む各大学とは荒川が連絡調整を行なった。次に各学科の主な訪問先、引率者、旅行期間を示す。

機械工学科 [台湾]：国立聯合大學，台湾デンソー（村上教員、室巻教員）

電気情報工学科 [韓国]：南ソウル大学校，富士ゼロックス 코리아（井上教員，船木教員）

電子制御工学科 [ベトナム]：交通通信大学，エンケイ・ベトナム（野間教員，清原教員）

建設システム工学科 [台湾]：国立高雄第一科技大學，建設現場見学（玉田教員，尾上教員）

期間：11月8日（火）から12日（土）まで

なお、今年度も外務省から渡航に対し注意が出たため、タイへの訪問は見送った。

4. その他の連携活動

中部日本海高専国際化推進委員会（主幹校、舞鶴高専）を8月18日（木）、金沢市で開催し、長岡、富山、石川、福井、舞鶴の5高専の委員が国際交流等での連携について協議した。本校からは松梨課長と荒川とが出席した。昨年度提案されたテレビ会議システムによるインターンシップ報告会について検討した結果、日程の合わないことが確認され、代りに各校が作成したインターンシップ報告資料を共有することにした。資料は企業の情報等も含まれるため公開せず、中部日本海の委員が管理することとした。また、海外派遣の際に依拠する外務省の危険度基準について情報交換したところ、レベル1ないし2の場合、保護者の意向を考慮して判断している高専の多いことが確認された。

なお、3月10日（金）に、同じく金沢市で、中部日本海の今年度第2回会議が開催され、一年間の活動を振り返り、新年度の計画等について協議した。

国際交流センター運営委員会留学生部会

留学生部会長 金森 満

1. 在籍状況について

本年度、本校には国費外国人留学生3名、マレーシア政府派遣留学生3名、私費留学生1名の計7名の留学生在籍しています。所属学科、学年等は次表のとおりです。高専の留学生は、3年次に編入学し、本人が学習を希望する学科に受け入れられます。

平成28年4月現在

名前（通称名）	性別	国 籍	所属学科・学年	入学年度	備考
イクマル	男	マレーシア	建設システム工学科5年	25	政府派遣留学生
イスマイル	男	マレーシア	機械工学科5年	26	政府派遣留学生
グエン	男	ベトナム	機械工学科5年	26	私費留学生
サアダ	女	マレーシア	電気情報工学科5年	26	政府派遣留学生
ベラ	女	インドネシア	建設システム工学科5年	26	国費留学生
チュカ	女	モンゴル	建設システム工学科4年	27	国費留学生
アーミー	男	タイ	電子制御工学科3年	28	国費留学生

平成9年3月にはイクマル君（帰国）・イスマイル君（帰国）・グエン君（KYB株式会社に就職）・サアダさん（室蘭工業大学に編入学）・ベラさん（千葉大学に編入学）の5名が卒業しました。

2. 留学生支援について

留学生の勉学及び日常生活を支援するため、本部会（部会長：教務主事）を開催して当該年度の事業計画を協議しています。留学生支援として見学旅行及び交流会の他に、相談員（チューター）等に経費支弁を行っています。

また、留学生用教材の購入、日本語教室の設備充実を図っています。

平成28年度行事

近畿地区留学生交流会：10月22日（土）・23日（日） 1泊2日 当番校 舞鶴高専

熊川宿散策・若狭塗箸研磨体験・立杭焼絵付け体験等

本校参加者：留学生4名、高谷教員、住友教務係員、嵯峨学生課員 計 7名

（4国立高専参加者 留学生36名、引率教職員 6名）

見学旅行：12月16日（土）・17日（日） 1泊2日

藍染め体験・五色台見学・うちわ作り、うどん作り体験・大塚国際美術館見学等

参加者：留学生6名、谷川学生主事、嵯峨学生課員 計 8名

学内交流会：12月20日（火）午後16時30分～，青葉会館学生食堂

参加者：留学生、チューター、寮生会役員、学生会役員、卒業留学生クラスメート、教職員 約60名

3. 留学生の地域交流について

舞鶴国際交流協会との懇話交流会

6月25日（土）西市民プラザ等 3Sアーミー、5Mグエン参加

たぶんかサロン（舞鶴市国際交流課・舞鶴国際交流協会主催）

9月24日（日）中総合会館 3Sアーミー、5Mグエン参加

4. 次年度の受入予定について

平成29年度は国費外国人留学生1名（スリランカ）、マレーシア政府派遣留学生1名が新たに3年生に編入学することになります。

なお、国費留学生は東京日本語教育センターで、マレーシア政府留学生は本国で1年間日本語の勉強をしてから、本校に入学する予定です。

知的財産委員会

知的財産委員会委員長 平地克也

＜特許セミナーの開催＞

本科4, 5年生を対象とした特許セミナーを平成28年11月16日（水）に開催しました。

弁理士 三宅康雅氏および吉田秀幸氏に「特許権の取得から特許権侵害を巡る攻防まで」を主なテーマとして、最近の特許訴訟の紹介、おにぎりパック特許権物語の具体例を交えながら特許に関する基礎知識、また、社会人になるに当たって最低限必要な特許の知識を学びました。非常に興味深く聞き入る学生が多く、積極的に質問する学生たちの姿が見られました。



＜知財委員会の開催＞

第1回 平成28年4月27日（木）

三菱重工業（株）との共同研究出願特許の今後の継続の可否を審議。

第2回 平成28年6月1日（水）

三菱重工業（株）との共同研究出願特許の今後の継続の可否を審議、権利放棄を決定。

第3回 平成28年7月26日（火）

新明和工業（株）との共同研究出願特許2件の継続の可否を審議、権利放棄を決定。

第4回 平成28年9月6日（火）

新たに創出された知的財産権の評価（予備的審査）を実施、評価妥当と機構に報告。
（京都プラント工業との共同研究による発明1件：本校担当 野毛准教授）

第5回 平成28年11月29日（火）

新たに創出された知的財産権の評価（予備的審査）を実施、評価妥当と機構に報告。
（椿本チェーンとの共同研究による発明2件：本校担当 須田助教）

情報セキュリティ推進委員会

情報セキュリティ推進委員長 野間 正泰

情報セキュリティ推進委員会は、本校の情報セキュリティに関わる専門的及び技術的問題の審議と、情報セキュリティの推進を行うことを目的にしている。

標的型攻撃やフィッシング詐欺など、インターネットにおける脅威は増加しており、最近ではランサムウェアなど新しい脅威も生まれている。また、攻撃対象は企業や個人だけでなく、教育機関を標的とする脅威も増えている。このようなことから、高専機構 CSIRT では脅威や事例を紹介し、各高専に注意喚起を行っている。本委員会では、その学内周知だけでなく学内で発見された怪しいメールについても、緊急度に応じて注意喚起を行った。また、日常業務でコンピュータを利用する我々教職員だけでなく、校内ネットワークを利用する学生も含めセキュリティ意識を向上させていく必要がある。その一環として、2016 年 11 月の高専機構情報セキュリティ e-Learning の実施に加え、12 月には本校独自の教職員向け情報セキュリティ研修を実施した。

IT 資産管理について、高専機構では、株式会社ハンモックの「AssetView WEB」を用いて各高専の IT 資産の管理を行ってきた。この資産管理ソフトウェアが、次年度より、株式会社内田洋行の「ASSETBASE」に変更される。資産管理システムの移行作業のため、従来本校で実施している IT 資産管理を一部省略することとなった。そのため、最新の Windows Vista の利用者は把握できないため、これまでのデータをもとに、2017 年 4 月 11 日にサポートが終了する Windows Vista の利用者に対して、OS のアップデートや新規購入を依頼する予定である。

機構本部による情報セキュリティ監査が 2016 年 8 月 29 日～8 月 31 日にあり、① 組織、危機管理、自己点検及び見直し、② 情報システムの利用遵守、③ 利用者 ID 及びパスワードの運用管理、④ 情報システムの運用管理、⑤ 情報システムの調達及び外部委託について確認が行われた。情報戦略推進本部の監査担当者より、○組織への周知状況、○情報資産の管理方法、○実施手順の整備状況、○2013 年の監査結果への対応などについて指摘を受けた。この監査結果を受け、情報資産の管理について、申請書を作成し、教職員に周知をはかった。また 2013 年の監査時に指摘を受けた本校で運用しているグループウェアを更新することとした。今後は、情報セキュリティ管理委員会と連携し、指摘を受けた実施手順書を整備するとともに、インシデント発生時の対応力を強化していきたい。

企画室

企画室長 奥村 幸彦

1. 年間活動の概要

舞鶴高専の第3期中期計画に基づき平成27年度計画の策定と、各部門、各学科、委員会等への周知、年度計画の取りまとめ、中間フォローアップ、および年度末の成果の取りまとめを行った。概算要求事項（営繕要求）の必要性と緊急性による順位決定や施設設備に関するマスタープランを検討した。以下に企画室が主として行った代表的な活動を以下に示す。

2. 男女共同参画に関する講演会

7月14日（木）、本校の女子学生と教職員を対象にして、男女共同参画に関する講演会「中小企業のワークライフバランス ～ナベルの場合～」(講師：(株)ナベル常務取締役 岡 民子氏、写真参照)を開催した。講演会では、ご自分の経験を語られ、子育てと仕事を両立することの大変さが再認識できる講演内容であった。その際に将来においてどのようにポジティブに進むかの目標をしっかりと自身で持つことが重要であるとされた。本講演会は男女共同参画推進をめざし、本校の女子学生を支援するために実施する女子学生交流会に併せて開催した。(女子学生83名、教職員21名参加)

3. 女子学生交流会

7月14日（木）、本校の女子学生を対象として女子学生交流会を開催した（学生委員会との共催）。この交流会は、男女共同参画社会の推進を目指し、女子学生の過ごしやすい学校を実現するために女子学生支援の情報提供を行うこと、および学校環境改善についての意見を挙げることを目的として、H25より実施している。当日は本科および専攻科の女子学生83名が参加し、学校の設備や行事の改善について活発な話し合いが行われた。女子学生達の意見を今後の学校の改善に取り入れている。今年度の舞鶴高専の取り組み事例（女子学生がより快適に学べる修学環境の取り組み事例）を具体的に以下に示す。

- ・B棟3F女子トイレドアの改修 7月27日
- ・テニスコートに時計の設置 11月4日設置
- ・駐輪場の照明改修（LEDセンサーライトに更新） 11月8日着工 など。



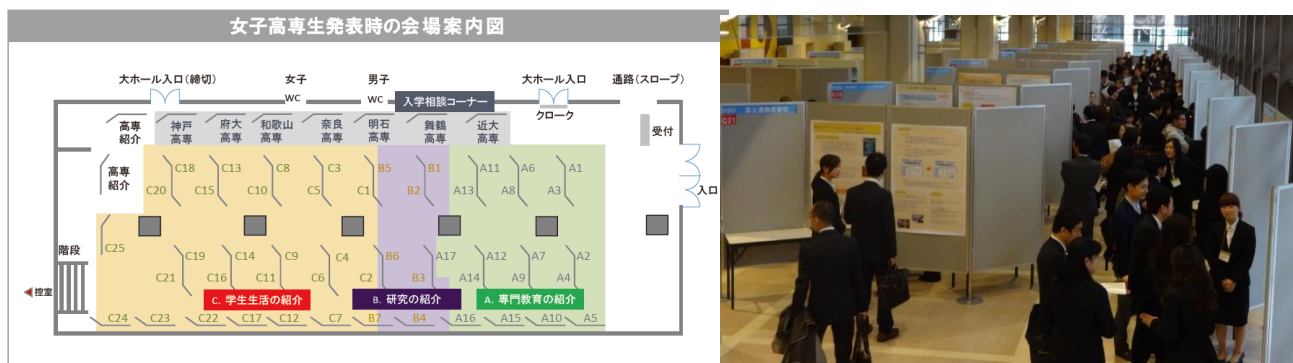
(株)ナベル常務取締役 岡 民子氏の講演会



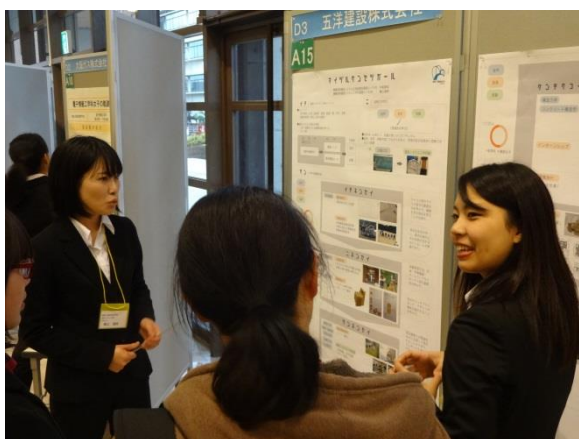
交流会の様子

4. 高専女子フォーラム in 関西の参加および発表

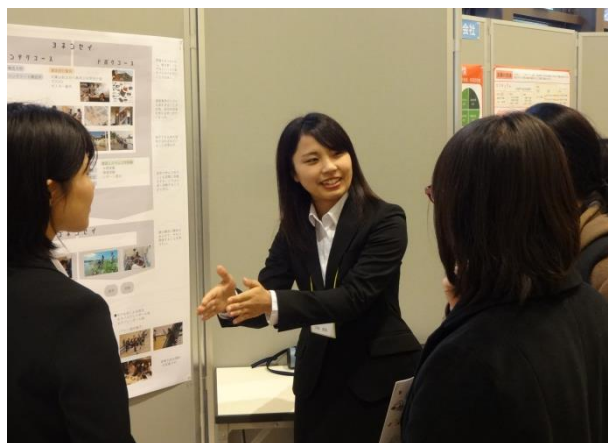
高専女子フォーラム in 関西の目的は、近畿地区高等専門学校における学生支援活動の一つとして、女子学生のキャリア教育の場とするとともに、高専女子学生による研究紹介、学生生活紹介、高専教育紹介を通じて、高専女子学生の実力を企業関係者や中学生および保護者に向け発信する場とするものである。12月23日（金）、4M 西村夏帆さんが「題目：創造設計製作（4年機械工学科）の取り組みについて」を、3E 吉見みなみさんと3E 鳥居なぎささんが「題目：イルミネーション・オブジェの企画・製作と設置 ～舞鶴市からの受託研究への取り組み～」を、4S 植田祐未さんと4S 佐藤みづきさんが「題目：問題解決型学習（PBL）で得たロボット製作の経験」を、4C 中尾愛梨さんと4C 横山瑠南さんが「題目：マイゾルケンセツガール」を、4E 蘆田美里さんと3C 小田玲華さんが「題目：舞鶴高専 女子指導寮生の日常」を企業関係者や中学生や保護者に向けて発表した。（参加教職員：11名）



発表企業数：58 社（関西の 6 高専＋関西以外の 7 高専の発表）



展示ブース（近畿大学 11 月ホール）と来場客



本校学生による説明（セッション：学生生活紹介）

5. 科学研究費申請に関する講習会

9 月 1 日（木）、寺嶋一彦氏（豊橋技術科学大学副学長／機械工学系 教授）を講師として、科学研究費獲得のための講習会を開催した。寺嶋教授からは『科学研究費補助金 ―その申請におけるポイント―』と題した講演を頂き、実際に審査員をされた先生方から見た、審査基準を満たすポイントや、寺嶋教授が実際に申請された調査などを例にあげて、科研費獲得のためのポイントを具体的にご教授頂いた。その後、事前に申請のあった教員 1 名について個別指導が行われた。



寺嶋一彦教授の講習



本校教職員の受講の様子

6. 施設設備に関するマスタープラン

企画室会議において、施設整備計画の優先順位を決定した。結果、1 位：女子寮の改修・改築、2 位：基幹・環境整備工事の実施、3 位：実習工場の改築、4 位：図書館の改修に決定した。詳細な内容については「舞鶴工業高等専門学校施設整備計画」に取り纏めている。

評価委員会

評価委員会副委員長 金山 光一

1. 自己点検・評価の実施

平成 27 年度の本校の年度計画と実績について自己点検・評価を実施し、本校ホームページで自己点検・評価書を公表した。点検項目は、高専機構が定めた第 3 期中期計画およびこれに基づいて定められた平成 27 年度計画に対応させて本校で設定した平成 27 年度計画に記載されている 58 項目である。すべての項目について計画通りの活動が行われ、成果が得られていることが確認された。

平成 28 年度の年度計画に基づく実績のとりまとめは平成 29 年度初めに完了することから平成 28 年度の自己点検・評価書の完成は平成 29 年度となる。

2. 外部評価委員会の開催

平成 28 年度の外部評価委員会委員は下記の学外有識者の皆様に就任していただいた。

長岡技術科学大学	学長	東 信彦 氏
奈良工業高等専門学校	校長	後藤 景子 氏
舞鶴市中学校長会	会長	亀井 雅之 氏（舞鶴市若浦中学校長）
株式会社日進製作所	総務部長	田中 孝幸 氏

平成 28 年 11 月 17 日に、本校で外部評価委員会を開催した。まず学生寮，社会基盤メンテナンス教育センター，地域共同テクノセンター内の半導体デバイス等の微細加工設備，実習工場を視察していただいた後，会議室において下記の内容についてご意見をいただいた。議事内容の詳細は，本校ホームページに掲載される。

1. 平成 27 年度の年度計画・実績と平成 28 年度計画・進捗状況について（企画室長 奥村幸彦）
2. 平成 27 年度 JABEE 継続審査結果と今後の対応について（プログラム責任者 高谷富也）
3. 進路指導とキャリア支援活動について（進路指導委員会委員長 篠原正浩）



外部評価委員会



年度計画・進捗状況説明



学生寮視察



社会基盤メンテナンス教育センター視察

FD・ICT部会

FD・ICT部会長 奥村 昌司

本部会は評価委員会の下部組織として、主として教員の授業方法、教育指導等の改善に資する目的で、種々の取り組みを行っている。今年度の部会員（協力職員を含む）の構成と役割分担は表1のとおりである。

表1 FD・ICT部会構成員と役割分担

氏名	所属	主たる役割	氏名	所属	主たる役割
奥村 昌司	自然	全体の連絡調整	石井 貴弘	支援センター	授業アンケート
畑 恵里子	人文	授業アンケート FD・ICT 特別講演会	平野 彰人	総務課	事務手続き全般
亀谷 睦	自然	授業アンケート	藤元 高德	総務課	総務課連絡調整
小林 洋平	機械	教育連絡会議 授業アンケート	松梨 英輔	学生課	学生課連絡調整
芦澤 恵太	電気情報	教育連絡会議 授業アンケート	山崎 基史	教務係（協力）	授業アンケート
川田 昌克	電子制御	授業アンケート	能勢 嘉朗	支援センター （協力）	授業アンケート
渡部 昌弘	建設システム	授業アンケート			

1. 授業アンケート・達成度評価の実施

平成25年度から、1)「シラバスに沿う授業だったか」という設問と、2)教育理念・教育方針の認知状況調査と図書館及び情報科学センターにかかる満足度調査を、それぞれ追加した。また、平成27年度JABEE受審への対応のために平成27年度から、「自習時間の調査」と「COC関係科目の調査」の2項目を追加した。今年度もこれらを継続し、これらの調査を行った。

なお、アンケートの実施期間は、前期分が平成28年10月17日～11月7日、後期分は専攻科2年生および本科5年生を平成29年1月17日～1月27日、それ以外の学年を同年1月23日～2月10日とした。専攻科2年生と本科5年生の実施を先行させたのは、特別研究論文・卒業研究論文の提出締切日以降には学生がほぼ登校しない実態を考慮したからである。

また本年度から、他教員の結果も含む本校で開講されている全科目の結果を参考資料として全教員に開示することになった。これは、自分のものだけでなく、他の教員の結果も見ることにより、教員間の議論が促され、学校全体の授業改善に繋がるのではないかという考えに基づくものである。

2. 授業参観の実施

平成28年7月1日～7月14日に実施した。全教員は他の教員の授業を一つ以上参観し、その結果を授業参観報告書にまとめ提出した。参観教員は、参観結果に基づいて自身の授業改善に参考になる点について整理できた。

3. 教育連絡会議

平成25年度から教育連絡会議の開催回数を年1回に変更している。年度ごとに主たる検討テーマを設定し、全教員を4つのグループに分けて、12月初旬にグループごとに会議を開催した。今年度は以下の1)～4)のテーマについて討議した。

- 1) 原則として教育内容は変更しない学修単位の導入実現に向けて
- 2) 学期並びに学年の評価を行う場合、各科目のクラス平均は70点以上を標準とする条項の来年4月1日施行に向けて

- 3) 機構本部 FD において開発を進めている主なツールと第3ブロック FD の取り組みと本校での FD のあり方について
 4) 講義運営について(板書・スライド・学生指名・出題ポリシー)

本年度は教育連絡会議担当の芦澤教員と小林教員および部会長が主査を務めた。各グループでは上記の議題のうち一つをテーマとして活発な議論が展開され、それらの結果は各グループの主査から当部会へ報告された。

4. FD・ICT 特別講演会

今年度の特別講演会は9月初旬に開催した。

日 時：平成28年9月7日(水) 14:40~16:00

講演者：飯吉 透先生(京都大学高等教育研究開発推進センター センター長・教授)

題 目：「21 世紀の教育イノベーションとアクティブな学びの促進」

教育の現状とこれからについて、最新の知見に基づく様々な事例や取り組みを多角的にご紹介いただいた。非常に興味深い話ばかりで、今後の本校における教育の改善にむけて大変に参考になった。

5. 授業公開の実施

今年度は表2に示すとおり授業公開を実施した。

表2 授業公開実施内容

番号	授業科目	クラス	実施教員	実施日	主査
1	計算機工学Ⅱ	3S	町田 秀和	H28/12/14	伊藤 稔
2	国語国文Ⅱ	4年選択	畑 恵里子	H29/1/18	田村 修一
3	河川環境	5C	三輪 浩	H29/1/18	玉田 和也
4	回路理論	3E	竹澤 智樹	H29/1/20	内海 淳志
5	材料力学 IIB	4M	篠原 正浩	H29/1/20	西山 等

授業を公開した教員は、学内評価者と学外評価者による授業評価、学生の意見および教員や保護者によるアンケート結果を基にして授業改善プランを検討し、報告書を提出した。なお平成26年度から、授業公開時間を従来の75分間から60分間に短縮することにより、従来は90分間の授業コマの終業ベル後に行っていた「授業公開後の主査・学内評価者・学外評価者と授業担当者との意見交換」を、授業コマ内に行うように実施スケジュールを変更した。この変更により、当該授業公開の直後のコマに授業をもつ教員も主査や学内評価者になることが可能になった。ただし、実施期間を後期に固定している現状に対して、前期科目の授業公開が実施できないことを指摘してその改善を求める声があり、来年度は、授業公開を前期の6月23日~7月6日に、授業参観は後期の1月12日~1月25日に実施することになった。

広報委員会

広報委員会副委員長 玉田 和也

広報委員会の活動概要

2016 年度の広報委員会の活動概況は次の通りである。

(1) 役割分担

学校概要	玉田和也, 室巻孝郎 (事務部: 総務係)
学校だより	藤田憲司 (事務部: 総務係)
紀要	船木英岳 (事務部: 学術情報係長)
年報	奥村昌司, 船木英岳 (事務部: 総務係)
ホームページ	室巻孝郎, 奥村昌司, 玉田和也, 藤田憲司, 能勢嘉朗 (事務部: 総務係, 教務係, 財務係)
学外連携広報	奥村昌司 (事務部: 学生課長)
写真	高木太郎, 玉田和也 (事務部: 総務課)
その他広報	玉田和也, 高木太郎

(2) 広報誌等の刊行について

平成 29 年度「学校概要」は、昨年度と同様に全体構成は見やすさを配慮し更新を行った。「学校だより」は、第 132～133 号を発行し、現在、第 134 号 (4 月予定) の編集集中である。「紀要」は、広く原稿を募り、近日中に刊行される予定である。「ホームページ」は本年度も学内外の活動に関して広く情報を募り、多くの記事掲載作業を行った。記事の投稿は、学内に定着しつつ有り、学校の情報発信ツールとして活用されている。「年報」は、例年通り編集発行作業が進められている。

昨年度の「年報」から印刷ではなく、ホームページで公表することになったため、今年度その作業を実施した。引き続き年報の執筆者の皆様には、記載する情報や写真への正確性や肖像権への配慮等について留意していただくことをお願いします。

また、舞鶴高専のホームページに後援会のホームページへのバナーを追加し、保護者の皆様の利便性向上を図った。ホームページの学校紹介のプルダウンメニューの一部を「教育目的と三つの方針」に改変し、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーについて記載しました。

(3) その他

「学外連携広報」については、昨年度同様に進められている。「写真」についてはイベントや季節ごとに撮影が実施され、各種印刷物やホームページに活用されている。



教育プログラム (MDE) 委員会

教育プログラム (MDE) 委員会委員長 高谷 富也

1. JABEE 説明会について

本年度は、下記の通り、JABEE 説明会を実施した。

4月19日(火) 専攻科1年生対象: 22名全員参加

4月25日(月) 本科4年生対象: 154名参加

機械工学科 40名, 電気情報工学科 45名, 電子制御工学科 29名, 建設システム工学科 40名

4月26日(火) 本科5年生対象 42名

機械工学科 7名, 電気情報工学科 17名, 電子制御工学科 10名, 建設システム工学科 8名

2. 学習・教育到達目標(専攻科課程)について

平成27年のJABEE継続審査結果を受けて、本年度は学習・教育到達目標(専攻科課程)の大項目に小項目を加えるための協議を行った。その結果、(A)～(H)の大項目についても文言等の修正を行い、小項目の追加を行った。以下に、学習・教育到達目標(専攻科課程)を示しておく。

- (A) 自然科学と工学の基礎を幅広く修得し、それを応用することができる。
 - A-1 数学、自然科学に関する知識と応用力を修得する。
 - A-2 工学の基礎に関する知識と応用力を修得する。
- (B) 専門分野の基礎知識を修得し、それを実際の技術の問題に応用することができる。
 - B-1 専門分野の基礎的な知識・技術を修得する。
 - B-3 実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する能力を修得する。
- (C) 修得した知識を統合して、社会に貢献できる製品やシステムを設計し開発する創造的能力と意欲を有する。
 - C-1 創造性を発揮して課題解決の方法を探索し、製品やシステムを設計し組み立てて解決する能力を修得する。
 - C-2 多角的な視野に立ち課題を分析し、種々の知識や技術を統合して社会の要求に応えるデザイン能力を修得する。
- (D) 実験・実習・演習を通じて現象を分析・解析することができる。
 - D-1 実験を計画し遂行する能力と、得られたデータを適切に解析し考察する能力を修得する。
 - D-2 与えられた制約の下で実験・実習・演習を計画的に進め、結果をまとめる能力を修得する。
- (E) 豊かな人間性、国際性、協調性および英語によるコミュニケーション能力を身につける。
 - E-1 歴史・文化・習慣・価値観の多様性を理解し、幸福・福祉や豊かさなどの概念が多岐にわたることを認識する能力を修得する。
 - E-2 自らが育んだ文化や価値観を自覚し、異なる文化や価値観との接触を通じて、より豊かな生き方を追求できる。
 - E-3 国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を修得する。
- (F) 技術がもつ地球的・社会的影響の重要性と技術者の倫理的責任を理解し、説明することができる。
 - F-1 自らの価値観・利益にとらわれず、他者の立場で技術が持つ社会的な影響を考えることができる。
 - F-2 技術がもたらす恩恵だけではなく、自然や社会の全体を視野に入れた生命・環境・情報に関わる課題を理解し、説明することができる。
- (G) 課題の提案・報告などを効果的に記述し、説明することができる。
 - G-1 得られた結果や考察をわかりやすく説明する能力を修得する。
 - G-2 日本語による論理的な記述力・表現力・討議力などのコミュニケーション能力を修得する。
- (H) コンピュータをはじめ、実践に必要なスキルと最新の工学ツールとを活用することができる。
 - H-1 コンピュータを目的に応じて活用する能力を修得する。

H-2 技術の進歩に対応して、実践に必要なスキルと最新の工学ツールを活用する能力を修得する。

(I)自分の責任を自覚し、互いに理解し協力し合い、チームの目的達成のために能力を発揮できる。

3. 第13回「総合システム工学」教育プログラム修了証書の授与について

平成29年3月17日(金)に、「生産・情報基礎工学」教育プログラムにおける電気・制御システム工学専攻2名および「総合システム工学」教育プログラムにおける電気電子システム工学コース9名、機械制御システム工学コース6名、建設工学コース2名、計19名のプログラム修了証書授与式を挙行了。現在までのプログラム修了生の数を以下に示す。

修了年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016
プログラム修了生	21	16	17	15	16	19
専攻科修了生	20	17	17	15	16	19

4. 教育プログラム(MDE)委員会の活動記録

○平成28年4月27日(水) 第1回教育プログラム(MDE)委員会の開催

1. 本年度の協議事項について
2. 技術者教育ワークショップ参加報告について
3. 4年生以上の授業に係わる答案・レポートの整理について
4. その他
 - ・成績評価資料の保管について
 - ・JABEE説明会について
 - ・JABEE継続審査の認定結果

○平成28年7月25日(月) 第2回教育プログラム(MDE)委員会の開催

1. 学習・教育到達目標(専攻科課程)の小項目について
2. JABEE修了証書の変更案について
3. その他
 - ・他高専からの専攻科受験生について

○平成28年9月20日(火) 第3回教育プログラム(MDE)委員会の開催

1. 本科専門共通科目削減と基礎工学5群(選択必修科目)について
2. 専門学科から提出された科目変更について
3. その他
 - ・Webシラバスについて
 - ・他高専からの専攻科受験生について

○平成28年10月25日(火) 第4回教育プログラム(MDE)委員会の開催

1. 学習・教育到達目標(専攻科課程)案について
2. 基礎工学5群(選択必修科目)について
3. 到達度確認表について
4. その他
 - ・他高専からの専攻科受験生について
 - ・外部評価委員会の開催と教育プログラム(MDE)委員会としての発表内容
 - ・専門共通選択科目の単位数削減案に伴う専攻科での考え方について

○平成 28 年 12 月 6 日（火） 第 5 回教育プログラム(MDE)委員会の開催

1. 学習・教育到達目標の小項目の最終確認について
2. 他高専からの専攻科入学者の対応について
3. 到達度評価の重み付けについて
4. 教育プログラムにおけるカリキュラム設計方針について
5. 平成 27 年度・教育点検システムにおける点検項目に関する報告書について
6. その他
 - ・学習・教育到達目標に到達するための授業科目の流れについて
 - ・学習・教育到達目標について

○平成 29 年 2 月 6 日（月） 第 6 回教育プログラム(MDE)委員会の開催（専攻科委員会との合同開催）

1. 専攻科 2 年生の修了認定について
2. 教務上の今後の課題について
3. その他

○平成 28 年 2 月 28 日（火） 第 7 回教育プログラム(MDE)委員会の開催

1. 科目の流れ図について
2. 平成 28 年度教育点検システムにおける点検項目に関する報告書について
3. 平成 29 年度到達度確認表について
4. その他

進路指導委員会

進路指導委員長	篠原 正浩
進路指導副委員長（就職）	芦澤 恵太
進路指導副委員長（進学）	山田 耕一郎

1. 平成 28 年度の活動報告

1. 1 委員会報告事項、協議事項

- 第 1 回進路指導委員会（平成 28 年 4 月 1 日）
 - 1) 進路指導委員会の実施体制について
 - 2) 就職活動、進学活動について
 - 3) インターンシップについて
 - 4) 年間スケジュールについて
 - 5) 前年度進路活動状況について
 - 6) 進路指導関係規則について
- 第 2 回進路指導委員会（平成 28 年 9 月 27 日）
 - 1) 進路活動状況の確認とこれまでの活動について
 - 2) 予算計画について
 - 3) 入学説明会の日程変更に伴う合同企業説明会の日程変更について
 - 4) 今後の活動について
- 第 3 回進路指導委員会（平成 28 年 12 月 16 日）
 - 1) 進路活動状況の確認とこれまでの活動について
 - 2) 進学、就職に関するガイドラインの確認
 - 3) 進路アンケート、誓約書について
 - 4) 今後のスケジュールについて
- 第 4 回進路指導委員会（平成 29 年 1 月 26 日）
 - 1) 進路活動状況の確認
 - 2) 合同企業説明会の準備状況について
 - 3) 来年 1 月に実施予定の合同企業説明会の名称について
 - 4) 外部団体主催の企業説明会について
- 第 5 回進路指導委員会（平成 28 年 2 月 25 日）
 - 1) 進路活動状況の確認
 - 2) 合同企業説明会について
 - 3) 外部団体主催の企業説明会について
 - 4) 予算の執行について

1. 2 進路ガイダンス

今年度の進路ガイダンスの実績を表 1 に示す。昨年度と同様に、本校進路指導委員によるガイダンスの他に、外部から講師をお招きして「身だしなみ講座」（本科 3, 4 年生、専攻科 1 年生対象）および「履歴書作成講習」（本科 4 年生、専攻科 1 年生対象）を実施した。「身だしなみ講座」の講師は、はるやま商事株式会社ファッションアドバイザーの福島氏と合同会社リールビズの田邊氏に依頼し、スーツの着こなしと女子学生へのメイク講座を実施した。「履歴書作成講習」の講師は、株式会社マイナビの筒井

氏に依頼し、履歴書、エントリーシートの書き方について指導していただいた。

表1 平成28年度進路ガイダンス

対象	開催日	備考
本科1年生	H28年4月10日	新入生合宿研修における講話
本科3年生	H28年6月16日	進路ガイダンス（昨年の動向とこれからの心構え）
	H28年6月29日	進路ガイダンス（身だしなみ講座：外部講師）
	H28年9月28日	進路ガイダンス（5年生の就職・進学活動体験談）
	H28年12月7日	進路ガイダンス（進学について，合同学校説明会・業界研究セミナーについて）
	H29年2月24日	進路ガイダンス（合同企業説明会の実施について）
本科4年生・ 専攻科1年生	H28年5月19日	進路ガイダンス（昨年の動向とこれからの心構え）
	H28年6月29日	進路ガイダンス（身だしなみ講座：外部講師）
	H28年9月28日	進路ガイダンス（5年生の就職・進学活動体験談）
	H28年11月24日	進路ガイダンス（進学について，合同学校説明会・業界研究セミナーについて）
	H28年12月22日	進路ガイダンス（ガイドライン・履歴書・進路アンケートについて）
	H29年2月2日	進路ガイダンス（履歴書作成講習：外部講師）
	H29年2月24日	進路ガイダンス（合同企業説明会の実施について）
	H29年2月27日	進路ガイダンス（就職希望者に対する諸注意） 進路ガイダンス（進学希望者に対する諸注意）

1. 3 合同学校説明会（平成28年12月11日開催）

本科3，4年生と専攻科1年生を対象とする合同学校説明会を本校で開催した。（136名の学生が参加し，保護者も約40名の参加があった。）今年度は12校（本校専攻科を含む）の参加があり，学生は各自の希望する2校を選び，それぞれ45分間の説明を聴く方式で実施した．学生の進路選択にとって有意義な説明会となった。表2に参加校を示す。

表2 平成27年度合同学校説明会参加校（五十音順）

岡山大学	岐阜大学	九州工業大学
京都工芸繊維大学	電気通信大学	徳島大学
富山大学	豊橋技術科学大学	長岡技術科学大学
福井大学	和歌山大学	

1. 4 個別の大学説明会

合同学校説明会とは別に，大学，大学院からの要望に応じて適宜，放課後に単独の説明会を実施している。平成28年度の実施状況を表3に示す。

表3 平成28年度大学，大学院の説明会

開催日	大学名
H28年4月11日 H28年4月19日	豊橋技術科学大学
H28年11月8日	九州工業大学
H28年11月22日	長岡技術科学大学
H29年1月18日	大阪大学

1. 5 業界研究セミナー

業界研究セミナーでは、本科 3, 4 年生並びに専攻科 1 年生を対象とし、様々な業界・業種の会社勤めをしている本校卒業生に、業界全体の魅力や仕事のやりがい、学生時代の過ごし方等について、自らの経験談をもとに講演していただいた。講演者（敬称略）を表 4, 5 に示す。

表 4 C 学生に対する業界研究セミナー

講演者	卒業（修了）年度・学科	所属	開催日
小松 治朗	H20 年度 C 卒業	東海旅客鉄道株式会社（J R 東海）	H28 年 12 月 12 日
小崎 壮真	H26 年度 C 卒業		
菅野 綾夏	H25 年度 C 卒業	舞鶴市役所	
須貝 梨乃	H26 年度 C 卒業	鳳工業株式会社	
内藤 将司	H26 年度 C 卒業	（株）岡野組	

表 5 M, E, S 学生に対する業界研究セミナー

講演者	卒業（修了）年度・学科	所属	開催日
安達 基弥	H19 年度 E 卒業	オムロン株式会社	H28 年 12 月 13 日
脇 亮太	H22 年度 E 卒業	NTT コムウェア株式会社	
藤井 浩明	H25 年度 M 卒業	株式会社カシフジ	
松原 幸雄	S60 年度 M 卒業	日新電機株式会社	
上坂 風太	H26 年度 E 卒業		
福嶋 友章	H18 年度 S 卒業	村田機械株式会社	H27 年 12 月 17 日
伊庭 悠平	H24 年度 E 卒業	株式会社小松製作所	
義積 建哉	H26 年度 M 卒業	三菱日立パワーシステムズ株式会社	
浅田 郁史	H24 年度 E 卒業	中部電力株式会社	
森川 卓哉	H24 年度 E 卒業	ニチコン亀岡株式会社	

1. 6 合同企業説明会（平成 29 年 3 月 5 日、6 日開催）

対象は本科 3, 4 年生、専攻科 1 年生およびその保護者、専攻科進学予定の本科 5 年生であり、参加学生数は 1 日目、2 日目それぞれ 267 名、253 名、保護者数は 1 日目 19 名、2 日目 10 名であった。今年度の合同企業説明会では民間企業だけでなく、地方自治体などにも参加を呼びかけたところ、1 日目、2 日目それぞれ 64 団体（地方自治体等を含む）、66 団体、合計で 130 団体の参加があった。

1. 7 三者懇談会

進路に係る三者懇談会を平成 29 年 3 月 18 日（土）、19 日（日）の二日間、実施する予定である。対象学年は本科 4 年生ならびに専攻科 1 年生である。

2. 平成 28 年度の進路状況

2. 1 求人会社数

本科の過去 10 年間（H19～H28）の求人会社数の推移を図 1 に示す。平成 23 年度以降、求人会社数は順調に増加し、リーマンショック前の平成 19 年度、20 年度と同水準まで回復している。来年度に向けても送付される求人票や面談に来られる企業数は今年度を上回るペースで推移しているが、今般の社会情勢をみると、この傾向が持続するとは考えられず、教員による企業訪問や企業面談を引き続き丁寧に積み重ねていくことが必要である。

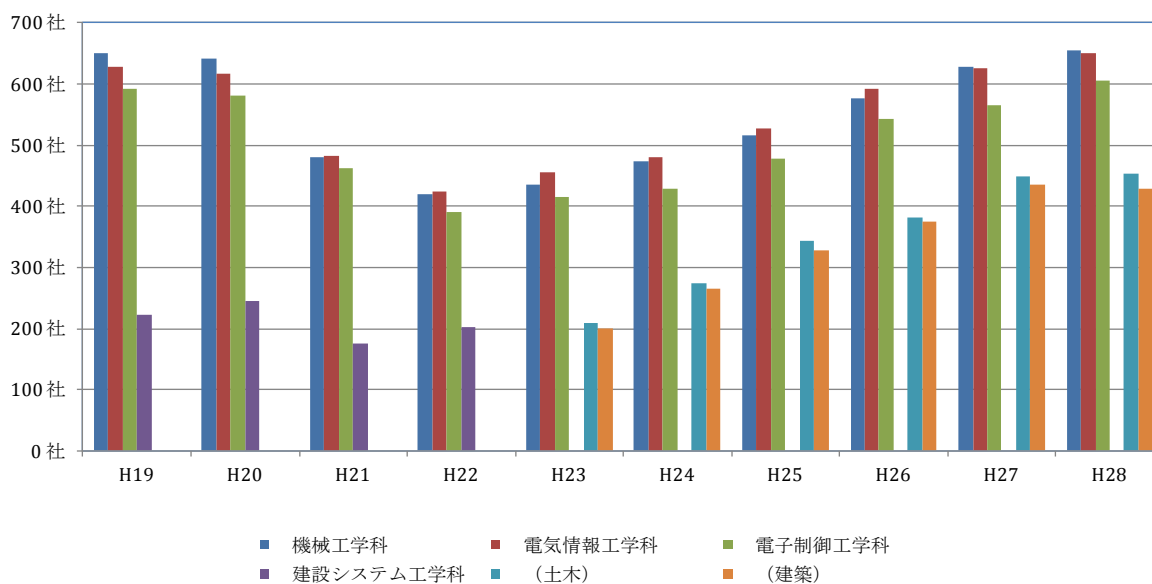


図1 求人会社数の推移 (本科)

2. 2 進路状況

平成 28 年度の進路状況を表 6 に示す。本科においては就職が 55.7%，進学が 44.3%であり，平成 25 年度から微増していた（39.4% → 42.4% → 45.3%）進学希望者の割合が頭打ちになっている。

表 7 平成 28 年度本科卒業生・専攻科修了者進路状況（平成 29 年 3 月 16 日現在）

本 科		卒業生数	就職 希望者数	内定者数	大学・専攻科 進学 希望者数	合格者数	その他
機械工学科		31	19	19	11	11	1
電気情報工学科		31	11	11	20	20	0
電子制御工学科		35	18	18	15	15	2
建設システム 工学科	都市環境コース	25	16	16	7	7	2
	建築コース	14	9	9	5	5	0
専攻科		修了 予定者数	就職 希望者数	内定者数	大学院 進学 希望者数	合格者数	その他
電気・制御システム工学専攻		2	2	2	0	0	0
総合システム 工学専攻	電気電子システム 工学コース	9	7	7	2	2	0
	機械制御システム 工学コース	6	3	3	3	3	0
	建設工学 コース	2	1	1	1	1	0

学生相談室

学生相談室長 田村 修一

1. 本年度の学生相談室スタッフ

本年度は昨年度に引き続き、人文科学部門の田村修一が学生相談室長を務めた。カウンセラーには少し異動があり、昨年度務めていただいた舞鶴医療センターの西田誠司先生に代わり、開業医の黒田友基先生に来ていただくことになった。本年度の学生相談室スタッフは以下の通り。田村修一（人文）、畑恵里子（人文）、小野伸一郎（自然）、野毛宏文（機械）、井上泰仁（電気）、石川一平（制御）、渡部昌弘（建設）、松梨英輔（学生課長）、松宮正明（学生支援係長）、清水智苗美（看護師）、黒田友基（カウンセラー[精神科医]）、中川亜希（カウンセラー[臨床心理士]）、坂口なぎさ（カウンセラー[臨床心理士]）。

2. 相談体制・相談件数

昨年度、痛ましいことに本校から自死者が出てしまい、その対応としてカウンセラーの来校回数を臨時に増やすという経緯があったが、そのことを踏まえ、臨床心理士のカウンセラーの来校日を増やした。中川先生には毎月曜日、坂口先生には毎木曜日に来ていただいたほか、二人の各先生には隔週でもう一日来ていただき、すなわち臨床心理士によるカウンセラー日を週2日から週3日とする体制とした。精神科医の黒田先生には月1回（原則第一水曜日）来ていただいた。教職員スタッフによる相談は「随時」であるが、例年、その多くは清水看護師に担っていただいている。本年度の相談件数は延べ734件（昨年度は598件）、うち教職員への相談件数は329件（昨年度は281件）、精神科医への相談件数は11件（昨年度は1件）、臨床心理士への相談件数は404件（昨年度は316件）であった。昨年度と比べ、相談件数が大幅に増大したことが見て取れる。その要因として、臨床心理士によるカウンセラー日を増やしたこと、また、始業式・後期始めの全校集会には、本年度、臨床心理士のカウンセラーにもご登壇いただき、メンタルヘルスの重要性和学生相談室の利用を呼びかけていただいたことが挙げられる。

3. 「こころと体の健康調査」・心理テストの実施

本年度は「こころと体の健康調査」を年1回の実施とした。昨年度同様ゴールデン・ウィーク明けに行い、面談を夏休みに入る前には終える体制を取った。アンケートの結果による希死念慮リスク「高」83名に対し配慮レベル「高」は101名となった。数値としては例年並みである。11月にはhyper-QU（1～4年）、EQS（5年、専攻科）を新規に実施した。こちらの方は有効に活用するには実施時期が遅かった憾みがある。来年度以降の検討課題である。

4. 教職員研修の実施ほか

6月2日（木）、スクール・カウンセラーの坂口なぎさ先生を講師として「学校における自殺予防」と題された教職員研修をおこなった（大会議室にて）。その一週間前の5月25日（木）には本年度の新任教員を対象に、「学生の自殺予防」についての研修を中川亜希カウンセラーに実施していただいた。また9月14日（水）に開かれた自殺予防のためのFD講演会（講師は甲南大学教授高石恭子氏、大会議室にて）終了後の特別研修会（中会議室にて）に、3主事ほか学生相談員も参加した。

5. 各種研究会、研修会、協議会への参加

学生相談に関する研鑽を積むため、また他校との学生相談に関する情報交換のため、下記に示す各種研究会、研修会、協議会に参加した。本年度の近畿地区カウンセリング協議会は本校が主管校となり、議長は室長の田村が担当、議事録作成は学生支援係の池澤容子が担当した。

○近畿学生相談研究会（KSCA）

6月11日（土）大阪経済大学、12月10日（土）神戸女子大学ポートアイランドキャンパス

○全国国立高等専門学校学生支援担当教職員研修

12月15・16日（木・金） 国立オリンピック記念青少年総合センター

○近畿地区カウンセリング連絡協議会

11月24日（木） メルパルク京都

オープンキャンパス

オープンキャンパスチーフ 西山 等

オープンキャンパスは本校を会場として、おもに中学生とその保護者を対象に、本校への理解を深め、入学を検討してもらうことを目的に開催している。1日間のスケジュールで、学校概要説明、学科展示、クラブ展示、学寮見学、寮食体験、体験学習、保護者対象学校説明会、個別相談、学生による学校生活紹介などを通して、本校のハード面・ソフト面を紹介・体験できる充実したイベントとなっており、全学的な取り組みとして実施している。

本年度のオープンキャンパスは、7月30日(土)、31日(日)に開催した。オープンキャンパスには2日間で生徒・保護者等であわせて合計871名の参加があった。ここ数年間のオープンキャンパスは、約850名程度の参加者数となっている。

オープンキャンパスに先立って実施するプレ・オープンキャンパスは、5月21日(土)に舞鶴会場(本校)、6月12日(日)に京都会場、6月25日(土)に三田会場、7月3日(日)に彦根会場においてそれぞれ開催した。プレ・オープンキャンパスの特徴は、本校会場に加えて学外会場でも開催し、本校の教育および入試の概況などの説明ののち、4学科全ての簡単な体験学習(舞鶴会場・京都会場)あるいはブース展示(三田会場・彦根会場)を短い時間で実施する点である。プレ・オープンキャンパスは、本校の魅力を、中学3年生の生徒やその保護者に対して、比較的早い時期に進路に関しての情報提供ができるイベントとなっている。プレ・オープンキャンパスの参加者の多くが、本校で開催するオープンキャンパスにも参加している。

本年度のオープンキャンパス、プレ・オープンキャンパスも盛会裡に開催することができた。その実施においては、夏季休業中にもかかわらず、多大な学生の協力があつた。学生の協力なしでは運営そのものが成り立たない。また、生徒・保護者を対象としたアンケートにおいて、多くの方から本校学生の態度や取り組む姿勢に対して好意的な内容が寄せられている。

●オープンキャンパス 2016 の様子



教育改善委員会

教育改善委員会委員長 亀谷 睦

教育改善委員会は、本校の継続的改善システムを円滑かつ効果的に機能させるための活動を行っている。具体的には、教育プログラム（MDE）委員会および評価委員会で CHECK された事項について ACTION を行う役割であり、当委員会が必要と認めるときは、各学科・部門及び他の委員会に提議、付託または協力要請を行うことができる。今年度実施した事項を以下に挙げる。

1. 平成 27 年度の教育プログラム（MDE）委員会の「生産・情報基礎工学」教育プログラム点検結果について

教育プログラム（MDE）委員会で作成された「平成 27 年度教育点検システムにおける点検項目に関する報告書」について第 1 回委員会（6 月 16 日開催）において審議し、単なる誤植の類いは当委員会において修正し、確認が必要と判断されたものについては、各点検部署宛に修正依頼を行った。それらの回答内容については、当初はメール審議を予定していたが、その後第 2 回委員会を 11 月 30 日に開催することになったため、その委員会において確認のうえ承認し、運営会議報告を経て本校の教職員用グループウェア Group Session に掲載した。

2. JABEE 継続審査を踏まえた改善について

27 年度の年報において「平成 27 年度に受審した JABEE 継続審査における実地審査結果を受けて、基準 1、基準 2、基準 3 について検討を行い、所掌する委員会に検討を依頼した」と報告されているが、教育プログラム（MDE）委員会委員長から、その後の各部署での改善の進捗状況を改めて確認したい旨の要請が当委員会に出されたため、各部署宛に進捗状況の報告を依頼した（10 月 26 日発、回答締め切り 11 月 22 日）。寄せられた進捗状況報告内容を第 2 回委員会（11 月 30 日開催）で確認し、次回の JABEE 受審に向けて継続的な改善を各部署にて行ってもらうことになった。

3. 今後の改善計画について

11 月 30 日の第 2 回委員会に向けて、金森委員から「継続的教育改善マスタープラン（案）」と題した資料が提出され、この資料の取り扱いを第 2 回委員会にて検討した。その結果、この資料について当委員会で直ちに議論する段階ではなく、「現時点での『教務上の課題』を教務主事として整理したもの」だと当委員会では見なすことにし、まず教務委員会でこの資料について議論を行い、その結果に基づき、教育プログラム（MDE）委員会や専攻科委員会との擦り合わせを行った上で、最終的に当委員会に改めて提案してもらうという方向性を確認するに留めることにした。

交通対策検討委員会

交通対策検討委員長 谷川 博哉

1. 登下校時の送迎車両の動線確保

登下校時の送迎車両について、正門付近で学生を降ろしUターンする場合や学生昇降口付近まで車を乗り入れて降ろす場合等があり、車同士の接触事故や歩行者との接触事故が懸念されていたので、送迎車両については、正門から進入し、噴水の手前のロータリーで乗降してもらうこととした。

2. 放課後、土日の学生駐車場の運用の明確化

放課後及び土日祝日の学生駐車場の運用ルールがはっきりしていなかったので、学生駐車場をフリー駐車とする期間は、金曜日 17 時 00 分～日曜日 22 時 00 分、休日の前日 17 時 00 分～休日 22 時 00 分とした。

3. イベント時の駐車場等の使用可否判断及び周知手順の明確化

イベント時の駐車場等の利用に関する情報共有ができておらず、駐車場の利用が重なるケースが懸念されていたので、イベント時に駐車場等を利用する場合は、情報集約のため総務係に連絡してもらい、必要に応じて関係者間の調整を行い、交通対策検討委員長名にて学内へ周知することとした。

安全衛生委員会

安全衛生委員会委員長 四蔵 茂雄

本委員会は、教職員の安全管理及び衛生管理の向上を図るため（舞鶴工業高等専門学校安全衛生管理実施規定 第11条）、に設置されており、重要な事項について調査、審議を行っている。今年度の委員会構成は以下のとおりである。

表 1 平成 28 年度安全衛生委員会構成

職 名	氏 名	任 期	備 考
教授	四蔵 茂雄		一号委員：委員長
医師	西村 正人		二号委員：産業医
総務課長補佐	平野 彰人		三号委員：衛生管理者・副委員長
総務課長	藤元 高德		四号委員：安全管理者，五号委員
看護師	清水智苗美		六号委員
准教授	岡田 浩嗣	H28. 4. 1～H29. 3. 31	7 号委員：自然科学部門
教授	竹澤 智樹	H28. 4. 1～H29. 3. 31	7 号委員：電気情報工学科
教授	野間 正泰	H28. 4. 1～H29. 3. 31	7 号委員：電子制御工学科
技術専門職員	植田 邦明	H28. 4. 1～H29. 3. 31	7 号委員：教育研究支援センター
総務係長	山崎 友顕		オブザーバー
施設係長	荒賀 順一		オブザーバー

1. 平成 28 年度のスローガン

今年度の当委員会のスローガンを「避難経路の確保」と定めた。出入口などの逃げ道となる安全なスペースの確保，棚・キャビネットなどの転倒防止，障害物の有無などのチェックポイントを例示し，学内の安全性の向上に努めた。

2. 定期巡視の実施

委員（産業医，オブザーバーを除く）8 名を 4 班に分け，例示されたチェックポイントを目安に，学内の定期巡視（毎週 1 回）を実施した。なお，学内は A～E の 5 地区に分けた。各班が順に各地区を担当するように計画した。巡視結果は委員会に報告され，定例委員会で審議された。

3. 定例委員会の開催

毎月 1 回定例の委員会を開催することを基本とし，各班からの巡視結果について審議した。審議結果は保留，連絡（調査），連絡（対策）の三つに分けて対応した。「連絡」と判断された事項については，該当部署または該当教職員に通知した。「保留」は学校としての対応が必要と判断した事項で，後日，校費により一括整備する予定とした。定例委員会では，毎回，西村産業医より，本校における健康管理および健康の保持増進に関するコメントをいただいた。

4. 安全衛生環境の改善

定例委員会で審議された事項について，当該部署や事務部へ連絡・調整を行った。これにより，安全衛生環境が改善された。特に，公共スペースの棚，ロッカー等の固定化が大きく進んだ。

5. ストレスチェックの実施

本校教職員を対象にストレスチェックを実施した。約 95%の教職員が受験した。京大・川村孝先生と上床揮久先生の協力を得て，本人申し出に基づく面接指導も行われた。また，ストレスチェック実施に先立ち，本校安全衛生管理実施規定の改訂とストレスチェック実施要項の策定について審議した。

創立 50 周年記念事業実行委員会

創立 50 周年記念事業実行委員会委員長 高谷 富也

1. 創立 50 周年記念誌の発刊について

創立 50 周年記念誌は平成 28 年 9 月 30 日に発行され、発行部数は 1,000 部である。

記念誌の構成は、舞鶴高専関係の校章、ロゴマーク、沿革概要、校内風景写真、現教職員集合写真、齋藤校長の巻頭言等、第 1 章は創立 50 周年を祝しての後援会会長および同窓会会長の挨拶、旧教職員や卒業生の回想、在校生の声、第 2 章は各種委員会・センター、各専門学科・部門、クラブ・同好会のあゆみ等、第 3 章は記念式典・記念講演会・祝賀会の様子、最後に資料編となっている。

なお、創立 50 周年記念誌の発行経費は、1,824,927 円であった。



記念誌の表紙

2. 学生教育研究支援基金について

平成 28 年 2 月 17 日現在、25,959,662 円の寄附金が寄せられており、この中から、記念式典(2,805,765 円)および記念誌関連経費(1,824,927 円)を差し引いた金額 21,328,970 円が、学生教育研究支援基金となった。

学生教育研究支援基金は、次の事業(4 区分)に関する事業を支援する。

- (1) 国際交流支援事業
- (2) ものづくり教育研究支援事業
- (3) 教育研究環境整備事業
- (4) 地域社会との交流連携支援事業(地域貢献・地域連携)

平成 28 年度学生教育研究支援基金運営委員会が、平成 28 年 6 月 3 日(金)に開催され、実施事業選考基準に基づいて、上記に示す 4 つの事業に 4,620,005 円を支援することが決定された。

以下に、4つの事業ごとの支援金額を示す。

(1) 国際交流支援事業	827,560 円
(2) ものづくり教育研究支援事業	899,785 円
(3) 教育研究環境整備事業	2,892,660 円
(4) 地域社会との交流連携支援事業（地域貢献・地域連携）	0 円（採択事業無し）

なお、毎年 500 万円程度を 4つの事業に支援する予定であり、この学生教育研究支援基金に係わる事業は、創立 50 周年記念事業寄附金を原資として実施するものであるため、上記の寄附金金額を執行した時点をもって終了となる。

緊急連絡／安否確認システムワーキンググループ

座長 金森 満

本ワーキンググループは、危機管理委員会の下部組織として、緊急連絡／安否確認システムの管理・運用およびシステムを用いた訓練を継続的に行っている。今年度のワーキンググループの構成員を表1に示す。

前期は7月6日（水）に本システムを用いた安否確認訓練を実施した。正常に送受信ができない学生がいることから、以下の手順で準備を行った。①6月20日（月）の特活で、担任から訓練実施と確認メールのことを説明していただくよう座長から依頼。②6月22日（水）までに、アドレス変更した者は再登録をするよう担任から指導していただく（座長から依頼）。③6月23日（木）16:10に登録確認のメールを送信（学生課長）。④6月24日（金）13:00までに、正常に送受信できない者のリストをクラス別に出し、座長へ提出（能勢技術職員）。⑤座長は、このリストに依頼状を添付して、正常に送受信できない者は相談窓口（情報科学センター）へ行くよう担任（コース長）から指導するよう要請。⑥担任（コース長）は6月27日（月）の特活の時間に、座長からの要請にしたがって、正常に送受信できない者に、相談窓口へ行くよう指導。⑦6月28日（火）～30日（木）の16:10～17:00に相談窓口を情報科学センターに開設。⑧7月6日（水）14:30に訓練実施。以上の手続きにより、正常に送受信できない学生は大幅に減少した。しかし、訓練における返信率は昨年度の69%に比較して71.7%と若干増加したのみで、返信を促す対策として、未返信者リストを担当に渡し、指導していただくこととなった。

後期は、前期訓練における未返信者リストを通して指導していただいた結果、返信率は84%に増加した。また、訓練直後（一次集計）における未返信者リストをタイムリーに担任へ配信し、指導していただいたことも最終集計における返信率増加につながった。これらの方法を今後とも継続して行きたい。

システムの問題として、返信があったにもかかわらず Spam フィルタの影響で返信が認識されないというトラブルや、特定の携帯キャリアにおいて迷惑メール判定されるなどのトラブルが発見された。この結果、一部の教職員にご迷惑をおかけしたことをお詫びしたい。この対策として、Spam フィルタの設定を変更し、また、携帯キャリア側でも対応していただいたことにより、本件は終息した。

安否確認の訓練は継続して実施する必要があるため、来年度も訓練を2回実施し、災害発生時などに学生の安否や緊急連絡がスムーズに行える環境を整えていきたい。

表1 緊急連絡／安否確認システムワーキンググループ構成員

氏 名	所 属	氏 名	所 属
金森 満	座長、危機管理副委員長 教務委員会	伊藤 稔	学寮委員会
片山 英昭	情報科学センター	野間 正泰	情報科学センター
藤元 高德	総務課	松梨 英輔	学生課
福井 繁雄	教育研究支援センター	能勢 嘉朗	教育研究支援センター

表2 安否確認訓練結果

実施日	対象者	対象人数	返信有	未返信	無効回答
7月6日	学生	849	609	240	54
	教職員	153	137	16	13
	合計	1002	746	256	67
10月26日	学生	848	712	136	74
	教職員	160	135	25	7
	合計	1008	847	161	81

学科・部門別教員一覧 (平成 29 年 3 月現在)

人文科学部門

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
荒川 吉孝 (修士〔文学〕)	教授	・国際交流センター長 ・学級担任 (1-1)	①総合英語ⅠA,ⅠB, ⅢA,ⅢB,ⅣB,ⅤA ②現代英語Ⅰ	英文学	①シェイクスピア喜劇 ②ジェイムズⅠ世の『悪魔学』
垂谷 茂弘 (修士〔文学〕)	教授	・人文部門長	①人間論Ⅰ,Ⅱ ②哲学 ③宗教と「こころ」Ⅰ,Ⅱ	宗教と心理学	①ユング思想 ②力動精神医学の思想史的 位置づけ
吉永 進一 (修士〔文学〕)	教授		①総合英語ⅡA,ⅡB, ⅢA,ⅢB,ⅣB,ⅤA ②現代社会と宗教Ⅰ・Ⅱ	近代宗教史	①近代仏教 ②近代の秘教思想
田村 修一 (博士〔文学〕)	教授	・学生相談室長 ・学級担任 (2-3)	①現代文Ⅰ,Ⅱ ②総合国語ⅡA,ⅡB ③日本語 ABCDEF ④日本文化論	日本近代文学	①芥川龍之介 ②阿部知二 ③日本近代文学史
畑 恵里子 (博士〔文学〕)	准教授	・教務主事補	①総合国語ⅠA,ⅠB ②総合国語ⅡA,ⅡB ③国語国文Ⅰ,Ⅱ	日本古典文学	①日本古典文学 ②リメディアル教育
藤田 憲司 (修士〔文学〕)	准教授		①総合英語ⅡA,ⅡB, ⅢA,ⅢB,ⅣB,ⅤA	英文学	①18世紀イギリス詩 ②批評理論
Kay, Jonathan- David Robert (学士〔文学〕)	准教授		①英会話ⅠA,ⅠB ②総合英語ⅢA,ⅢB, ⅣA,ⅣB,ⅤA,ⅤB	International Political Economy	Maintenance of Welfare State Legitimacy in Social Democratic Societies (eg. Denmark, Sweden, Norway)
児玉 圭司 (修士〔法学〕)	准教授	・学生主事補 ・学級担任 (2-1)	①法学Ⅰ,Ⅱ ②経済学 ③現代日本の政治・ 経済と法Ⅰ,Ⅱ	法制史 (日本近代)	①行刑(監獄制度)史 ②刑事法・刑事政策史
牧野 雅司 (博士〔文学〕)	講師	・寮務主事補 ・学級担任 (1-3)	①日本史 ②世界史Ⅰ,Ⅱ ③地域学Ⅰ,Ⅱ	日本近代史 対外関係史	①幕末維新期の日朝関係 ②地域史料の保存と活用

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
山根 秀介 (修士〔文学〕)	助教		①総合英語ⅠA,ⅠB ②総合英語ⅢB ③総合英語ⅣB	近代哲学	①ウィリアム・ジェイムズ ②現代フランス哲学
松井 信義 (修士〔文学〕)	教授		①総合英語ⅡA,ⅡB, ⅢA,ⅢB,ⅣB,ⅤA ②現代英語Ⅱ	英語学 (English Linguistics)	①語用論 (Pragmatics) ②語法・文法 (Usage & Grammar)
村上 美登志 (博士〔文学〕)	教授		①古文Ⅰ,Ⅱ	①日本・中世 文学 ②漢文学 ③唱導文学 (含む声明 学) ④佛教伝承民 俗芸能	①延慶本『平家物語』研 究 ②太山寺本『曾我物語』 研究 ③和製類書研究 ④中世説話研究 ⑤佛舞・融通大念佛狂言 研究

自然科学部門

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
宮野 敏男 (博士〔理学〕)	教授	・学寮委員 ・専攻科委員	①物理ⅠA, B, 物理ⅢB, D ②応用物理Ⅰ, Ⅱ	①固体物理学 ②固体化学	①不定比金属酸化物の微細構造の研究 ②組成適応（アダプティブ）構造の計算機シミュレーション
背戸柳 実 (修士〔理学〕)	教授	・学級担任 (2-2) ・教務主事補	①基礎数学Ⅰ, Ⅱ ②微分積分Ⅱ, Ⅲ ③応用数学ⅡA, ⅡB	①微分代数 ②p 進解析	①常微分方程式の Liouville 解 ②冪級数解の p 進収束半径
小野 伸一郎 (学士〔教育学〕)	教授	・部門長 ・学級担任 (1-2) ・体育主任	保健体育Ⅰ, Ⅱ, Ⅳ, V	①運動生理学 ②運動方法学	①運動制御に対する呼吸・代謝と不安心理 ②身体活動と健康
亀谷 睦 (博士〔理学〕)	教授	・教育改善委員長 ・FD・ICT 部会員 ・紀要編集委員	①基礎数学Ⅰ, Ⅱ ②微分積分Ⅱ, Ⅲ ③数学演習Ⅱ	微分方程式	①複素領域における偏微分方程式 ②KAM 理論
上杉 智子 (博士〔理学〕)	准教授	・学級担任 (1-4) ・寮務主事補 ・企画室室員 ・COC プロジェクト推進会議委員 ・入試広報 WG ・理科主任	①物理ⅠA, ⅠB ②物理ⅢA, ⅢC ③応用物理Ⅰ, Ⅱ ④近代物理学	①素粒子論 ②初期宇宙論	①宇宙論的相転移の解明 ②宇宙磁場, 物質の起源
宮崎 昭仁 (博士〔理学〕)	准教授		化学ⅠA, ⅠB, ⅡA, ⅡB, ⅢA, ⅢB	①分析化学 ②錯体化学 ③社会地球化学 ④環境化学	①新機能性リガンドのトポロジーを用いたナノテクノロジー ②物質移動の社会地球化学的地域研究
梅垣 浩二 (修士〔体育学〕)	准教授			スポーツバイオメカニクス	ハンマー投げの加速のメカニズムとその技術

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
岡田 浩嗣 (博士〔理学〕)	准教授	・学級担任 (2-4) ・学生主事補 ・国際交流委員 ・安全衛生委員	①基礎数学 III ②微分積分 I ③微分積分 II・III ④応用数学 IA・IB	①微分方程式 ②力学系 ③特異摂動論	①反応拡散系における内部遷移層と界面のダイナミクス ②特異摂動法の非局所方程式への応用
奥村 昌司 (博士〔理学〕)	准教授	・FD・ICT 部会長 ・学寮委員 ・広報委員	①微分積分 II, III ②応用解析 1, 2	①非線形方程式 ②微分幾何学 ③数理物理	自己双対方程式のパンルベ解析
木村 健二 (修士〔体育学〕)	講師	・広報委員 ・学生委員	保健体育IV, V	①スポーツバイオメカニクス ②トレーニング科学	素早く移動方向を変更させるための戦略に関する研究
喜友名朝也 (博士〔数理学〕)	講師	・学生委員 ・教育支援センター運営委員 ・図書館運営委員	①基礎数学 I, II ②数学演習 II	整数論	①保型形式環 ②保型微分方程式

機械工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
生水 雅之 (博士〔工学〕)	教授	・ 学科長 ・ 寮務主事補	①材料学Ⅰ，Ⅱ ②加工学Ⅱ，Ⅲ ③機械工学実験Ⅰ ④材料力学Ⅲ ⑤卒業研究 ⑥弾塑性力学 ⑦材料強度学 ⑧特別演習	材料強度学	①薄膜の機械的特性評価に関する研究 ②ホーニング加工に関する研究
西山 等 (博士〔工学〕)	教授	・ 教務主事補 ・ 教育研究支援センター長	①創造演習 ②機構学 ③流れ学Ⅰ，Ⅱ ④機械工学実験Ⅱ ⑤知能機械工学 ⑥医工学 ⑦計算機援用工学 ⑧制御工学Ⅰ ⑨卒業研究	①流体工学 ②生体力学	①エアリフトポンプに関する研究 ②竹の利活用に関する研究
篠原 正浩 (博士〔工学〕)	教授	・ 機械制御システム工学コース長 ・ 進路指導委員長	①創造演習 ②機械設計法Ⅰ ③材料力学ⅡA，ⅡB ④機械工学実験Ⅰ，Ⅱ ⑤設計工学 ⑥卒業研究 ⑦先端材料工学 ⑧弾塑性力学 ⑨特別実験 ⑩エンジニアリング・デザイン演習	①材料力学 ②複合材料工学	①自己融着による熱可塑性コンポジットの修復について ②局所加熱を利用した熱可塑性樹脂複合材料の曲げ加工
谷川 博哉 (博士〔工学〕)	教授	・ 学生主事 ・ 交通対策検討委員長 ・ 人権・ハラスメント防止委員長	①入門機械実習 ②創造設計製作 ③設計製図Ⅳ ④流体工学 ⑤卒業研究 ⑥流体力学 ⑦特別研究基礎	流体力学	①振動重力場における流体の挙動 ②集風体に関する研究

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専門分野	研 究 テ ー マ
豊田 香 (博士〔工学〕)	准教授	・学級担任 (5M)	①設計製図ⅡA, ⅡB ②設計製図Ⅲ ③機械設計法Ⅱ ④熱工学 ⑤工作実習Ⅱ ⑥システム設計学 ⑦卒業研究 ⑧特別研究 ⑨特別研究基礎 ⑩エンジニアリング・デザイン 演習	①エネルギー 工学	①膜沸騰熱伝達の研究 ②伝熱を利用した装置の 開発
山田 耕一郎 (博士〔工学〕)	准教授	・学生主事補 ・進路指導委員 会副委員長 (進学指導)	①入門機械実習 ②加工学Ⅰ ③工作実習Ⅱ ④創造設計製作 ⑤機械力学Ⅰ, Ⅱ ⑥機械工学実験Ⅰ, Ⅱ ⑦卒業研究	①計算力学 ②材料力学	①ねじの疲労試験 ②ねじ焼入れの強度に関 するシミュレーション
小林 洋平 (博士〔工学〕)	准教授		①応用物理Ⅱ ②計測概論Ⅰ, Ⅱ ③マシエンジニアリングⅠ, Ⅱ ④機械工学実験Ⅰ ⑤卒業研究 ⑥プラント工学 ⑦特別実験	①エネルギー 工学 ②計測工学	①浮体式洋上風車に関す る研究 ②ハイトンの物性 ③廃炉ロボットの研究
野毛 宏文 (博士〔工学〕)	准教授		①機械工学実験Ⅰ ②熱力学Ⅰ, Ⅱ ③電子物理Ⅰ, Ⅱ ④工業英語 ⑤エネルギー環境学 ⑥応用物理Ⅰ ⑦卒業研究	熱工学	パーム酸油を燃焼用燃料 として有効利用するた めの基礎研究

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専門分野	研 究 テ ー マ
村上信太郎 (博士〔工学〕)	講師	・学級担任 (4M)	①機械工学実験Ⅰ ②設計製図ⅡA, ⅡB ③情報処理Ⅰ ④工学基礎 ⑤数学演習 ⑥力学基礎Ⅰ, Ⅱ ⑦卒業研究 ⑧特別実験	①熱流体工学 ②数値流体力学	マイクロスケール圧縮性 流れの流動・伝熱
室巻 孝郎 (博士〔工学〕)	講師	・学級担任 (3M)	①機械工学実験Ⅰ, Ⅱ ②テクニカルドロー イング ③設計製図Ⅲ ④情報処理Ⅱ ⑤システム工学Ⅰ, Ⅱ ⑥電気工学Ⅰ, Ⅱ ⑦卒業研究 ⑧特別演習 ⑨動的設計論 ⑩特別研究基礎	①数値最適化 ②システム工学	①分散型ロボティック照 明システムの開発 ②福祉機器の開発
須田 敦 (博士〔工学〕)	助教		①工学基礎 ②テクニカルドロー イング ③設計製図ⅠA, ⅠB ④入門機械電気電子情 報工学 ⑤機械工学実験Ⅰ ⑥設計製図Ⅳ ⑦機械工学実験Ⅱ ⑧制御工学Ⅱ ⑨卒業研究 ⑩特別演習 ⑪動的設計論	①設計工学, 機 械機能要素 ②機械力学, 制 御	①産業用キャスタ・ハン ドトラック(台車)に 関する研究 ②緩衝装置・材料に関す る研究 ③産学連携による研究開 発

電気情報工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
平地 克也 (博士〔工学〕)	教授	・ 副校長 ・ テクノセンタ ー長	①電子回路Ⅱ ②アクチュエータ工学 ③電気機器Ⅰ・Ⅱ ④電気情報工学実験ⅢA・ⅢB ⑤エネルギー工学Ⅰ・Ⅱ ⑥工学基礎研究 ⑦卒業研究 ⑧特別研究	パワーエレクトロニクス	インバータ，DC/DC コンバータ，UPS 等各種電力変換装置の研究
金山 光一 (博士〔工学〕)	教授	・ 学級担任 (5E) ・ 評価委員会副 委員長	①電気情報工学実験ⅠA・ⅠB ②交流回路Ⅱ ③電気磁気学Ⅰ ④創造工学 ⑤工学基礎研究 ⑥卒業研究 ⑦特別実験 ⑧電子デバイス工学Ⅰ ⑨技術者倫理	①電子デバイス工学 ②超音波エレクトロニクス	①圧電デバイスの研究 ②非破壊検査技術に関する研究 ③センサーに関する研究
中川 重康 (博士〔工学〕)	教授		①インターフェースⅠ，Ⅱ ②アナログ信号処理Ⅱ ③デジタル信号処理 ④電気情報工学実験ⅡA・ⅡB ⑤創造工学 ⑥工学基礎研究 ⑦卒業研究 ⑧特別実験 ⑨パワーエレクトロニクス ⑩特別研究	①電力工学 ②太陽エネルギー利用	①日射量予測を導入した太陽光発電・蓄電システムの開発 ②日射量モデルの評価に関する研究
片山 英昭 (博士〔工学〕)	教授	・ 専攻科コース 長（専攻長） ・ 学級副担任 (1-4)	①情報理論 ②数値解析実習 ③創造工学 ④工学基礎研究 ⑤過渡現象論 ⑥電気情報工学実験ⅣA・ⅣB ⑦卒業研究 ⑧特別実験 ⑨情報工学	情報システム工学	①視覚障害者のための物体認識 ②車番の欠損文字の認識に関する研究
竹澤 智樹 (博士〔理学〕)	教授	・ 学科長	①電気情報工学実験ⅠA・ⅠB ②交流回路Ⅰ ③回路理論 ④創造工学 ⑤工学基礎研究 ⑥電気磁気学Ⅲ ⑦卒業研究 ⑧エンジニアリングデザイン演習	物性物理学	第一原理電子状態計算による物性評価 ・ 物質設計 ・ 超伝導（Pd, Fe） ・ 高圧物性（水素）

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
船木 英岳 (博士〔工学〕)	准教授	・学級担任 (3E)	①コンピュータグラフィックス ②ネットワーク論Ⅰ・Ⅱ ③電気情報工学実験ⅢA・ⅢB ④創造工学 ⑤工学基礎研究 ⑥オペレーティングシステムⅠ・Ⅱ ⑦卒業研究 ⑧ネットワークシステム論 ⑨エンジニアリングデザイン演習	情報システム 工学	①複数ARマーカを用いたソフトウェアの開発 ②Kinectを用いた障がい者支援ツールの改良 ③視線を用いたコミュニケーションツールの開発
内海 淳志 (博士〔工学〕)	准教授	・教務主事補	①電気概論 ②電気回路 ③電気情報工学実験ⅡB ④アナログ回路 ⑤電子工学Ⅰ・Ⅱ ⑥創造工学 ⑦工学基礎研究 ⑧半導体工学 ⑨卒業研究 ⑩電磁気応用工学 ⑪特別実験	光電子工学 半導体工学	①近接場光応用技術の開発 ②電子デバイス教材の開発
芦澤 恵太 (博士〔理学〕)	准教授	・学生主事補 ・進路指導委員会副委員長 (就職指導)	①情報基礎 ②C言語 ③アナログ信号処理Ⅰ ④通信工学Ⅰ・Ⅱ ⑤画像工学 ⑥電気情報工学実験ⅡA・ⅡB ⑦工学基礎研究 ⑧卒業研究 ⑨特別研究基礎 ⑩特別研究	①画像処理 ②数値調和解析	①画像圧縮アルゴリズムの開発 ②ギブス現象軽減に関する研究
丹下 裕 (博士〔工学〕)	准教授		①電気情報工学実験ⅠA ②電気磁気学Ⅱ ③創造工学 ④工学基礎研究 ⑤伝送工学 ⑥シミュレーション工学Ⅰ・Ⅱ ⑦電気情報工学実験ⅣA・ⅣB ⑧卒業研究 ⑨応用通信工学 ⑩特別研究	医用生体工学	①癌温熱治療装置の開発 ②障がい者支援に関する研究
井上 泰仁 (博士〔工学〕)	准教授	・学級担任 (4E) ・寮務主事補	①工学基礎 ②情報数学 ③デジタル回路 ④論理回路 ⑤電気情報工学実験ⅢA・ⅢB ⑥工学基礎研究 ⑦卒業研究 ⑧医療工学	情報科学	膜タンパク質の機能予測

電子制御工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
金森 満 (博士〔工学〕)	教授	・教務主事	①制御工学Ⅲ ②(E)制御工学Ⅱ ③振動工学Ⅰ・Ⅱ ④卒業研究 ⑤ロボットシステム制御 ⑥特別実験 ⑦特別研究基礎	①制御工学 ②メカトロニクス ③振動制御	①双腕ロボットアームの位置と力のハイブリッド制御 ②ホロノミック拘束下におけるロボットアームの位置と力のハイブリッド制御 ③ヒューマノイドロボットの段差歩行に関する研究
野間 正泰 (博士〔工学〕)	教授	・情報科学センター長 ・学級担任(4S)	①材料力学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ②水力学Ⅰ・Ⅱ ③計測工学Ⅰ ④数学演習 ⑤機械工学実験 ⑥卒業研究 ⑦流体工学特論 ⑧エンジニアリングデザイン演習	①トライボロジー ②可視化情報計測	①テラー渦とキャビティ流れの相互作用 ②マルチパッドジャーナル軸受内の潤滑油流れ ③回流水槽中を移動する物体まわりの流れの可視化 ④簡易風洞の設計製作とCOC出前授業への適用
奥村 幸彦 (博士〔工学〕)	教授	・企画室長 ・学級担任(5S)	①熱工学Ⅰ・Ⅱ ②計測工学Ⅱ ③技術英語Ⅰ・Ⅱ ④画像処理Ⅰ・Ⅱ ⑤機械工学実験 ⑥卒業研究 ⑦エネルギー工学 ⑧エンジニアリングデザイン演習 ⑨特別研究	①エネルギー工学 ②熱工学 ③機械工学	①環境保全を目指した新エネルギー利用技術の開発 ②燃焼に伴う環境汚染物質の生成機構と抑制技術〔環境機器の設計〕 ③ハイパワー型半導体の創製
仲川 力 (博士〔工学〕)	教授	・寮務主事	①情報処理Ⅲ ②CAD演習ⅠB ③電子制御実験 ④創造設計プロジェクト ⑤CAD演習ⅡC ⑥卒業研究	機械工学	①クローラ走行体の走行性能に関する研究 ②人工筋肉の開発
川田 昌克 (博士〔工学〕)	教授	・電子制御工学科長 ・教務主事補	①工学基礎 ②制御工学Ⅰ・Ⅱ ③数値計算法Ⅰ・Ⅱ ④システム制御Ⅰ・Ⅱ ⑤制御工学実験 ⑥卒業研究 ⑦システム制御工学 ⑧特別研究	制御工学	①数値最適化による制御系解析／設計と実システムへの応用 ②制御工学教育のコンテンツ開発

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
町田 秀和 (博士〔情報工 学〕)	准教授	・ 副担任 (1-3)	①計算機工学Ⅰ・Ⅱ ②電子制御実験 ③創造設計プロジェクト ④電子回路Ⅴ ⑤CAD演習ⅡB ⑥卒業研究 ⑦信号処理特論 ⑧制御工学特論	①ハードウェ ア(IC)実現 ②デジタル 信号処理	①2重ループPLL/PWMモータコントローラの解析と実現 ②PWM/PDM-1bit信号演算処理のFPGA実現 ③Java言語によるWebベースの教育システム(CAI)の開発 ④DSPによるリアルタイム信号処理
清原 修二 (博士〔工学〕)	准教授	・ 学級担任 (3S)	①電子制御実習Ⅰ・Ⅱ ②電子工学Ⅰ・Ⅱ ③電気磁気学Ⅰ・Ⅱ ④電子回路Ⅲ・Ⅳ ⑤卒業研究 ⑥電子回路特論 ⑦特別研究	①ナノテクノロジー ②超微細加工 学 ③電子・イオン ビーム工 学	①室温硬化ナノインプリント用モールドの開発 ②室温インプリント法による機能性DLCナノデバイスの開発
伊藤 稔 (博士〔工学〕)	准教授	・ 寮務主事補	①情報処理Ⅰ・Ⅱ ②情報学Ⅰ・Ⅱ ③電子制御実験 ④卒業研究 ⑤知識情報工学 ⑥特別実験 ⑦特別研究基礎	ソフトコンピ ューティング	①進化計算の工学的応用 ②SLAMに関する研究
石川 一平 (博士〔工学〕)	准教授	・ 学生主事補	①電気基礎Ⅰ・Ⅱ ②防災リテラシー ③力学Ⅰ ④電子回路Ⅰ ⑤電子制御実験 ⑥卒業研究 ⑦特別実験 ⑧電子デバイス工学Ⅱ ⑨特別研究基礎	①電子物理 ②応用物理 ③材料工学	①微細発光デバイスの作製 ②プラスチックを用いた放射線計測に関する研究
高木 太郎 (博士〔工学〕)	助教		①電子制御実験 ②ロボット工学Ⅰ ③CAD演習ⅡA ④制御工学実験 ⑤卒業研究 ⑥特別実験 ⑦特別演習 ⑧特別研究	制御工学	①概強正実性に基づく適応制御系のモデルフリー構成法 ②マルチレートシステムに対する適応予測制御系構成法

建設システム工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
高谷 富也 (博士〔学術〕)	教授	・教育プログラム (MDE) 委員 長 ・学級担任 (4C)	①構造力学ⅠA, B ②構造力学ⅡA, B ③数値解析Ⅰ ④建設設計製図Ⅰ ⑤構造解析 ⑥建設振動学 ⑦耐震工学 ⑧卒業研究 ⑨応用情報工学 ⑩建築耐震工学 ⑪特別実験	①構造・耐震 工学 ②振動工学 ③動土質	①木造建築物の地震時倒壊 過程解析に関する研究 ②地震時における地盤の増 幅特性の評価手法および その適用に関する研究 ③耐震建具を用いた既存木 造住宅の耐震補強工法の 開発に関する研究 ④3D ソフトウェアの都市計 画への適用に関する研究
四蔵 茂雄 (博士〔工学〕)	教授	・学科長 ・安全衛生委員 会委員長	①環境衛生学Ⅰ, Ⅱ ②環境工学ⅠA, ⅠB ③環境工学ⅡA, ⅡB ④建設システム工学実 験Ⅲ ⑤建設システム工学実 験Ⅳ ⑥卒業研究 ⑦地球環境政策学	①環境工学 ②環境政策学	①途上国のエネルギー環境 問題 ②循環型社会形成の政策論
三輪 浩 (博士〔工学〕)	教授	・専攻科長 ・教務主事補	①水理学ⅠA, ⅠB ②水理学ⅡA, ⅡB ③建設システム工学実 験Ⅲ ④河川工学 ⑤河川環境 ⑥海岸工学 ⑦卒業研究 ⑧水圏環境学 ⑨環境防災論 ⑩特別研究 ⑪特別実験 ⑫特別演習	①水工水理学 ②土木環境シ ステム	①覆砂による土砂移動機構 と流路変動予測 ②河口砂州の動態観測と制 御 ③流砂モデルの再構築（混 合砂礫の移動限界）
玉田 和也 (博士〔工学〕)	教授	・広報委員会 副委員長	①工学基礎 ②建設システム工学実 験Ⅲ ③構造力学Ⅲ ④鋼構造学ⅠⅡ ⑤応用構造力学 ⑥卒業研究 ⑦応用構造工学 ⑧メンテナンス工学 ⑨特別研究 ⑩特別実験	①メンテナン ス工学 ②橋梁工学 ③構造工学	①地方自治体が管理する橋 梁の維持管理 ②橋梁の健全度評価 ③アセットマネジメント ④応急復旧橋の開発 ⑤構造力学教育

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
尾上 亮介 (博士〔芸術文化学〕)	教授	・3年担任 ・図書館長	①建設システム工学概論 ②都市計画 ③建設製図Ⅰ ④建設製図Ⅱ ⑤建設製図制作 ⑥建築計画Ⅰ ⑦建築デザインⅠ ⑧卒業研究 ⑨特別研究 ⑩まちづくり学 ⑪設計製図	①建築設計 ②都市計画 ③まちづくり	①空き店舗の活用に関する研究 ②民家改修における意匠・形態に関する研究 ③歴史的景観を形成する建築意匠に関する研究
宮元 健次 (修士〔芸術学〕)	准教授		①建設製図Ⅱ ②エンジニアリングデザイン ③建築史 ④建築デザインⅡ ⑤建設設計製図ⅡB ⑥建築計画Ⅱ ⑦計画学AB ⑧設計製図 ⑨建設計画学 ⑩卒業研究	①建築計画 ②地域計画	①歴史的景観を生かした町づくり ②少子高齢化時代の建設設計
加登 文学 (博士〔工学〕)	准教授	・学生主事補	①防災リテラシー ②建設システム工学概論Ⅰ,Ⅱ ③建設製図制作 ④建設システム工学実験ⅠA,ⅠB ⑤地盤工学ⅠA,ⅠB ⑥地盤工学ⅡA,ⅡB ⑦防災工学 ⑧卒業研究 ⑨地盤工学設計論	①地盤工学 ②土質力学	①地盤材料の力学特性に関する研究 ②強震動予測に関する研究 ③斜面安全管理に関する研究
徳永 泰伸 (博士〔工学〕)	准教授	・寮務主事補 ・CAコース長	①建築環境Ⅰ,Ⅱ ②建築設備Ⅰ,Ⅱ ③建設製図制作 ④建設システム工学実験ⅠA,ⅠB ⑤工学基礎 ⑥卒業研究 ⑦特別実験 ⑧特別研究 ⑨建築環境工学特論	①建築環境学	①室内音環境に関する研究 ②視覚と聴感の相互作用に関する研究

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
渡部 昌弘 (博士 [工学])	助教		①測量実習 ②建築一般構造 ③情報処理 I, II ④数値解析 II ⑤建築構造 A, B ⑥建築構造 I ⑦卒業研究 ⑧特別研究	①木質構造学	①歴史的木質建築物の保存・改修 ②木質系構造を用いた文化資産の復原
毛利 聡 (博士 [工学])	助教		①測量実習 ②建設材料学 ③建設システム工学実験 IA, IB ④コンクリート構造学 II ⑤建設材料特論 ⑥卒業研究	①建築材料施工	①建築部材の補修・改修・維持管理技術の高度化 ②コンクリート系材料の耐久性評価

教 職 員 数

平成 29 年 3 月 1 日現在

校 長		1					
教 員	区 分	教授	准教授	講師	助教	特任等	計
	人 文 科 学 部 門	4	4	1	1	2	1 2
	自 然 科 学 部 門	4	5	2	-	-	1 1
	機 械 工 学 科	4	4	2	1	-	1 1
	電 気 情 報 工 学 科	5	5	-	-	-	1 0
	電 子 制 御 工 学 科	5	4	-	1	-	1 0
	建設システム工学科	5	2	1	1	-	9
	計	2 7	2 4	6	4	2	6 3
事 務 職 員	事 務 部 長	1					
	総 務 課	1 3					
	学生課(看護師含む)	1 6					
	再雇用事務職員	1					
	計	3 1					
技 術 職 員	教育研究支援センター	1 2					
	施 設 系	2					
	再雇用技術職員	0					
	計	1 4					
非常勤教職員	事 務 補 佐 員 等	2 1					
	特 命 助 教	1					
	非 常 勤 講 師	3 4					
	学 校 医 等	5					
	計	6 1					
合 計		1 6 9					

学校行事日程

月	日	曜日	行 事 名
4	2	土	開寮
	3	日	新入生入寮日・入寮式
	4	月	入学式、後援会総会
	5	火	始業式、オリエンテーション、身体計測・心電図・胸部レントゲン
	6	水	授業開始
	12	火	新入生合宿研修（～13日）
	18	月	交通安全講習会 （4年生除く学年・専攻科）
	19	火	JABEE 説明会（専攻科1年）
	20	水	交通安全講習会（4年）
	26	火	開校記念日
5	9	月	学生総会
	15	日	福井高専との交歓試合
	18	水	スポーツフェスタ
	21	土	プレオープンキャンパス（舞鶴）
	30	月	特別授業
6	2	木	前期中間試験（～10日） 学位申請説明会（専攻科2年）
	12	日	プレオープンキャンパス（京都）
	18	土	編入学試験
	19	日	専攻科推薦特別選抜試験
	25	土	プレオープンキャンパス（三田）
7	2	土	公開講座「光であそぼう」
	3	日	プレオープンキャンパス（彦根）
	4	月	防災訓練
	9	土	近畿地区高専体育大会（卓球・柔道）（～10日） 公開講座「光であそぼう」 公開講座「まちをつくろう」
	10	日	近畿地区高専空手道親善試合
	15	金	午前・英語デー 午後・特別授業
	16	土	専攻科学力選抜（前期） 公開講座「光であそぼう」 公開講座「まちをつくろう」
	21	木	月曜日の授業
	23	土	開寮 公開講座「まちをつくろう」 公開講座「ダンボールであそんで防災について学ぼう」
	24	日	公開講座「第1回ナノテクノロジー体験教室」 （小学生対象）（中学生対象）

月	日	曜日	行 事 名
7	25	月	夏季休業（～9月2日）
	30	土	オープンキャンパス（～31日）
8	12	金	夏季一斉休業
	17	水	公開講座「夏休み親子工作教室」
	20	土	公開講座「第4回パワエレクトロニクス公開講座」
	28	木	公開講座「つくってみよう！移動ロボット」 （小学生の部・第1回） （中学生の部・第1回）
9	3	土	公開講座「考えて動かそう！きみにもできるロボットづくり」 公開講座「電子ピアノを作ろう」
	4	日	開寮 公開講座「3D-CAD を使ってみよう！パソコンで3Dモデル組立て」
	5	月	授業開始、特別授業
	13	火	特別授業
	14	水	本科・専攻科前期期末試験（～23日）
	26	月	特別授業
	27	火	試験返却等到達度確認期間（～29日）
	29	木	全校集会
	30	金	後期授業開始・木曜日の授業
10	6	木	特別研究基礎中間発表（専攻科1年）
	11	火	球技大会
	15	土	専攻科学力選抜（後期等）
	22	土	高専祭市中パレード 公開講座「ハウジング・イメージの製作」 公開講座「本校学生の作品を用いた電気情報分野の体験と理解」（～23日）
	23	日	公開講座「LEDハウジング・ペーパークラフトの製作」
	29	土	高専祭（～30日） 公開講座「防災について学ぼう」 公開講座「つくってみよう！移動ロボット」 （小学生の部・第2回）
	30	日	公開講座「つくってみよう！移動ロボット」 （中学生の部・第2回） 公開講座「光であそぼう」
11	5	土	公開講座「空気抵抗の小さな浮子とルーアを作ってみよう」
	8	火	4年生研修旅行（～11日）
	9	水	特別授業
	10	木	物理模擬試験
	13	日	公開講座「防災について学ぼう」（中丹絆フェスタ）
	15	火	学生総会

月	日	曜日	行 事 名
	1 9	土	公開講座「レーザー加工でオリジナル定規を作ろう！-測って削ってマも作ろう-」 公開講座「空気抵抗の小さな浮子とルアーを作ってみよう」(わかさわんクラフトマルシェ)
	2 9	火	特別授業
1 2	1	木	後期中間試験(～7日) 情報科学センター講演会
	3	土	公開講座「第2回ナノテクノロジー体験教室」 (小学生対象)(中学生対象) 公開講座「暗くなると光る家型LEDライトを作ろう」
	4	日	公開講座「親子クリスマスツリー作り教室」
	1 0	土	女子中学生1日高専体験会 公開講座「フルカラーLEDで七色に光るクリスマスツリーを作ろう!!」
	1 1	日	合同学校説明会
	2 3	金	閉寮
	2 6	月	冬季休業(～1月6日)
1	9	月	開寮
	1 0	火	授業開始
	1 2	木	学習到達度試験 (数学・物理3年生対象)
	1 5	日	公開講座「ロボットで障害物競争！」
	1 9	木	特別研究発表会(専攻科2年)
	2 2	日	特別選抜入試
	2 6	木	月曜日の授業
	3 0	月	5年生・専攻科2年後期期末試験 (～2月3日)
2	4	土	公開講座「3Dプリンターで造形したプラスチック試験片の引張試験と各種測定工具を用いた実習」
2	5	日	公開講座「MDF材でネームプレートを作ろう」 公開講座「レーザーカットした材料で乗り物を作ろう」
	1 3	月	特別授業(～14日)
	1 5	水	1～4年生・専攻科1年生後期期末試験 (～24日)
	1 9	日	学力検査選抜入試
	2 0	月	臨時休業(～21日)
	2 5	土	公開講座「光であそぼう ～紫外線の効果～」(京都市・亀岡市) 公開講座「スクリーンメーションを作ろう!!」
	2 7	月	特別授業 公開講座「音に反応して走る車を作ろう」

月	日	曜日	行 事 名
	2 8	火	試験返却等到達度確認期間(～3月2日)
3	2	木	学寮部屋替(～3日)
	4	土	閉寮 合同企業説明会(～5日)
	6	月	学年末休業(～31日)
	9	木	特別研究基礎発表(専攻科1年)
	1 7	金	卒業証書・修了証書授与式
	1 8	土	進路に関する三者懇談会 No. 1 (～19日) 公開講座「空気抵抗の小さな浮子とルアーを作ってみよう」 公開講座「第5回パワエレトロニクス公開講座」
	2 0	月	入学説明会
	2 5	土	公開講座「デジタルファブリケーション入門！デジタル工作機械を作ってみよう」

教 育 活 動

学生数	8 6
本科学学生定員，現員	8 6
外国人留学生入学者数	8 6
専攻科学学生定員，現員	8 6
学生寮現員	8 7
奨学生数，授業料免除該当者数及び入学科免除・猶予	8 8
高等学校就学支援金受給者数	8 8
入試状況	8 9
本科志願者数	8 9
本科合格者数	8 9
編入志願者数及び合格者数	8 9
専攻科入学志願者数及び合格者数	8 9
就職状況（本科）	9 0
求人及び決定状況	9 0
決定先の所在地域別状況	9 0
決定先の業種別状況	9 0
就職状況（専攻科）	9 1
求人及び決定状況	9 1
決定先の所在地域別状況	9 1
決定先の業種別状況	9 1
進学状況（本科）	9 2
進学状況（専攻科）	9 2
進路先一覧（本科）	9 3
進路先一覧（専攻科）	9 4
卒業研究題目	9 5
機械工学科	9 5
電気情報工学科	9 5
電子制御工学科	9 6
建設システム工学科	9 7
専攻科特別研究題目（第2学年）	9 8
インターンシップ受入先（本科）	9 9
インターンシップ受入先（専攻科）	1 0 0
課外活動成績	1 0 1
課外活動に対する教員の活動状況	1 0 3

学 生 数

本科学学生定員

学 科	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
入学定員	40	40	40	40	160
学生総定員	200	200	200	200	800

本科学学生現員

H28. 5. 1 現在

学年・学科	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
第1学年	41(5)	46(7)	45(3)	42(10)	174(25)
第2学年	43(4)	38(7)	43(3)	40(7)	164(21)
第3学年	48(2)	42(5)	40(1)	42(7)	172(15)
第4学年	41(2)	48(5)	31(2)	42(11)	162(20)
第5学年	31(0)	31(1)	35(1)	40(8)	137(10)
計	204(13)	205(25)	194(10)	206(43)	809(91)

() 内は女子学生数を示す。(内数)

外国人留学生入学者数(第3学年編入学生数)

学 科	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
人 数	0	0	1	0	1

専攻科学生定員

専 攻	総合システム工学専攻		
コ ー ス	電気電子システム工学コース	機械制御システム工学コース	建設工学コース
入学定員	16		
総 定 員	32		

専攻科学生現員

H28. 5. 1 現在

専攻	総合システム工学専攻			計
コース	電気電子システム工学コース	機械制御システム工学コース	建設工学コース	
第1学年	11(0)	5(0)	6(2)	22(2)
第2学年	9(0)	6(0)	3(0)	18(0)
計	20(0)	11(0)	9(2)	40(2)
専攻	電気・制御システム工学専攻			計
第2学年	2(0)			
計	2(0)			

() 内は女子学生数を示す。(内数)

学生寮現員

H28. 5. 1 現在

学 年	男 子	女 子	合 計
第 1 学年	130	23	153
第 2 学年	124	19	143
第 3 学年	103	12	115
第 4 学年	74	13	87
第 5 学年	59	8	67
専攻科 1 年	5	0	5
専攻科 2 年	7	0	7
計	502	75	577

奨学生数（平成 29 年 2 月現在）

奨 学 金 の 種 類		奨 学 生 数							
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	専 1 年	専 2 年	計
日本学生支援機構奨学金	第一種	5	11	14	14	13	3	2	62
	第二種	対象外			3	0	1	5	9
京都府高等学校等修学資金		4	3	5	1	0	対象外		13
その他 府県奨学金		0	2	5	5	2	0	0	14
市町村奨学金		2	3	0	1	1	0	0	7
法人等の奨学金		0	1	0	0	2	0	0	3

授業料免除者数

区 分		免 除 者 数				
		4 年	5 年	専 1 年	専 2 年	計
前 期	全額免除	16 (2)	10 (3)	3 (2)	2 (1)	31 (8)
	半額免除	1 (1)	3 (3)	0	2 (2)	6 (6)
後 期	全額免除	17 (2)	8 (2)	3 (2)	2 (1)	30 (7)
	半額免除	1 (1)	3 (3)	0	2 (2)	6 (6)

※括弧書きは国立高等専門学校機構への超過免除申請による免除者数で内数

入 学 料 免 除 者 数 …… 0 名

入 学 料 徴 収 猶 予 者 数 …… 4 名

授業料免除における特別措置 対象者数

（高等学校就学支援金受給者については、支給後の本人負担額を免除）

免除者数 前期…0 名

後期…0 名

卓越した学生に対する授業料免除

免除者数 後期…4 年生 2 名（全額免除）

平成 28 年度高等学校就学支援金 受給者数（平成 29 年 2 月現在）

（加算および所得制限に係る該当者は平成 28 年 7 月分以降申請者）

	1 年	2 年	3 年	計
受 給 者 数	130	133	111	374
所得制限による非該当者数（※）	42	26	40	108
2.5 倍加算該当者（※）	11	17	14	42
2 倍加算該当者	9	25	19	53
1.5 倍加算該当者	47	41	33	121
特例措置該当者	0	0	0	0

※就学支援金制度の変更に伴い追加された項目（平成 26 年 4 月以降入学者対象）

入 試 状 況

本科志願者数(都道府県別)

府県名 \ 学科	機 械 工 学 科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
京 都 府	29 (2)	23 (6)	36 (2)	26 (6)	114 (16)
福 井 県	2 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	6 (1)
兵 庫 県	11 (1)	16 (1)	12 (2)	7 (0)	46 (4)
滋 賀 県	8 (0)	5 (1)	7 (0)	8 (2)	28 (3)
大 阪 府	4 (1)	2 (0)	4 (0)	5 (2)	15 (3)
そ の 他	4 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	6 (0)
計	58 (4)	47 (8)	59 (4)	51 (11)	215 (27)

H29. 2. 3 現在, () 内数字は女子学生で内数。

本科合格者数(都道府県別)

府県名 \ 学科	機 械 工 学 科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
京 都 府	26 (2)	20 (6)	25 (2)	24 (6)	95 (16)
福 井 県	1 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	5 (1)
兵 庫 県	8 (1)	14 (1)	10 (2)	6 (0)	38 (4)
滋 賀 県	5 (0)	5 (1)	6 (0)	6 (2)	22 (3)
大 阪 府	3 (1)	3 (0)	3 (0)	4 (2)	13 (3)
そ の 他	2 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (0)
計	45 (4)	43 (8)	44 (4)	45 (11)	177 (27)

H29. 2. 23 現在, () 内数字は女子学生で内数。

編入学志願者数及び合格者数

学科	機 械 工 学 科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
志願者数	2 (0)	4 (0)	4 (0)	1 (0)	11 (0)
合格者数	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)

H29. 2. 23 現在, () 内数字は女子学生で内数。

専攻科入学志願者数及び合格者数

専攻 コース	総合システム工学専攻			計
	電気電子システム 工学コース	機械制御システム 工学コース	建設工学コース	
志願者数	16 (0)	6 (0)	4 (0)	26 (0)
合格者数	12 (0)	3 (0)	3 (0)	18 (0)

H29. 2. 23 現在, () 内数字は女子学生で内数。

平成28年度就職状況（本科）

求人及び決定状況

平成29年3月31日現在

区分	卒業者数	就職希望者数	内定者数	大学・専攻 科進学希望者数	合格者数	その他	求人会社 数(社)	求人数 (人)	求人倍率
機械	31	19	19	11	11	1	655	672	35.4
電気情報	31	11	11	19	19	1	651	658	59.8
電子制御	35	18	18	15	15	2	605	611	33.9
建設システム (都市環境)	24	16	16	7	7	1	454	504	31.5
建設システム (建築)	14	9	9	5	5	0	430	441	49.0
合計	135	73	73	57	57	5	2795	2886	39.5

求人会社数は、学科間の重複を含む。

決定先の所在地域別状況

区分	京都府	大阪府	兵庫県	滋賀県	中京地域	京浜地域	その他	合計
機械	1 5.3%	2 10.5%	3 15.8%	4 21.1%	1 5.3%	7 36.8%	1 5.3%	19 100.0%
電気情報	3 27.3%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	6 54.5%	0 0.0%	11 100.0%
電子制御	1 5.6%	5 27.8%	1 5.6%	2 11.1%	1 5.6%	6 33.3%	2 11.1%	18 100.0%
建設システム (都市環境)	3 18.8%	5 31.3%	1 6.3%	0 0.0%	2 12.5%	3 18.8%	2 12.5%	16 100.0%
建設システム (建築)	1 11.1%	6 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	9 100.0%
合計	9 12.3%	19 26.0%	6 8.2%	6 8.2%	4 5.5%	24 32.9%	5 6.8%	73 100.0%

上段の数字は人数を示す。

決定先の業種別状況

区分	建設	食品	繊維	出版・印刷	化学	鉄鋼・金属	機械	電気機器	輸送用機器	精密機器	電力・ガス	その他製造	情報通信	運輸・通信	卸売・小売	不動産・賃貸	生活・娯楽	学術サービス	その他サービス	官公庁	合計
機械	0 0.0%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	7 36.8%	1 5.3%	5 26.3%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	19 100.0%
電気情報	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 27.3%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%
電子制御	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	6 33.3%	2 11.1%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	2 11.1%	0 0.0%	18 100.0%
建設システム (都市環境)	7 43.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 18.8%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	3 18.8%	16 100.0%
建設システム (建築)	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	9 100.0%
合計	12 16.4%	2 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.7%	2 2.7%	17 23.3%	3 4.1%	7 9.6%	0 0.0%	2 2.7%	1 1.4%	6 8.2%	3 4.1%	0 0.0%	2 2.7%	0 0.0%	7 9.6%	3 4.1%	4 5.5%	73 100.0%

上段の数字は人数を示す。

平成28年度就職状況(専攻科)

求人及び決定状況

平成29年3月31日現在

区分	修了者数	就職希望者数	内定者数	大学・専攻科進学希望者数	合格者数	その他	求人会社数(社)	求人数(人)	求人倍率
電気・制御 電気電子	11	9	9	2	2	0	606	608	67.6
機械制御	6	3	3	3	3	0	572	576	192.0
建設	2	1	1	1	1	0	449	479	479.0
合計	19	13	13	6	6	0	1627	1663	127.9

求人会社数は、専攻間の重複を含む。

決定先の所在地別状況

区分	京都府	大阪府	兵庫県	滋賀県	中京地域	京浜地域	その他	合計
電気・制御 電気電子	4 44.4%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	9 100.0%
機械制御	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%
建設	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	5 38.5%	2 15.4%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%	3 23.1%	0 0.0%	13 100.0%

上段の数字は人数を示す。

決定先の業種別状況

区分	建設	食品	繊維	出版・印刷	化学	鉄鋼・金属	機械	電気機器	輸送用機器	精密機器	電力・ガス	その他製造	情報通信	運輸・通信	卸売・小売	不動産・賃貸	生活・娯楽	学術サービス	その他サービス	官公庁	合計
電気・制御 電気電子	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 44.4%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
機械制御	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%
建設	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
合計	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 53.8%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	13 100.0%

上段の数字は人数を示す。

進 学 状 況 (本 科)

平成29年3月31日現在

大 学 ・ 専 攻 科	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	電 子 制 御 工 学 科	建 設 シ ス テ ム 工 学 科	計
舞鶴工業高等専門学校専攻科	1	9	2	3	15
近畿大学工業高等専門学校専攻科			1		1
室蘭工業大学		1			1
東北大学	1				1
千葉大学				1	1
長岡技術科学大学		2	5	2	9
豊橋技術科学大学	3	4	2	2	11
金沢大学	1		1		2
岐阜大学	2				2
福井大学		1			1
三重大学	1				1
京都工芸繊維大学		1		1	2
徳島大学				1	1
岡山大学		1	1		2
九州工業大学	1		1		2
宮崎大学			1	1	2
首都大学東京			1		1
立命館大学	1			1	2
計	11	19	15	12	57

進 学 状 況 (専攻科)

平成29年3月31日現在

大 学 院	ES	MS	CA	計
北陸先端科学技術大学院大学	1	1		2
奈良先端科学技術大学院大学		1		1
大阪大学大学院	1			1
京都府立大学大学院			1	1
兵庫県立大学大学院		1		1
計	2	3	1	6

ES:電気・制御システム工学専攻, 電気電子システム工学コース,
MS:機械制御システム工学コース, CA:建設工学コース

進路先一覧(本科)

平成29年3月31日現在

科	進路先	人数	科	進路先	人数	科	進路先	人数
機械工学科	(株)NTTフィールドテクノ	1	電気情報工学科	舞鶴工業高等専門学校専攻科	9	建設システム工学科	大阪ガス(株)	1
	極東開発工業(株)	1		室蘭工業大学	1		鳳工業(株)	1
	麒麟ビバレッジ(株)湘南工場	1		長岡技術科学大学	2		(株)オリエンタルコンサルタンツ	1
	KYB(株)	1		福井大学	1		(株)鍛冶田工務店	1
	サントリーホールディングス(株)	1		豊橋技術科学大学	4		京都市	1
	JX金属(株)	1		京都工芸繊維大学	1		五洋建設(株)	1
	島津プレシジョンテクノロジー(株)	1		岡山大学	1		JR西日本不動産開発(株)	1
	ジャパンマリンユナイテッド(株)舞鶴事業所	1		小計	30		(株)スリーエスコンサルタンツ	1
	ダイキン工業(株)	1		旭化成(株)	1		大鉄工業(株)	1
	(株)タダノ	1		(株)岩崎電機製作所	1		大和ハウス工業(株)	2
	電源開発(株)	1		(株)Mテック	1		タカスタンダード(株)	1
	東レ・カーボンマジック(株)	1		関電プラント(株)	1		東海旅客鉄道(株)	1
	トヨタ自動車(株)	1		キャノンマシナリー(株)	1		(同)ドリームコーポレーション	1
	三井造船(株)玉野事業所	1		(株)クレスコ	1		(株)浪速技研コンサルタント	1
	三菱重工工作機械(株)	1		(株)ケイ・オプティコム	1		西日本高速道路ファシリティーズ(株)	1
	三菱電機(株)神戸製作所	1		ダイハツ工業(株)	1		西日本旅客鉄道(株)	1
	三菱日立パワーシステムズ(株)	1		(株)テクモ	1		西松建設(株)	1
	(株)村田製作所八日市事業所	1		(株)日新システムズ	1		(株)日本ピーエス	1
	(株)吉野工業所	1		ニプロ(株)	1		福知山市	1
	舞鶴工業高等専門学校専攻科	1		日本電産テクノモータ(株)	1		舞鶴市	2
	東北大学	1		日本オーチス・エレベータ(株)	1		舞鶴工業高等専門学校専攻科	3
	岐阜大学	2		日本空港テクノ(株)	1		千葉大学	1
	豊橋技術科学大学	3		パナソニック(株)オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社 車載	1		長岡技術科学大学	2
	金沢大学	1		パナソニック(株)AVCネットワークス社	1		豊橋技術科学大学	2
	三重大学	1		フジテック(株)	1		京都工芸繊維大学	1
	九州工業大学	1		ムラテックCCS(株)	1		徳島大学	1
	立命館大学	1		舞鶴工業高等専門学校専攻科	2		宮崎大学	1
	小計	30		近畿大学工業高等専門学校専攻科	1		立命館大学	1
電気情報工学科	アイテック阪急阪神(株)	1	電子制御工学科	首都大学東京	1		小計	37
	医療システムズ(株)	1		長岡技術科学大学	5	合計	130	
	サンエー電機(株)	1		金沢大学	1			
	CTCテクノロジー(株)	1		豊橋技術科学大学	2			
	日新電機(株)	1		岡山大学	1			
	日鉄住金テックスエンジ(株)	1		九州工業大学	1			
	三菱電機(株)電力システム製作所	1		宮崎大学	1			
	(株)ミライト	1		小計	33			
	矢崎総業(株)	1	建設システム工学科	(株)アサヒファシリティズ	1			
	レンゴー(株)	1		(株)ウィズダムデザイン	1			
	(株)ロジックデザイン	1		(株)NTTファシリティーズ 関西	1			

進路先一覧(専攻科)

平成29年3月31日現在

専攻・コース	進路先	人数	専攻	進路先	人数
電気電子システム工学専攻 システム工学コース／電気・制御シ	アイテック阪急阪神(株)	1	機械制御システム工学コース	パナソニック(株)アプライアンス社	1
	(株)インダ	1		(株)GSユアサ	1
	池上通信機(株)	1		(株)小松製作所	1
	オムロン(株)	1		北陸先端科学技術大学院大学	1
	関西電力(株)	1		奈良先端科学技術大学院大学	1
	日新電機(株)	1		兵庫県立大学大学院	1
	(株)堀場エステック	1		小計	6
	三菱電機(株)通信機製作所	1	建設工学コース	兵庫県庁	1
	(株)アルファシステムズ	1		京都府立大学大学院	1
	北陸先端科学技術大学院大学	1		小計	2
	大阪大学大学院	1	合計		19
	小計	11			

卒業研究題目

学科	題 目	指導教員
機 械 工 学 科	Ni+Zn めっきを施したステンレス鋼 SUS403 の回転曲げ疲労強度に関する研究	生水 雅之
	金属ガラスの熱的組織変化に関する研究	
	生物の形態を模擬した全方位低風速対応型風車の開発	西山 等
	らせんバッフル板を用いたエアリフトポンプの揚固特性	
	竹チップと有機物の混合比が発酵の発熱特性に及ぼす影響	篠原 正浩
	自己融着による熱可塑性コンポジットの修復について	
	局所加熱を利用した熱可塑性樹脂複合材料の曲げ加工	谷川 博哉
	オートバイ風シニアカーの設計・製作	
	抗力揚力複合型風車の製作	豊田 香
	逆円錐台まわりの膜沸騰熱伝達の実験（底面直径 12mm, 上面直径 48mm および長さ 48mm の場合）	
	高回転型発電機の試作	山田浩一郎
	高周波焼入れ有無を想定したねじの引張りシミュレーション	
	SWCH ねじの疲労限度に高周波焼入れの有無が及ぼす影響	小林 洋平
	ホーニング砥石への負荷が研削状態におよぼす影響	
	メタルジグが海流から受ける抗力と周辺流れの数値シミュレーション	野毛 宏文
	学校設置を目的とした垂直軸揚力型風車の製作	
	廃炉作業用ロボットの製作	村上信太郎
	パーム酸油混合燃料の低温流動性改善と燃焼特性	
	パーム酸油混合燃料による NOx 低減メカニズムの解明	室巻 孝郎
	テーパ管内流の管摩擦係数に関する研究	
	DSMC 法による衝突噴流の冷却性能検討	須田 敦
	マイクロ流路を流れる気体の局所管摩擦係数に関する研究	
	キャスター用主軸部品加工の自動化に関する研究	平地 克也
	サフランの自動つぼみ回収装置の製作	
	車いすの最適な減速比の検討 -新型減速機の設計開発を通じて-	金山 光一
	車いすの操作と乗車が人体に与える影響の実験的評価 -乗車の場合-	
	能動制振キャスターの性能検証 -検証環境の改善-	中川 重康
電 気 情 報 工 学 科	新型半導体素子の昇圧チョッパ回路における特性検討	
	双方向チョッパ回路のソフトスイッチング制御	金山 光一
	ホール素子を用いた非破壊検査装置の開発	
	自動織機の緯糸切れセンサシステムの研究	中川 重康
	冷却ファン用圧電バイモルフモータの開発	
	圧電素子を用いた LED シューズの開発	片山 英昭
	日射量・外気温データに基づく太陽電池の発電量推定と蓄電池容量決定方法の提案	
	身体活動データ収集・解析システムの構築	竹澤 智樹
	センサネットワークによる異常検知システム	
	太陽の見かけ上の大きさに着目した日射量推定手法の提案	船木 英岳
	消失線に基づく視覚障がい者のための障害物検出	
	抵抗器のカラーコード認識アプリケーションの開発	船木 英岳
	視覚障がい者歩行支援のための機械学習を用いた障害物認識	
	水素化アルミニウムの酸化膜の第一原理計算	船木 英岳
	NIRS 脳機能計測信号のウェーブレット解析	
	非接触充電の FDTD 法による電磁界解析	船木 英岳
	視線入力練習用ソフトウェアの改良	
	Kinect を用いた体操練習支援ツールの改良	船木 英岳
	ARtoolkit を用いた漢字学習ソフトの改良	

学科	題 目	指導教員
電気情報工学科	金微粒子光学フィルタの透過特性の評価	内海 淳志
	チタン-アルミニウム電極を使用したショットキーバリアダイオードの作製	
	シリコン太陽電池教材の開発	
	携帯端末群を用いたリアルタイム領域分割画像表示システムの提案	芦澤 恵太
	フラクタル画像圧縮における縮小写像の検討	
	深層学習を用いたエッジを含む画像ブロック検出アルゴリズムの開発	
	マルチディスプレイコミュニケーションシステムの提案	
	簡易型 NIRS の製作と外側広筋における酸素濃度の変化の測定	丹下 裕
	局所癌の治療を実現する温熱治療用空洞共振器の検討	
	ソーシャルネットワークワーキングサービスを活用した観光客の可視化	井上 泰仁
電子制御工学科	観光地に関連したマイクロブログの解析と可視化	
	観光地に関連したマイクロブログ内の特徴語検出	
	制御入力のリミットを考慮した最適アンチワインドアップ制御	金森 満
	双腕ロボットアームの協調制御	
	水素気泡法を用いた移動物体まわりの流れの可視化と制御	野間 正泰
	身近な物体まわりの流れの可視化と COC 出前授業への適用～簡易風洞装置の設計・製作～	
	身近な物体まわりの流れの可視化と COC 出前授業への適用～舞鶴市立三笠小学校での実践～	
	レーザ変位計を用いたはりのたわみ計測実験装置の改良に関する研究	
	低温迅速ガス化技術の構築 ―ガス化剤の影響とガス化機構―	奥村 幸彦
	バイオマスのガス化速度に及ぼす触媒の影響	
	水素保安を利用した次世代型アンモニアバーナーの開発	
	飛行船の製作と実験	仲川 力
	プリント基板加工用レーザー加工機の製作と実験	
	MinSegMega による制御工学コンテンツの開発	
	2 輪モータ駆動スケートボードの製作とその姿勢制御	川田 昌克
	LEGO MINDSTORMS EV3 による台車型/車輪型倒立振子の開発に関する研究	
	非線形フィードバックを利用した 2 軸ヘリコプタの目標値追従制御	
	FPGA によるデジタル F/V コンバータ実現に関する研究	町田 秀和
	多重 PLL による加減速モータ制御に関する研究	
	巻物コントローラの FPGA 実現に関する研究	
	液滴室温リバーサルマイクロコンタクトインプリントによる DLC エミッタの作製	清原 修二
	紫外線硬化型 PDMS を転写材料とした室温インプリントによる DLC ピットパターン形	
	ポータブル室温ナノインプリントシステムを用いたナノテクノロジー教育	
	Firefly Algorithm の性能評価と性能改善に関する研究	伊藤 稔
	Twitter を用いた災害情報の検出に関する研究	
	Differential Evolution の性能改善に関する研究	
	Mario AI における強化学習を用いたエージェントの動作獲得に関する研究	
	エッチング時間の短縮を目指した放射線計測プラスチックの開発	石川 一平
	無機 EL デバイスの作製における基礎的検討	
	酸化物透明電極と超薄膜金属電極を用いた透明有機 EL デバイスの開発	
	ナノインプリント法を用いた微細発光パターンを有する有機 EL の作製	
	差分進化による単純適応制御のパラメータ決定	
	二つのジンバルをもつジャイロカーの製作	高木 太郎
	運搬ロボットの自動化システムの改良	
	パラレルリンク実験装置の製作と実験	
	昇圧チョップの電圧共振電流共振動作の研究	
	フルブリッジ型双方向 DC/DC コンバータの特性改善の研究	平地 克也
	室温硬化ナノインプリントリソグラフィによるナノテクノロジー教育	

学科	題 目	指導教員
建設システム工学学科	3D ソフトウェアによる浸水予測地域の可視化に関する研究ー福知山市を対象としてー	高谷 富也
	2000 年の建築基準法の改正に伴う木造 2 階建て住宅の耐震性に関する研究	
	伝統的木造建築物の観光資源としての活用に関する研究 ー宮津市旧三上家住宅を対象としてー	
	微動 H/V と微動アレイ観測による S 波速度構造の推定に関する研究	
	温泉観光地における道路と街並み景観に関するー考察 ーイメージスケールを用いた城崎温泉地区の景観評価についてー	
	木造住宅群の火災延焼シミュレーションに関する研究 ー与謝野町ちりめん街道周辺地区を対象としてー	
	由良川河口砂州の変動特性とその制御	三輪 浩
	置き土の侵食・流送特性とその解析	
	混合砂礫床における細砂の移動限界と土砂流出に及ぼす細砂供給の効果	
	海峡横断プロジェクトへのフローティングブリッジの適用に関する研究	玉田 和也
	鋼構造学及び構造力学のための教材開発	
	吊床版橋の振動特性と維持管理に関する基礎的研究	
	はす川橋の振動特性に関する構造同定	
	小規模吊橋の振動特性と維持管理に関する基礎的研究	尾上 亮介
	東舞鶴商店街の空き店舗を活用したゲストハウスの提案	
	西舞鶴における UIJ ターン者のための町屋活用提案	
	舞鶴市丸山小学校における地域景観の保全活用	四蔵 茂雄
	阿蘇海 D0 の空間分布とクロロフィル分析	
	阿蘇海の一次生産量とプランクトン調査	
	海水試料を対象とした全窒素分析法の検討	
	光合成有効放射量の計測と評価	
	阿蘇海の水質特性 ー公共用水域水質測定結果の解析ー	加登 文学
	三軸試験による締固めた土の動的変形特性	
	三峠断層を想定断層とした強震動予測 ー予測手法の違いによる考察ー	
	脈動に着目した常時微動観測	
	防災分野におけるドローンの活用について	
	平成 28 年熊本地震における地震動の距離減衰特性	徳永 泰伸
	フローリング材の表面温度が床衝撃音の大きさに与える影響	
	道路交通騒音に対する主観評価に視覚情報が与える影響	
	等価な明るさ感に対する色温度と照度の影響	
	アンサンブル演奏を想定した舞台上の音環境評価に関する研究	
	音・映像の視聴環境が音に対する主観評価に与える影響	渡部 昌弘
	舞鶴市内の歴史的遺構の構法に関する調査研究 ー旧海軍第三火薬廠朝来工場砲煩谷 22 工場の歴史と現況 ー	
	赤れんが倉庫旧需品庫 2 棟の内部木製フレームの構法に関する調査研究	
	左官モルタルの接着一体性評価試験法の開発	毛利 聡
	あと施工アンカーの施工部が鉄筋コンクリート部材の中性化に及ぼす影響の評価	

専攻科特別研究題目(第2学年)

専攻	コース	題 目	指導教員
電気・制御システム工学専攻		超解像によるナンバープレートの欠損文字認識	片山 英昭・舩木 英岳
		昇圧チョッパ回路の小型化に関する研究	平地 克也・中川 重康 竹澤 智樹
総合システム工学専攻	電気電子システム工学コース	Gタンパク質共役型受容体に対するGタンパク質の結合選択性予測法の開発	井上 泰仁・伊藤 稔
		太陽電池の等価回路とチョッパ制御を用いたMPPT	平地 克也・中川 重康 内海 淳志
		UV硬化型PDMSを転写材料とした室温ナノインプリントによるDLC膜の超微細パターン形成	清原 修二・石川 一平
		局所特徴量を用いた点字ブロックの検出	片山 英昭・芦澤 恵太 舩木 英岳
		ブロック選択型直交変換の提案とその画像圧縮への応用	芦澤 恵太・片山 英昭 舩木 英岳
		各種双方向チョッパ回路の比較検討	平地 克也
		適応的残差周波数変換の提案と画像圧縮への応用	芦澤 恵太・片山 英昭 舩木 英岳
		PDMSモールドを用いた液滴室温ナノインプリントによるDLCエミッタの作製	清原 修二・石川 一平
		日射量予測を導入した鉛蓄電池の放電制御方法の検討	平地 克也・中川 重康 内海 淳志
	機械制御システム工学コース	進化型計算に基づく劣駆動ロボットの振り上げ安定化制御	川田 昌克・室巻 孝郎
		バイオマスの低温迅速ガス化ーガス化剤の影響とガス化機構ー	奥村 幸彦・豊田 香
		2リンク車輪型倒立振子のモデリングと可変姿勢制御	川田 昌克・高木 太郎
		UAV(無人航空機)の最適なフレーム構造に関する研究	伊藤 稔・室巻 孝郎
		逆円錐台まわりの膜沸騰熱伝達の研究	谷川 博哉・豊田 香
		ツインロータヘリコプタに対する単純適応制御系構成	川田 昌克・高木 太郎
	建設工学コース	展示空間としての赤れんが倉庫の転用可能性に関する研究 -照度分布を用いた照明計画-	徳永 泰伸・渡部 昌弘
		多様な用途の変遷を経た京町家の耐震性能に関する調査研究 -豊国神社周辺の町屋を対象として-	尾上 亮介・渡部 昌弘

インターンシップ受入先(本科)

学科	受入先	人数	学科	受入先	人数
機械工学科	(株) イシダ	1	電気情報工学科	オムロンフィールドエンジニアリング(株)	1
	ANAラインメンテナンステクニクス(株)	1		加美電機(株)	1
	(株) エクセディ	2		関西電力(株) 原子力事業本部	1
	オムロン(株) 草津事業所	2		(株) かねでんエンジニアリング	2
	オムロン(株) 綾部工場	1		キヤノンマーケティングジャパン(株)	1
	花王(株)	1		京セラコミュニケーションシステム(株)	2
	カシフジ(株)	1		熊本高専主催英語キャンプ	1
	関西電力(株) 原子力事業本部	1		サイボウズ(株)	1
	京都機械工具(株)	2		サントリーホールディングス(株)	1
	キヤノン(株)	1		CTC・テクノロジー(株)	1
	共栄樹脂(株)	1		島津プレシジョンテクノロジー(株)	1
	極東開発工業(株)	1		島津メディカルシステムズ(株)	1
	(株) クボタ	1		(株) 駿河生産プラットフォーム	1
	KYB(株)	1		中部電力(株)	1
	五洋建設(株)	1		豊橋技術科学大学	2
	サントリーホールディングス(株)	1		(株) 日進製作所	1
	(株) シーアールイー	1		日本電気硝子(株)	1
	ジャパンマリンユナイテッド(株) 舞鶴事業所	1		パナソニック(株) アプライアンス社	2
	ダイキン工業(株)	1		パナソニック(株) AVCネットワークス社	1
	武田薬品工業(株)	1		富士アイティ(株)	1
	(株) タダノ 関西支社	1		(株) ブロードリーフ	1
	(株) 鶴見製作所	1		(株) 堀場エステック	2
	豊橋技術科学大学	1		丸玉産業(株) 舞鶴工場	1
	長岡技術科学大学	1		三菱電機ビルテクノサービス(株)	1
	日東精工(株)	1		(株) ミライト	1
	日本電産テクノモータ(株)	2		理化学研究所 計算科学研究機構	1
	パナソニック(株) AIS 社	1		(株) ロジックデザイン	2
	阪神動力機械(株)	1		小 計	37
	二九精密機械工業(株)	1	電子制御工学科	(株) エヌ・ティ・ティ エムイー	1
	(株) 堀場製作所	1		(株) エム・システム技研	1
	(株) 前川製作所	1		大阪大学	1
	(株) 松浦機械製作所	2		オリックス・ファシリティーズ(株)	1
	三菱重工業(株) 高砂製作所	1		島津メディカルシステムズ(株)	1
	三菱重工業(株) 工作機械事業部	1		神鋼テクノ(株)	1
	三菱電機(株) 通信機製作所	1		鈴鹿高専	2
	村田機械(株)	1		東芝メディカルシステムズ(株)	1
	(株) 村田製作所 八日市事業所	1		長岡技術科学大学	1
	ムラテック CCS(株)	1		ニチコン亀岡(株)	1
	小 計	43		日本オーチスエレベータ(株)	1
	池上通信機(株)	1		日本電産テクノモータ(株)	2
	(株) NTT フィールドテクノ関西支店	1		(株) 富士通エフサス	1
	(株) オプティム	1		二九精密機械工業(株)	1
	オムロン(株) 綾部工場	1		(株) マンダム	1

学科	受 入 先	人 数	学科	受 入 先	人 数
	三菱電機ビルテクノサービス (株)	1		オリックス・ファシリティーズ (株)	1
	(株) 村田製作所 八日市事業所	1		金下建設 (株)	1
	(株) モリタ製作所	1		亀岡市役所	1
	小 計	20		京都府建設交通部都市計画課	1
建設システム工学科	芦田成人建築設計事務所	1		近畿地方整備局	1
	(株) アズクリエイト	1		(株) スペースクリエーション	1
	乾久美子建築設計事務所	1		大東建託 (株)	1
	ウイズダムデザイン	1		大日コンサルタント (株)	1
	エアポートメンテナンスサービス (株)	1		長岡技術科学大学	1
	エイチ・アンドー級建築士事務所	1		ニュージェック	1
	NTT インフラネット (株)	1		姫路市役所	1
	大阪ガス (株)	1		福知山市役所	1
	大津市役所	1		(有) 横内敏人建築設計事務所	2
	鳳工業 (株)	1		吉村建設工業 (株)	1
	奥和田健建築設計事務所	1		小 計	28
	オリエンタル白石 (株)	2		合 計	128

インターンシップ受入先(専攻科)

コース	受 入 先	人 数
CA	近畿地方整備局	1
	小 計	1
ES	知能技術(株)	1
	ニチコン亀岡 (株)	1
	日新電機 (株)	1
	小 計	3
	合 計	4

課外活動成績

《体育系》

第 53 回近畿地区高等専門学校体育大会

【団体戦】

男子バスケットボール	3 位
女子バレーボール	3 位
男子バドミントン	3 位
男子テニス	3 位

【個人戦】

[陸上競技]

男子 1 5 0 0 m	岡 高志	3 位
男子 5 0 0 0 m	岡 健太郎	1 位
	前川 寛太	2 位

[卓球]

女子ダブルス	森田 結衣・川上 春菜	3 位
--------	-------------	-----

[バドミントン]

女子個人単戦	堀尾香那子	3 位
--------	-------	-----

[水泳]

2 0 0 m バタフライ	廣瀬 仁一	2 位
8 0 0 m リレー	黒田美智子・黒田健太郎 ・坪井一将・廣瀬仁一	3 位

第 17 回若狭陸上記録会

男子 1 5 0 0 m	岡 高志	1 位
男子 5 0 0 0 m	岡 健太郎	2 位
女子 1 0 0 m	松田 早也香	3 位

第 70 回舞鶴市駅伝競争大会

ショートコース一般男子の部	舞鶴高専 D	2 位
(中江、熊谷、佛生、近藤)		
女子一般の部	舞鶴走ろう会	3 位
(木本、松田)		

第 39 回 近畿地区高等専門学校駅伝競走大会

男子の部	舞鶴 A	1 位
田中、岡(高)(区間 2 位)、谷口(区間 1 位)、小松、川本、前川、岡(健)(区間 3 位)		

第 54 回舞鶴バレーボール 6 人制男女選手権大会

団体戦	男子	3 位
-----	----	-----

平成 28 年度全日本高等学校バレーボール選手権大会
両丹予選会

団体戦	男子	勝 万葉 ベスト 6 位 早藤 司 ベスト 6 位
-----	----	------------------------------

平成 28 年度 両丹高等学校柔道個人選手権

男子個人 66kg 以下級	松尾 英治	3 位
---------------	-------	-----

第 63 回青少年柔道大会

女子個人 55kg 超級	河原 未侑	3 位
--------------	-------	-----

第 49 回松谷杯柔道大会

女子個人 57kg 超級	河原 未侑	3 位
--------------	-------	-----

第 61 回舞鶴市民剣道大会

男子個人	松本 岳大	4 位
	小西 健登	8 位

第 20 回記念北近畿少年剣道大会

個人戦	男子	小西 健登	8 位
-----	----	-------	-----

第 9 回近郊地区高等専門学校剣道親善大会

団体個人戦	男子	松本 岳大	最優秀選手
	女子	佐々木小鈴	2 位

第 5 回舞 My チャレンジオープン大会(バドミントン)

男子個人単戦	浦川周馬	優勝
男子個人単戦	藤川祐一郎	2 位

第 49 回近畿地区高等専門学校弓道大会

男子団体			優勝
個人の部	男子	尾松来基	2位
		森 涼太	3位

第 37 回近畿地区高等専門学校空手道親善試合

団体組手				優勝
個人組手	男子	小山	拓人	優勝

第 26 回舞鶴市空手道選手権大会

個人の部	男子	小山 拓人	優勝
個人の部	男子	藤本 到馬	3 位

第 21 回近畿高等学校スポーツクライミング大会京都府予選

男子個人戦	吉岡祐明	1 位
-------	------	-----

第 21 回近畿高等学校スポーツクライミング大会

男子個人戦	吉岡祐明	3 位
-------	------	-----

《文化系》

Honda エコマイレッジチャレンジ 2016

第 8 回もてぎ大会

ニューチャレンジクラス 1 位

第 3 級アマチュア無線技士国家試験合格

穂本創一 高原岳歩

第 60 回日本アマチュア無線連盟 (JARL)

京都コンテスト

マルチオペマルチバンド部門 優勝

第 14 回高等学校パソコンコンクール

プログラミング部門 団体京都府下 1 位

第 29 回アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2016 近畿地区大会

A チーム 準優勝

B チーム 特別賞 (田中貴金属グループ)

華道 嵯峨御流 免状

「初伝」取得 1 名

「中伝」取得 2 名

「奥伝」取得 3 名

課外活動に対する教員の活動状況

齋藤 福栄

近畿地区高等専門学校体育連盟, 理事, (2016. 4～2017. 3)

全国高等専門学校連合会, 理事, (2016. 4～2018. 6)

荒川 吉孝

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会, 理事, (2016. 4～2017. 3)

畑 恵里子

特定非営利活動法人「日本語検定」委員会, 作問委員, (2007. 12～2017. 3)

藤田 憲司

近畿地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト実行委員, (2016. 4～2017. 3)

小野 伸一郎

近畿地区高等専門学校体育連盟, 競技種目（陸上競技）専門委員, (2016. 4～2017. 3)

上杉 智子

舞鶴市吹奏楽連盟, 理事, (2016. 4～2017. 3)

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会, 理事, (2016. 4～2017. 3)

奥村 昌司

舞鶴市吹奏楽連盟, 理事, (2016. 4～2017. 3)

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会, 理事, (2016. 4～2017. 3)

西山 等

舞鶴市吹奏楽連盟, 理事, (2016. 4～2017. 3)

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会, 理事, (2016. 4～2017. 3)

山田耕一郎

平成 28 年度京都府高等学校体育連盟両丹支部バスケットボール部, 役員, (2016. 4～2017. 3)

片山 英昭

全国高等専門学校プログラミングコンテスト委員会, ブロック委員, (2016. 4～2017. 3)

船木 英岳

舞鶴市テニス協会, 理事, (2016. 4～2017. 3)

芦澤 恵太

京都府高等学校野球連盟, 理事, (2016. 4～2017. 3)

井上 泰仁

高専プログラミングコンテスト委員会, 専門委員, (2015. 4～2016. 3)

玉田 和也

全国高等専門学校デザインコンペティション実行委員会, 専門部会専門委員, (2016. 4～2017. 3)

徳永 泰伸

舞鶴市吹奏楽連盟, 理事, (2016. 4～2017. 3)

近畿地区高専吹奏楽部合同演奏会理事会, 理事, (2016. 4～2017. 3)

研 究 活 動

研究業績	1 0 6
校長	1 0 6
人文科学部門	1 0 7
自然科学部門	1 1 0
機械工学科	1 1 1
電気情報工学科	1 1 6
電子制御工学科	1 2 0
建設システム工学科	1 2 5
教育研究支援センター	1 3 0
学位取得状況	1 3 1
研究成果発表状況	1 3 1
外部研究費受入	1 3 2
科学研究費補助金	1 3 2
受託研究，共同研究	1 3 3
寄附金	1 3 4
学協会委員及び学会・研究会等の開催協力	1 3 5
教職員の活動状況	1 3 7

(注) 研究成果発表の分類については，以下のとおりとする。

1. 著書
2. 解説
3. 査読付論文
4. 国際会議
5. 学会発表
6. 特許
7. その他

校 長

齋藤 福栄

その他

インクルーシブ教育システムの構築と効果的な学習環境，近代建築，第 70 巻 8 号，P58-59 ， 齋藤福栄

人文科学部門

荒川 吉孝

その他

『スコットランド便り』（1591年）訳註，舞鶴工業高等専門学校紀要，No. 52，pp. 45-53，（2017. 3），
荒川吉孝

舞鶴市糸井文庫蔵『水江浦島 対紫雲篋』翻刻・語釈・抄訳および英訳，舞鶴工業高等専門学校紀要，
No. 52，pp. 72-84，（2017. 3）， 畑恵里子・荒川吉孝・西野由紀・小室智子・吉野健一

田村 修一

その他

書評『昭和作家の〈南洋行〉』，木村一信先生追悼 論考と回想，pp. 35-40，（2016. 9. 26），田村修一

龍之介の弁証法的性格，木村一信先生追悼 論考と回想，pp. 45-55，（2016. 9. 26），田村修一

畑 恵里子

学会発表

『丹後国風土記逸文』の天女と乙姫－巫女的存在としての可能性－，日本文芸学会研究集会，（2016. 9），
畑恵里子

その他

舞鶴市糸井文庫蔵『水江浦島 対紫雲篋』翻刻・語釈・抄訳および英訳，舞鶴工業高等専門学校紀要，
No. 52，（2017. 3 予定），畑恵里子，荒川吉孝，西野由紀，小室智子，吉野健一

藤田 憲司

その他

「生」のアクチュアリティー — プリモ・レーヴィの証言を読み解く，舞鶴工業高等専門学校 第41回情
報科学センター講演会，講師，（2016. 12. 1）

児玉 圭司

解説

奈良監獄の建設とその背景，刑政，Vol. 128，No. 2，pp. 58-65，（2017. 2），児玉圭司

査読付論文

1940年代後半における監獄法改正作業の解明に向けて－矯正図書館所蔵資料および團藤文庫を用いて，
龍谷大学矯正・保護総合センター研究年報 No. 6，pp. 30-41，（2017. 1），児玉圭司

その他

出獄人保護事業に生涯を捧げた原胤昭，人権のひろば，No. 111，pp. 16-19，(2016. 9)，児玉圭司

西洋法継受の一断面—「明治十四年監獄則」の編纂関係者を素材として，三色旗，No. 809，pp. 12-20，(2016. 12)，児玉圭司

人足寄場をめぐる言説空間，『再帰する法文化』（国際書院），pp. 93-121，(2016. 12)，児玉圭司

奈良監獄 刑罰近代化の象徴，京都新聞，p. 7，(2017. 3. 31)，児玉圭司

牧野 雅司

査読付論文

「牧野信成と朝鮮通信使」（『舞鶴地方史研究』47号、p. p. 1～6、2016年4月）

山根 秀介

査読付論文

ウィリアム・ジェイムズの多元的存在論とベルクソンの持続的存在論，宗教哲学研究，33号，69-81 (2016. 4)，山根秀介

学会発表

ウィリアム・ジェイムズの存在論的多元論—「関係」概念をめぐって—，アメリカ哲学フォーラム第三回年次大会，(2016. 6. 11)，山根秀介

ワークショップ「ベルクソンという曲がり角」 観念と物質—バークリとベルクソンをめぐって，2016年度哲学若手研究者フォーラム，(2016. 7. 16)，山根秀介

ウィリアム・ジェイムズにおける物心二元論の打破及び純粹経験の分化，中部哲学会 2016 年度大会，(2016. 9. 17)，山根秀介

ベルクソンのバークリ理解について，第 40 回ベルクソン哲学研究会，(2017. 3. 19)，山根秀介

その他

訳：セバスチャン・ミラヴェット「哲学と認知心理学を定義する——ベルクソン哲学の知覚理論とブルーナーの認知心理学の分析を通して」，ベルクソン『物質と記憶』を解剖する——現代知覚理論・時間論・心の哲学との接続，書肆心水，(2016. 11. 7)，pp. 159-174，平井靖史，藤田尚志，安孫子信他

ウィリアム・ジェイムズの多元的存在論—「関係」概念をめぐって—，舞鶴工業高等専門学校紀要，No. 52，(2017. 3 予定)，山根秀介

松井 信義

査読付論文

関係詞いろいろ — *The Catcher in the Rye* から, 現代英語談話会論集, 第 11 号, pp. 51-68, (2016. 3), 松井信義

学会発表

There 構文について — 「照応」と「情報」の観点から, 第 81 回現代英語談話会, 中京大学, (2016. 3), 松井信義

There 構文について(その 2) — 「新情報」の観点から, 第 84 回現代英語談話会, 芝蘭会館, (2016. 12), 松井信義

自然科学部門

亀谷 睦

その他

ユニタリ群上で定義されたある差分方程式の解の評価，研究集会「偏微分方程式および関連する諸問題」（茨城大学理学部，2016.9.10），亀谷 睦

連鎖律の仮定を弱めることができないことを示す1つの反例，舞鶴工業高等専門学校紀要，第52号，pp. 65-70（2017.3.31），亀谷 睦

上杉 智子

学会発表

物理チャレンジ2016 報告：Ⅲ. 第2 チャレンジ理論問題，日本物理学会 2016 年秋季大会，（2016.9.13），東辻浩夫，荒船次郎，伊東敏雄，上杉智子，植田毅，桂井誠，川村清，佐貫平二，杉山忠男，鈴木亨，鈴木直，竹中達二，波田野彰，福田恵美子，松澤通生，三間園興

木村 健二

学会発表

方向転換するための動作準備時間がサイドステップカッティングのパフォーマンスに与える影響，第29回日本トレーニング科学会大会，（2016.10.30），木村健二，桜井伸二

喜友名 朝也

学会発表

Jacobi 形式と金子・Zagier 型微分方程式，金沢数論ミニ集会 2016，（2016.12.8），喜友名朝也

その他

Bernoulli 数とゼータ関数，第41回情報科学センター講演会，（2016.12.1），喜友名朝也

機械工学科

生水 雅之

学会発表

Ni+Zn めっきを施したステンレス鋼 SUS403 の回転曲げ疲労強度に関する研究, 日本機械学会関西学生会
平成 28 年度学生員卒業研究発表講演会論文集, p. 1_13, 藤本到真, 上野美光, 生水雅之

その他

Ni+Zn めっき処理を施した SUS403 の疲労強度に関する研究, 日東精工株式会社/舞鶴高専共同研究成果
発表会, (2017. 2. 27) 藤本到真, 生水雅之

西山 等

その他

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2016 報告, 舞鶴高専情報科学センター年報, No. 45,
pp. 46-51, (2017. 3), 岡那哉, 森田健太, 井上雄斗, 小谷文乃, 坂本康士朗, 山岡立樹, 西山等, 町田
秀和

篠原 正浩

学会発表

ブランク面内引張力を用いた CFRTP のダイヤフラム成形におけるせん断角度評価, 第 8 回自動車用途コ
ンポジットシンポジウム講演論文集, pp. 113-114 (2016. 11. 11), 釘屋裕基, 牛山廉, 片山傳生, 田中和
人, 篠原正浩

谷川 博哉

査読付論文

On High-Performance Airfoil at Very Low Reynolds Number, Journal of Robotics and Mechatronics,
Vol. 28, No. 3, pp. 273-285, (2016. 6), Katsuya Hirata, Ryo Nozawa, Shogo Kondo, Kazuki Onishi,
and Hirochika Tanigawa

ケーシング内の共回転二円板間の多様な流れの PIV 計測と数値解析, ターボ機械 2017 年 2 月号, pp. 27-35,
(2017. 2), 平田勝哉, 千葉哲郎, 有光政人, 津川昇平, 前田毅, 渡辺崇, 谷川博哉

国際会議

Experimental and Numerical Study on a Flying Pipe, 13th International Conference on Flow Dynamics,
Paper No. CRF-73, (2016. 10), Kouhei Miyahara, Toshihiro Nakai, Tatsuya Inoue, Hirochika Tanigawa,
Katsuya Hirata, Masami Nakano

A NUMERICAL ANALYSIS ON THE INFLUENCE OF FORCED OSCILLATION UPON 3D THERMAL CONVECTION IN ZERO
GRAVITY, The 4th International Forum on Heat Transfer, Paper No. IFHT2016-1857, (2016. 11), Masaki
NOBUHARA, Masato KODAMA, Keisuke TATSUMOTO, Hirochika TANIGAWA, Katsuya HIRATA

学会発表

低重力場三次元層流熱対流に及ぼす g-jitter の影響について, 日本機械学会 2016 年度年次大会, 講演番号 G0600603, (2016. 9), 延原正起, 立元恵佑, 谷川博哉, 平田勝哉

回転しながら飛行するパイプ周りの流れ, 日本機械学会 2016 年度年次大会, 講演番号 J1030105, (2016. 9), 宮原晃平, 中井俊宏, 谷川博哉, 井上達哉, 平田勝哉

ケーシング内の二円板間の複雑流れの数値解析と実験による可視化, 日本機械学会第 29 回計算力学講演会 (CMD2016), 講演番号 222, (2016. 9), 上西亮輔, 津川昇平, 渡辺崇, 上坂守彦, 谷川博哉, 平田勝哉

回転二円板間の PIV 計測と数値解析による多様な流れの可視化, 日本機械学会関西支部第 92 期定時総会講演会, 講演番号 M703, (2017. 3), 津川昇平, 上西良亮, 上坂守彦, 渡辺崇, 谷川博哉, 平田勝哉

回転飛行パイプの屋外観測と流れ解析, 日本機械学会関西支部第 92 期定時総会講演会, 講演番号 M719, (2017. 3), 中井俊宏, 宮原晃平, 中野政身, 谷川博哉, 井上達哉, 平田勝哉

その他

無重力場における立方体内の振動対流, 同志社大学ハリス理化学研究報告, 第 57 巻, 第 3 号, p. 159-172, (2016. 10), 平田勝哉, 立元恵祐, 延原正起, 谷川博哉

山田 耕一郎

その他

ねじの疲労試験, 日東精工株式会社研究開発課研究報告会, (2016. 2. 27) 坂本輝矢, 山田耕一郎

小林 洋平

学会発表

波を受ける円筒が強い力を受ける条件, 日本機械学会 第 21 回動力・エネルギー技術シンポジウム講演論文集, 小林洋平

野毛 宏文

査読付論文

Performance, emissions and lubricant oil analysis of diesel engine running on emulsion fuel
A. K. Hasannuddin, J. Y. Wira, S. Sarah, W. M. N. Wan Syaidatul Aqma, A. R. Abdul Hadi, H. Noge, S. A. Aizam, M. A. B. Aiman, S. Watanabe, M. I. Ahmad, M. A. Azrin, Energy Conversion and Management 117 (2016) pp. 548-557

国際会議

パーム酸油の混合燃料化と拡散バーナ燃焼による排出ガス特性, 野毛宏文, 善積亮太, 近藤圭浩, 第 54 回燃焼シンポジウム講演 USB 論文集 C343, pp. 1-2 (2016)

パーム酸油を燃焼用燃料として有効利用するための研究, 野毛宏文, 善積亮太, 近藤圭浩, 日本機械学会: 2016 年度年次大会 DVD 論文集 G0600203, pp. 1-5 (2016)

その他

化学的要素を取り入れた機械系のものづくり in 出前授業，第22回高専シンポジウム in Mie, 西山佑樹，グエン，三宅治輝，野毛宏文，（2017.1.28）

村上 信太郎

学会発表

機械工学基礎における能動的学習の活用，関西工学教育協会高専部会・平成28年度秋季研修セミナー 依頼講演，（2016.12），須田敦，村上信太郎

室巻 孝郎

査読付論文

Differential Evolution Based Synthesis of Dynamic Quantizers with Fixed-Structures, International Journal of Computational Intelligence and Applications, Vol.15, Issue 2, 1650008, (2016.6), Yuki Minami and Takao Muromaki

差分進化によるk次遅れ系のITAE最小化，システム制御情報学会論文誌，Vol. 30, No. 1, pp.27-29, (2017.1)，室巻孝郎，川田昌克

ロボティック照明システムの分散型照射角度制御，電気学会論文誌C，Vol. 137, No. 1, pp.120-126, (2017.1)，室巻孝郎，南裕樹，徳永泰伸

国際会議

An Improvement of Stress-Ratio Method by Using Excess and Deficiency Information on the Stress, Asian Congress of Structural and Multidisciplinary Optimization 2016, paper_68, (2016.5), Takao Muromaki, Yuki Minami, Atsushi Suda and Kazuyuki Hanahara.

Development of automatic parcel delivery system using image processing techniques, Proc. of the 2016 International Symposium on Flexible Automation, (2016.8), pp. 292-295, Tomoki Kobata, Yukio Tada and Takao Muromaki.

学会発表

移乗補助機能付きアクティブチェアーの設計開発，日本設計工学会 2016年度春季研究発表講演会，C10，（2016.5），須田敦，室巻孝郎，大西熙，香川有希，鈴木立人

アクティブチェアーの設計開発ー移乗補助機能の向上ー，2016年度ヒューマンサポートサイエンス学会学術研究発表講演会，pp.11-12，（2016.7），須田敦，室巻孝郎，大西熙，香川有希，鈴木立人

起立補助椅子の設計開発，Japan AT フォーラム 2016，PS-16，（2016.9），大西熙，室巻孝郎，須田敦，鈴木立人

ロボティック照明システムの照射角度制御実験，第33回センシングフォーラム，2P1-19（2016.9），辻優希，室巻孝郎，徳永泰伸，南裕樹

2 リンク機構を用いた起立補助椅子の設計，日本設計工学会 2016 年度関西支部研究発表講演会，B4-3，(2016.10)，大西熙，室巻孝郎，須田敦，鈴木立人

その他

運搬ロボットの自動走行システムの改良，舞鶴工業高等専門学校紀要第 52 号，pp. xx-xx，(2017.3 予定)，室巻孝郎，益戸直也，高木太郎

公開講座「3D-CAD を使ってみよう！パソコンで 3D モデル組立」に関する報告，舞鶴高専情報科学センター年報，第 45 号，pp. 70-75，(2017.3)，須田敦，室巻孝郎

平成 28 年度専攻科特別演習レゴマインドストームを用いた体験授業，舞鶴高専情報科学センター年報，第 45 号，pp. 100-103，(2017.3)，青谷拓海，大谷周平，鈴江祥市，高井陸斗，橋本拓，藤田健汰，室巻孝郎，須田敦

タイ王国キングモンクット工科大学学生サマーレーニングインターンシップ，舞鶴高専情報科学センター年報，第 45 号，pp. 76-83，(2017.3)，須田敦，室巻孝郎

須田 敦

査読付論文

Modeling and Simulation of a Simple Cart with Low-Impact Casters, MATEC Web of Conferences, Vol. 42, 04005-p.1-04005-p.5, (2016.02), Masaharu TAGAMI, Kiyoshi IOI, and Atsushi SUDA

国際会議

An Improvement of Stress-Ratio Method by Using Excess and Deficiency Information on the Stress, Asian Congress of Structural and Multidisciplinary Optimization 2016, paper_68, (2016.5), Takao Muromaki, Yuki Minami, Atsushi Suda and Kazuyuki Hanahara.

学会発表

移乗補助機能付きアクティブチェアーの設計開発，日本設計工学会 2016 年度春季研究発表講演会，C10，(2016.05)，須田敦，室巻孝郎，大西熙，香川有希，鈴木立人

車いすへの実用を意識した簡易振動・衝撃低減装置の設計開発，日本設計工学会 2016 年度春季研究発表講演会，C11，(2016.05)，須田敦，宮尾育正，山本昌彦

アクティブチェアーの設計開発ー移乗補助機能の向上ー，2016 年度ヒューマンサポートサイエンス学会学術研究発表講演会，pp. 11-12，(2016.07)，須田敦，室巻孝郎，大西熙，香川有希，鈴木立人

起立補助椅子の設計開発，Japan AT フォーラム 2016，PS-16，(2016.9)，大西熙，室巻孝郎，須田敦，鈴木立人

2 リンク機構を用いた起立補助椅子の設計，日本設計工学会 2016 年度関西支部研究発表講演会，B4-3，(2016.10)，大西熙，室巻孝郎，須田敦，鈴木立人

中学生向け機械工学導入教育教材の開発ー自動車に焦点を置いた機械力学，流体力学，材料力学の一例ー，日本設計工学会 2016 年度関西支部研究発表講演会，A3-1，(2016.10)，須田敦，石津憲人，山田耕一郎，生水雅之

機械工学基礎における能動的学習の活用，関西工学教育協会高専部会・2016 年度秋季研修セミナー依頼講演，(2016.12)，須田敦，村上信太郎

特許

サフランめしめ摘取装置，特願 2017-15827，(2017.01)，大原均，須田敦，瀬戸拓也

サフランめしめ摘取装置，特願 2017-15828，(2017.01)，大原均，須田敦，瀬戸拓也

その他

モノづくり企業との産学連携の実例紹介，京都ビジネス交流フェア 2017，(2017.03)，須田敦

公開講座「3D-CAD を使ってみよう！パソコンで 3D モデル組立」に関する報告，舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報，第 45 号，(2017.03 予定)，須田敦，室巻孝郎

平成 28 年度専攻科特別演習レゴマインドストームを用いた体験授業，舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報，第 45 号，(2017.03 予定)，青谷拓海，大谷周平，鈴江祥市，高井陸斗，橋本拓，藤田健汰，室巻孝郎，須田敦

タイ王国キングモンクット工科大学学生サマートレーニングインターンシップ，舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報，第 45 号，(2017.03 予定)，須田敦，室巻孝郎

災害時に使用可能な加熱器具の試作，舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報，第 45 号，(2017.03 予定)，須田敦

第 8 回全国高等学校情報処理選手権出場報告，舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報，第 45 号，(2017.03 予定)，須田敦

オムロン・高専機構共同教育プロジェクト平成 28 年度制御技術キャンプ，舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報，第 45 号，(2017.03 予定)，松田慎，尾崎元紀，岩吹寛憲，益田智未，大谷朋寛，河崎慈愛，須田敦

オムロン・高専機構共同教育プロジェクト平成 28 年度生産技術コンテスト，舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報，第 45 号，(2017.03 予定)，井口望，宮尾陸甫，遊里道風人，須田敦

車いす指向型簡易振動・衝撃低減装置の設計開発－装置の性能検証－，舞鶴工業高等専門学校紀要，第 52 号，(2017.03 予定)，須田敦，宮尾育正

電気情報工学科

平地 克也

査読付論文

LLC コンバータのソフトスイッチング成立条件について，パワーエレクトロニクス学会誌，Vol. 41，pp. 25-33，（2015. 4） ， 浦山大，平地克也

フルブリッジ型双方向 DC/DC コンバータの 2 次側短絡によるサージ電圧抑制，パワーエレクトロニクス学会誌，Vol. 41，pp. 134-141，（2015. 4） ， 小森耕太，平地克也

学会発表

新しい制御方式を用いた降圧型高力率コンバータ，パワーエレクトロニクス学会第 216 回定例研究会，pp. 1-9，（2016. 10） ， 平地克也，飯田光浩

SEPIC+ZETA 方式双方向チョッパ回路の絶縁方法の研究，パワーエレクトロニクス学会第 216 回定例研究会，若手のための研究発表会講演予稿集，p. 20，（2016. 12） ， 村上達哉，平地克也

DC/DC コンバータのサージ電圧発生メカニズムの研究，パワーエレクトロニクス学会第 216 回定例研究会，若手のための研究発表会講演予稿集，p. 41，（2016. 12） ， 芝本宗一郎，平地克也

フライイングキャパシタ付き双方向チョッパの新しい制御方式の研究，パワーエレクトロニクス学会第 216 回定例研究会，若手のための研究発表会講演予稿集，p. 42，（2016. 12） ， 森脇誠斗，平地克也

金山 光一

査読付論文

Synthesis of n-type semiconducting diamond films in acetylene flame with nitrogen doping, Proceedings of the Combustion Institute (5-Year IF=4.303 Journal), Vol. 36, Issue 3, pp. 4409-4417, (2017.2) , Yukihiro Okumura, Kouichi Kanayama, Hiroaki Nishiguchi

国際会議

“Creation of n-type diamond semiconductor from combustion flame through doping-synthesis concept” , 36th International Symposium on Combustion, Seoul, Korea, Technical Session: Novel Concepts/ Nanostructures, 5F03, pp. 1-64, (2016.8), Yukihiro Okumura, Kouichi Kanayama, Hiroaki Nishiguchi

中川 重康

学会発表

PV モデルを用いた MPPT の高速化の検討，平成 29 年電気学会全国大会講演論文集，E31-A2，（2017. 3） ， 池野孝，中川重康，内海淳志，平地克也

片山 英昭

国際会議

Recognition of Pedestrian Traffic Light Independent of Lights Type and Day or Night Time, Proc. of the 5th IIAE International Conference on Industrial Application Engineering 2017, pp.84-87, (2017.3), Taro NOGUCHI, Kentarou MORI and Hideaki KATAYAMA

竹澤 智樹

国際会議

EDUCATION OF PRACTICAL ENGINEERING SKILLS AIMING FOR SOLVING REAL PROBLEMS RELATED TO LOCAL AREA, Transactions of ISATE 2016 (The 10th International Symposium on Advances in Technology Education), pp. 524-529, (2016.09.13-16), T. Takezawa, Y. Tange, H. Katayama, A. Utsumi and S. Nakagawa

船木 英岳

学会発表

「舞鶴高専と特別支援学校の地域連携による技術教育とその成果」, Assistive Technology & Augmentative Communication Conference 2016 (ATAC2016), (2016.12), 船木英岳, 丹下裕, 木下博美, 福井繁雄, 畑亮次, 金森克浩

その他

高専との地域連携による特別支援学校の技術教育, 舞鶴高専情報科学センター年報, No. 45, (2017.3), 畑亮次, 福井繁雄, 船木英岳, 丹下裕

内海 淳志

国際会議

EDUCATION OF PRACTICAL ENGINEERING SKILLS AIMING FOR SOLVING REAL PROBLEMS RELATED TO LOCAL AREA, Transactions of ISATE 2016 (The 10th International Symposium on Advances in Technology Education), pp.524-529, (2016.09.13-16), T. Takezawa, Y. Tange, H. Katayama, A. Utsumi and S. Nakagawa

学会発表

n型シリコン基板を用いた学生実験用ショットキーバリヤダイオードの検討, 日本高専学会第22回年会講演会講演論文集, pp.155-156, (2016.8), 江湖俊仁, 森 涼太, 内海淳志

チタン-アルミニウム電極を使用したショットキーバリヤダイオードの検討, 第22回高専シンポジウム in 三重 講演要旨集, P-241, (2017.1), 江湖俊仁, 森 涼太, 内海淳志

微粒子光学フィルタの透過特性の評価, 第22回高専シンポジウム in 三重 講演要旨集, P-242, (2017.1), 安藤直也, 池山拓斗, 内海淳志

学生実験のためのショットキー型太陽電池の基礎的検討, 第22回高専シンポジウム in 三重 講演要旨集, P-243, 講演要旨集, (2017.1), 森 涼太, 江湖俊仁, 内海淳志

チタン-アルミニウム電極を使用したショットキーバリアダイオードの作製，平成 28 年度電気学会関西支部高専卒業研究発表会講演論文集，P35，(2017. 3)，江湖俊仁，内海淳志

ショットキーバリアダイオード教材の改良，第 64 回応用物理学会春季学術講演会予稿集，16a-P1-29，(2017. 3)，江湖俊仁，森 涼太，内海淳志

芦澤 恵太

国際会議

Directional Redundant Polyphase Transforms, 13th Int. Conf. on Wavelet Anal. and Patt. Recog. (ICWAPR 2016), pp.258-263, K. Fujinoki, K. Ashizawa

学会発表

半重複双直交ウェーブレット分解による方向性解析，日本応用数理学会年会(特別講演 40 分)，(2016. 9)，藤ノ木健介，芦澤恵太

DCT とウェーブレット変換を縦横に組み合わせた直交変換をブロック毎に用いる適応的画像圧縮法，平成 28 年度数学協働プログラム「ウェーブレット理論と工学への応用」(招待講演 60 分)，(2016. 11)，芦澤恵太，森田雅貴

重複ウェーブレット変換と画像処理への応用，統計数理研究所共同研究集会「複雑系の逆問題とその周辺」，(2016. 12)，藤ノ木健介，芦澤恵太

重複ウェーブレット変換による画像の方向性解析，日本応用数理学会研究部会連合発表会，(2017. 3 予定)，藤ノ木健介，芦澤恵太

その他

ブロック変換に基づく画像非可逆圧縮におけるウェーブレット変換，京大数理解析研究所考究録 2001，pp. 83-94 (2016. 10)，芦澤恵太，原田卓弥，山谷克

丹下 裕

国際会議

EDUCATION OF PRACTICAL ENGINEERING SKILLS AIMING FOR SOLVING REAL PROBLEMS RELATED TO LOCAL AREA, Transactions of ISATE 2016 (The 10th International Symposium on Advances in Technology Education), pp. 524-529, (2016. 09. 13-16), T. Takezawa, Y. Tange, H. Katayama, A. Utsumi and S. Nakagawa

学会発表

「舞鶴高専と特別支援学校の地域連携による技術教育とその成果」，Assistive Technology & Augmentative Communication Conference 2016 (ATAC2016)，(2016. 12)，舩木英岳，丹下裕，木下博美，福井繁雄，畑亮次，金森克浩

その他

平成 28 年度電気情報工学科公開講座フルカラーLED で七色に光るクリスマスツリーを作ろう！！，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 45，(2017. 3)，福井繁雄，丹下裕，片山英昭

高専との地域連携による特別支援学校の技術教育，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 45，（2017.3 予定），畑亮次，福井繁雄，船木英岳，丹下裕

「発達障害者支援のための iOS 端末外付けスイッチデバイスの開発」，茨城大学教育実践研究，Vol. 35，pp. 127-135，（2016.12），平沼清一，櫻井幸子，廣木聡，宮山敬子，丹下裕，中川重康，榊守

井上 泰仁

国際会議

Development of the Programming Contest Competition Section “Reach a Zenith of Stone Paving” in Nagano, Japan, The 12th World Congress on Computational Mechanics and 6th Asia-Pacific Congress on Computational Mechanics, (2016.7), Takayuki Teramoto, Koji Obokata, Yasuhito Inoue and Shigeo Kawata

Classification of the coupling specificity of GPCRs to G-proteins using transmembrane topology, The 15th International Conference on Bioinformatics, (2016.9), Yasuhito Inoue, Riku Ashida

学会発表

高専プロコンの競技部門と OB 戦の試み，夏のプログラミングシンポジウム 2016，大日向大地，井上泰仁

その他

プログラミングコンテスト競技部門「石畳職人 Z」のシステム構築，平成 28 年度高専フォーラム教育研究発表会，井上泰仁，藤田悠，小保方幸次，松野良信，小嶋徹也，寺元貴幸

GitHub Education の紹介と講習会の開催，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 45，pp. XX-XX，（2017.3 予定），井上泰仁

電子制御工学科

野間 正泰

学会発表

レーザ変位計によるはりのたわみ計測実験，日本理科教育学会近畿支部大会（大阪大会）発表論文集，p. 23，（2016. 11），武田和也，廣本太郎，野間正泰

物体まわりの流れの可視化とCOC出前授業への適用 ～簡易風洞装置の設計・製作～ 日本理科教育学会近畿支部大会（大阪大会）発表論文集，p. 21，（2016. 11），迫田光太郎，尾松来基，細見久起，大谷周平，野間正泰

物体まわりの流れの可視化とCOC出前授業への適用 ～小学校での実践～ 日本理科教育学会近畿支部大会（大阪大会）発表論文集，p. 22，（2016. 11），尾松来基，迫田光太郎，細見久起，大谷周平，野間正泰

水素気泡法を用いた移動物体まわりの流れの可視化，日本理科教育学会近畿支部大会（大阪大会）発表論文集，p. 20，（2016. 11），金井峻輔，菅沼友樹，野間正泰

身近な物体まわりの流れの可視化とCOC出前授業への適用 ～簡易風洞装置の設計・製作～，日本トライボロジー学会，“超”を目指す軸受技術研究会第51回研究会，（2016. 12），迫田光太郎，尾松来基，細見久起，大谷周平，野間正泰

身近な物体まわりの流れの可視化とCOC出前授業への適用 ～小学校での実践～，日本トライボロジー学会，“超”を目指す軸受技術研究会第51回研究会，（2016. 12），尾松来基，迫田光太郎，細見久起，大谷周平，野間正泰

水素気泡法を用いた移動物体まわりの流れの可視化と制御，日本トライボロジー学会，“超”を目指す軸受技術研究会第51回研究会，（2016. 12），金井峻輔，菅沼友樹，野間正泰

その他

簡易風洞装置を用いた物体まわりの流れの可視化とCOC出前授業への適用，兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科・高等専門学校第2回研究交流会（2016. 03. 30），細見久起，黒木達也，野間正泰

水素気泡法を用いた回流水槽中を移動する物体まわりの流れの可視化，兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科・高等専門学校第2回研究交流会（2016. 03. 30），菅沼友樹，野間正泰

奥村 幸彦

査読付論文

Effect of heating rate and coal type on the yield of functional tar components, Proceedings of the Combustion Institute (5-Year IF=4.303 Journal), Vol. 36, Issue 2, pp. 2075-2082, (2017. 2), Yukihiro Okumura

Synthesis of n-type semiconducting diamond films in acetylene flame with nitrogen doping, Proceedings of the Combustion Institute (5-Year IF=4.303 Journal), Vol. 36, Issue 3, pp. 4409-4417, (2017. 2), Yukihiro Okumura, Kouichi Kanayama, Hiroaki Nishiguchi

国際会議

Mechanism of gasification rate-enhancement elucidated by cross-sectional analysis of catalyst-supporting biochars, Proceedings of the 4th International Forum on Heat Transfer, Session02:IFHT2016-1830, pp.1-6, (2016.11) , Yukihiro Okumura

A high-yield method for producing functional coal-tar component for use in advanced chemical applications, 36th International Symposium on Combustion, Seoul, Korea, Technical Session: Solid Fuel, 4G03, pp.1-55, (2016.8) , Yukihiro Okumura

Creation of n-type diamond semiconductor from combustion flame through doping-synthesis concept, 36th International Symposium on Combustion, Seoul, Korea, Technical Session: Novel Concepts/Nanostructures, 5F03, pp.1-64, (2016.8) , Yukihiro Okumura, Kouichi Kanayama, Hiroaki Nishiguchi

学会発表

バイオマスの一次熱分解タール成分に及ぼす構成成分の影響, 第25回日本エネルギー学会大会講演論文集, 講演 No. 3-3-2, pp.70-71, (2016.8) , 奥村幸彦

高機能性タールの高収率化, 第53回石炭科学会議論文集（日本エネルギー学会）, Session: 熱分解・コークス（6）, 重質油（1）, No. 2-25, pp.110-111, (2016.10) , 奥村幸彦

熱分解タール成分およびPAH生成に及ぼす炭種の影響, 第54回燃焼シンポジウム講演論文集（日本燃焼学会）, Session: 固体燃焼Ⅱ, 講演番号 No.C231, USB Proc.-C231, pp.1-2 (2016.11), 奥村幸彦

その他

The production of a liquid fuel from coke oven by-product gas and biomass and the establishment of a method for the use in advanced chemical applications, 2015年度大学助成技術研究報告書（公益財団法人 J F E 2 1 世紀財団）, pp.47-65, (2016.4), Yukihiro Okumura

環境保全を目指した石炭/バイオマスの高度利用, 東北発電工業株式会社特別技術講演, ppt 資料 pp.1-95, (2016.11), 奥村幸彦

川田 昌克**著書**

倒立振子で学ぶ制御工学, 森北出版, 全240頁, (2017.2), 川田昌克（編著）, 東 俊一, 市原裕之, 浦久保孝光, 大塚敏之, 甲斐健也, 國松禎明, 澤田賢治, 永原正章, 南 裕樹

査読付論文

差分進化による k 次遅れ系の ITAE 最小化, システム制御情報学会論文誌, Vol.30, No.1, pp.27-29 (2017.1), 室巻孝郎, 川田昌克

学会発表

差分進化による2軸ヘリコプタの PID 制御系設計, 第60回システム制御情報学会研究発表講演会, 363-4 (2016.5), 吉川友真, 川田昌克

清原 修二

査読付論文

放射線飛跡を可視化するプラスチック教材を用いた教育方法の実践, 応用物理教育, Vol. 40, No. 2, pp. 101-106, (2016. 12), 石川一平, 清原修二

学会発表

PDMS モールドを用いた液滴室温ナノインプリントによる DLC エミッタアレイの作製, 2016 年度精密工学会関西地方定期学術講演会講演論文集, pp. 52-53, (2016. 7), 吉田捷吾, 清原修二, 石川一平, 針谷達, 滝川浩史, 倉島優一

室温ナノインプリント転写材料ポリジメチルシロキサンによる DLC の超微細加工, 2016 年度精密工学会関西地方定期学術講演会講演論文集, pp. 54-55, (2016. 7), 宮下和樹, 清水友人, 清原修二, 石川一平, 針谷達, 滝川浩史, 倉島優一

炭素/水素比の異なる雰囲気ガスを導入した T-FAD による $ta-C:H$ および $a-C:H$ の形成, 表面技術協会第 134 回講演大会, p. 2B-10, (2016. 9), 今井貴大, 飯島佑史, 針谷達, 須田善行, 滝川浩史, 神谷雅男, 瀧 真, 長谷川祐史, 辻信広, 金子智, 吉田健太郎, 國次真輔, 川口雅弘, 清原修二, 四戸汐里, 寒河江祐介, 伊藤未希雄, 山田健二

T-FAD を用いた DLC:H 膜の PVD-CVD ハイブリッド成膜, 平成 28 年度電気・電子・情報関係学会 東海支部連合大会, p. L3-3, (2016. 9), 今井貴大, 飯島佑史, 針谷達, 須田善行, 滝川浩史, 神谷雅男, 瀧 真, 長谷川祐史, 辻信広, 金子智, 吉田健太郎, 國次真輔, 川口雅弘, 清原修二, 四戸汐里, 寒河江祐介, 伊藤未希雄, 山田健二

T-FAD を用いた窒素含有 DLC 膜の作製, 平成 28 年度電気・電子・情報関係学会 東海支部連合大会, p. L3-5, (2016. 9), 飯島佑史, 今井貴大, 磯野凌, 針谷達, 須田善行, 滝川浩史, 神谷雅男, 瀧 真, 長谷川祐史, 辻信広, 金子智, 國次真輔, 川口雅弘, 羽渕仁恵, 清原修二, 伊藤未希雄, サム イック, アヴィ ベンデイビッド, フィル マーティン

放射線教育のための危険性低減を目指したプラスチック飛跡検出器の改善, 第 22 回高専シンポジウム講演予稿集, p. P-118, (2017. 01), 植田涼介, 石川一平, 清原修二

ナノインプリント法を用いた微細発行パターンを有する有機 EL の作製, 第 22 回高専シンポジウム講演予稿集, p. P-255, (2017. 01), 大西浩輝, 石川一平, 清原修二

透明電極有機半導体デバイスの開発, 第 22 回高専シンポジウム講演予稿集, p. P-256, (2017. 01), 団野明日馨, 石川一平, 清原修二

有機 EL 材料を応用した有機放射線検出器の開発, 第 22 回高専シンポジウム講演予稿集, p. P-257, (2017. 01), 井之上樹, 石川一平, 清原修二

ポータブル室温ナノインプリントシステムを用いたナノテクノロジー教育, 平成 28 年度電気学会関西支部高専卒業研究発表会講演論文集, pp. 37-38, (2017. 3), 森脇涼平, 清原修二, 石川一平, 清水友人, 吉田捷吾, 針谷達, 滝川浩史, 倉島優一

その他

ダイヤモンドライクカーボン膜等機能性膜の形成・特性評価・応用開発, 平成 28 年度高専連携教育研究プロジェクト進捗状況報告会, p. 26, (2016. 12), 川七智貴, 清原修二, 石川一平, 清水友人, 吉田捷

吾, 針谷達, 滝川浩史, 倉島優一

伊藤 稔

その他

Firefly Algorithm のパラメータに関する基礎的検討, 舞鶴工業高等専門学校紀要, 52, pp. 11-14, (2017. 3), 伊藤稔

石川 一平

査読付論文

放射線飛跡を可視化するプラスチック教材を用いた教育方法の実践, 応用物理教育, Vol. 40, No. 2, pp. 101-106, (2016. 12), 石川一平, 清原修二

学会発表

室温ナノインプリント転写材料ポリジメチルシロキサンによる DLC の超微細加工, 2016 年度精密工学会関西地方定期学術講演会講演論文集, pp. 54-55, (2016. 7), 宮下和樹, 清水友人, 清原修二, 石川一平, 針谷達, 滝川浩史, 倉島優一

PDMS モールドを用いた液滴室温ナノインプリントによる DLC エミッタアレイの作製, 2016 年度精密工学会関西地方定期学術講演会講演論文集, pp. 52-53, (2016. 7), 吉田捷吾, 清原修二, 石川一平, 針谷達, 滝川浩史, 倉島優一

重合度の異なるプラスチック飛跡検出器（ポリアリルジグリコールカーボネート）の赤外線吸収スペクトル分析, 第 77 回応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集, p. 02-022, (2016. 09), 寺下佳孝, 楠本多聞, 上田隆裕, 上野琢也, 亀田結貴, 金崎真聡, 小田啓二, 石川一平, 山内知也

放射線教育のための危険性低減を目指したプラスチック飛跡検出器の改善, 第 22 回高専シンポジウム講演予稿集, p. P-118, (2017. 01), 植田涼介, 石川一平, 清原修二

ナノインプリント法を用いた微細発行パターンを有する有機 EL の作製, 第 22 回高専シンポジウム講演予稿集, p. P-255, (2017. 01), 大西浩輝, 石川一平, 清原修二

透明電極有機半導体デバイスの開発, 第 22 回高専シンポジウム講演予稿集, p. P-256, (2017. 01), 団野明日馨, 石川一平, 清原修二

有機 EL 材料を応用した有機放射線検出器の開発, 第 22 回高専シンポジウム講演予稿集, p. P-257, (2017. 01), 井之上樹, 石川一平, 清原修二

ポータブル室温ナノインプリントシステムを用いたナノテクノロジー教育, 電気学会関西支部高専卒業研究発表会論文集, p. 37-38, (2017. 3), 森脇 涼平, 清原 修二, 石川 一平, 清水 友人, 吉田 捷吾, 針谷 達, 滝川 浩史, 倉島 優一

その他

ダイヤモンドライクカーボン膜等機能性膜の形成・特性評価・応用開発, 平成 28 年度高専連携教育研究プロジェクト進捗状況報告会, p. 26, (2016. 12), 川七智貴, 清原修二, 石川一平, 清水友人, 吉田捷吾,

針谷達，滝川浩史，倉島優一

高木 太郎

査読付論文

離散時間多入出力系に対する適応NNフィードフォワードを併用した適応PID制御，電気学会論文誌C，Vol.136，No. 5，pp.668-675，(2016.5)，高木太郎，水本郁朗

Simple Adaptive Control with Adaptive Parallel Feedforward Compensator, ICIC Express Letters, Vol.10, No.10, pp.2341-2348, (2016.10), Taro Takagi, Ikuro Mizumoto and Kenta Fujita

国際会議

Simple Adaptive Control with Adaptive Parallel Feedforward Compensator, Proc. of ICICIC2016, (2016.8), p.189, Taro Takagi, Ikuro Mizumoto and Kenta Fujita

学会発表

単純適応制御に対する適応PFCの導入，電気学会研究会資料. CT 2016 (48-55)，pp.31-35，(2016.6)，高木太郎，水本郁朗

ツインロータヘリコプタに対する適応制御系構成，第60回システム制御情報学会研究発表講演会講演論文集，CD-ROM (2016.5)，藤田健汰，高木太郎，水本郁朗

その他

運搬ロボットの自動走行システムの改良，舞鶴工業高等専門学校紀要第52号，pp.1-4，室巻孝郎，益戸直也，高木太郎

建設システム工学科

高谷 富也

査読付論文

Seismic Damage Prediction of Old Japanese-style Wooden House Using Predominant Period Distribution of Ground Surface Layer, Journal of Modeling and Optimization (JMO, ISSN:1759-7676) Vol.9, No.1, pp.1-11, (2017.1), Hayato Nishikawa and Tomiya Takatani

Seismic Performance of One-storey Thatched Roof Wooden Structure Against a Strong Earthquake Ground Motion, Journal of Civil Engineering and Construction (ISSN:2051-7769) Vol. 6, No. 1, pp. 1-14, (2017.1), Tomiya Takatani, Hayato Nishikawa

国際会議

Fire Spreading Behavior of a Group of Wooden Houses in Townscape Formation District, Proceedings of the 2016 World Congress on Advances in Civil, Environmental, and Material Research (ACEM16) /The 2016 Structures Congress (Structures16), Jeju, Korea, (2016.8), Tomiya Takatani

Seismic Damage Prediction of Old Japanese-style Wooden House Based on Predominant Period Distribution of Ground Surface Layer, Proceedings of the 2016 World Congress on Advances in Civil, Environmental, and Material Research (ACEM16) /The 2016 Structures Congress (Structures16), Jeju, Korea, (2016.8), Hayato Nishikawa and Tomiya Takatani

Seismic Performance of One-story Thatched Roof Wooden Structure Against A Strong Earthquake Ground Motion, Proceedings of the 2016 World Congress on Advances in Civil, Environmental, and Material Research (ACEM16) /The 2016 Structures Congress (Structures16), Jeju, Korea, (2016.8), Tomiya Takatani, Hayato Nishikawa and Ryuichiro Hirano

Seismic Performance of One-story Thatched Roof Wooden Structure Using Collapsing Process Analysis, Proceedings of the 6th International Conference on Structural Engineering, Mechanics and Computation (SEMC2016), Cape Town, South Africa, (2016.9), Tomiya Takatani, Ryuichiro Hirano and Hayato Nishikawa

Fire Spreading Analysis of a Group of Wooden Houses in Townscape Formation District, Proceedings of the 3rd Australasian and South-East Asia Structural Engineering and Construction Conference (ASEA-SEC-3), AAE-1, , ISBN: 978-0-9960437-3-1, Kuching, Sarawak, Malaysia, (2016.10), Tomiya Takatani

Seismic Performance of an Old Japanese-style Two-story Wooden House Under a Strong Earthquake Ground Motion, Proceedings of the 3rd Australasian and South-East Asia Structural Engineering and Construction Conference (ASEA-SEC-3), St-5, ISBN:978-0-9960437-3-1, Kuching, Sarawak, Malaysia, (2016.10), Tomiya Takatani and Hayato Nishikawa

Seismic Damage Prediction of Old Japanese-style Wooden House Using Predominant Period Distribution of Ground Surface Layer, Proceedings of the 3rd Australasian and South-East Asia Structural Engineering and Construction Conference (ASEA-SEC-3), St-11, ISBN: 978-0-9960437-3-1, Kuching, Sarawak, Malaysia, (2016.10), Tomiya Takatani and Hayato Nishikawa

その他

起振器を用いた木造古民家住宅の耐震性評価について，舞鶴高専紀要，第52号，pp. 29-38, (2017. 3)，高谷富也、西川隼人、西村良平、平野竜一郎

3次元CADを用いた都市計画道路の可視化について -Autodesk InfraWorks 360 の適用-，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 45，pp. 1-15，(2017. 3)，金山昂太，高谷富也

木造住宅群の火災延焼シミュレーションについて，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 45，pp. 16-42，(2017. 3)，松島大智，高谷富也

四蔵 茂雄**その他**

屋久島のオーバーユース問題に対する入島料の効果 -屋久島の環境価値と山岳協力金-，舞鶴高専紀要（2017. 3 予定），四蔵茂雄

地球温暖化防止の国際交渉 -パリ協定と我が国の課題-，舞鶴高専紀要（2017. 3 予定），四蔵茂雄

三輪 浩**著書**

PEL 水理学，実教出版，全 287 頁，(2016. 10)，三輪 浩 他 10 名

査読付論文

Effects of sand content on initial gravel motion in gravel-bed rivers, Earth Surface Processes and Landforms, Wiley Online Library, (2017. 3), Hiroshi Miwa and Gary Parker

国際会議

Dynamic state of river-mouth bar in the Yuragawa River and its control under flood flow conditions, Proceedings of the 13rd International Symposium on River Sedimentation, pp. 710-718, (2016. 9), Hiroshi Miwa, Keiichi Kanda, Takaharu Ochi and Hana Kawaguchi

学会発表

礫河床への砂供給による砂礫の移動と流路変動, 平成 28 年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集，II-18，(2016. 6)，山田啓太郎，福井晶浩，難波 萌，三輪 浩

由良川河口砂州の動態観測と水制による砂州の侵食促進効果, 平成 28 年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集，II-22，(2016. 6)，川口はな，越智尊晴，三輪 浩，神田佳一

河岸水制の形状による河口砂州制御効果に関する移動床模型実験, 平成 28 年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集，II-23，(2016. 6)，越智尊晴，神田佳一，三輪 浩，川口はな

礫河床における砂礫の移動に及ぼす砂供給の効果，第 71 回土木学会年次学術講演会講演概要集 II，pp. 133-134，(2016. 9)，山田啓太郎，三輪 浩，福井晶浩，難波 萌

河岸水制による河口砂州の制御効果に関する検討，第 71 回土木学会年次学術講演会講演概要集 II，

pp. 151-152, (2016. 9), 越智尊晴, 川口はな, 三輪 浩, 神田佳一

由良川河口域における波浪による砂州の動態に関する実験的研究, 神戸高専地域協働研究センター産学官技術フォーラム'16 講演論文集, p. 51, (2016. 11), 浅井惣一郎, 上坂すず, 神田佳一, 三輪 浩

由良川河口における砂州の発達動態に関する研究, 第 22 回日本高専学会年会講演論文集, CD-ROM, (2016. 11), 浅井惣一郎, 上坂すず, 神田佳一, 三輪 浩

波浪による由良川河口砂州の発達動態に関する模型実験, 第 22 回高専シンポジウム講演要旨集, H-10, (2017. 1), 浅井惣一郎, 上坂すず, 神田佳一, 三輪 浩

玉田 和也

著書

構造工学シリーズ 25 橋梁の維持管理 実践と方法論, 土木学会, pp. 37-50, pp. 80-84, (2016. 6), 土木学会構造工学委員会橋梁の維持管理システム研究小委員会

解説

地域のインフラを守る土木技術者を育成せよ～舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センターの挑戦～, 土木学会誌, 第 101 巻第 12 号, pp. 26-27, (2016. 12), 玉田和也

学会発表

PC 舟形橋梁の固有振動数と静たわみ計測による剛性推定の相関性について, 土木学会第 71 回年次学術講演会, I-072, pp. 143-144, 玉田和也, 北山明生

アクティブ・ラーニングを基軸とした橋梁メンテナンス技術者育成カリキュラムの開発, 土木学会第 71 回年次学術講演会, CS1-006, pp. 11-12, 玉田和也, 田村隆弘, 嶋田知子

京都府北部地域におけるインフラマネジメントとインフラ管理人材の育成に関する研究, 土木学会第 71 回年次学術講演会, CS1-012, pp. 23-24, 加登文学, 玉田和也, 嶋田知子

加速度計による橋梁の変位推定の検証, 土木学会第 71 回年次学術講演会, CS7-032, pp. 63-64, 富岡昭浩, 玉田和也

その他

アクティブ・ラーニングを基軸とする橋梁メンテナンス技術者育成カリキュラムの研究開発, J-BEC レポート 2016Vol. 12, pp. 24-30, (2016. 11), 玉田和也, 田村隆弘, 嶋田知子

尾上 亮介

学会発表

建築雑誌を用いた改修家屋の分類に関する研究, 2016 日本建築学会大会 (九州), (2016. 8. 26), 柳澤大樹, 尾上亮介

その他

「商店街巡礼」, 舞鶴市民新聞連載 (2010. 1～), 尾上亮介

舞鶴市子供支援施設あそびあむ キッズデザインコンセプトブック 2016, pp90, (2016. 11), 尾上亮介(尾上研究室) 共同

加登 文学

査読付論文

振動数領域での震源近傍・変位波形の計算方法, 日本地震工学会論文集, Vol.16 (2016), No. 10, pp. 10_15-10_30, (2016. 11), 森尾敏, 加登文学, 藤井照久

学会発表

京都府北部地域におけるインフラマネジメントとインフラ管理人材の育成に関する研究, 土木学会第 71 回年次学術講演会講演概要集, CS1-012, (2016. 9), 加登文学, 玉田和也, 嶋田知子

平成 28 年熊本地震による強震動の距離減衰特性, 第 22 回高専シンポジウム in Mie 講演要旨集, P-080, (2017. 1), 前田翼, 加登文学

ドローン空撮画像による 3D モデリングと防災分野への活用, 第 22 回高専シンポジウム in Mie 講演要旨集, P-105, (2017. 1), 加登文学, 前田翼, 平野尚也

徳永 泰伸

査読付論文

ロボティック照明システムの分散型照射角度制御, 電気学会論文誌 C, Vol.137, No. 1, pp. 120-126, (2017. 1), 室巻孝郎, 南裕樹, 徳永泰伸

学会発表

視覚情報と音提示方法が船舶航行音の騒音評価に与える影響, 日本音響学会騒音振動研究会, N-2016-33, (2016. 6), 細野優, 武藤憲司, 徳永泰伸

モノラル再生時における背景画像が船舶航行騒音の評価に与える影響, 電気関係学会東北支部連合大会, 2E07, (2016. 8), 細野優, 武藤憲司, 徳永泰伸

映像と背景画像による船舶航行騒音の主観評価の検討, 日本音響学会秋季研究発表会, 2-P-37, pp. 647-648, (2016. 9), 細野優, 武藤憲司, 徳永泰伸

ロボティック照明システムの照射角度制御実験, 第 33 回センシングフォーラム, 2P1-19 (2016. 9), 辻優希, 室巻孝郎, 徳永泰伸, 南裕樹

文字情報提示が船舶航行音の評価に与える影響, 日本騒音制御工学会秋季研究発表会, 2-2-21, pp. 223-224, (2016. 11), 細野優, 武藤憲司, 徳永泰伸

視聴覚刺激の提示時における心拍変動の傾向に関する基礎的研究, 第 22 回高専シンポジウム, H-18, (2017. 1), 松下千穂, 徳永泰伸

視覚情報提示方法による船舶航行音の主観評価の影響, 日本音響学会春季研究発表会, 2-Q-17, (2017. 3),

細野優，武藤憲司，石井七海，徳永泰伸

映像視聴時の画面サイズが騒音の印象に与える影響，電子情報通信学会総合大会，A-5-6，p. 72，(2017. 3)，
武藤憲司，石井七海，細野優，徳永泰伸

渡部 昌弘

国際会議

A Study On History And Construction Method Of The 3rd Naval Factory In Maizuru, Part 1:History and Details Of The Factory, Proc. Of the 11th ISAIA:International Symposium on Architectural Interchange in Asia, (2016.9), Masahiro Watabe, Yuriko Nakano, Goki Takaoka

A Study On History And Construction Method Of The 3rd Naval Factory In Maizuru, Part 2:A Field Survey On The 22th Factory, Proc. Of the 11th ISAIA:International Symposium on Architectural Interchange in Asia, (2016.9), Goki Takaoka, Masahiro Watabe, Yuriko Nakano

学会発表

多様な用途の変遷を経た京町家の耐震性能に関する調査研究 -豊国神社周辺の町家を対象として-，日本建築学会 2016 年度大会（九州）学術講演梗概集. 構造 III，pp. 299-300，(2016.8)，中井亮作，渡部昌弘

毛利 聡

学会発表

あと施工アンカーの施工部が鉄筋コンクリート部材の耐久性に及ぼす影響の評価，第 22 回高専シンポジウム in Mie，(2017.1)，福德真奈美，毛利聡

その他

温冷繰返し負荷による左官モルタルの接着一体性評価試験法の提案，舞鶴工業高等専門学校紀要第 52 号，pp. 39-44，(2017.3)，毛利聡，畑中隆椰

教育研究支援センター

福井 繁雄

その他

平成 28 年度教育研究支援センター出前授業「音に反応して走る車をつくろう」，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 45，pp. 55-60，（2017. 3），福井繁雄，西川隼人，梶田勲，石井貴弘，能勢嘉朗，古林達哉

平成 28 年度電気情報工学科公開講座「フルカラーLED で七色に光るクリスマスツリーを作ろう!!」，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 45，pp. 61-65，（2017. 3），福井繁雄，丹下 裕，片山英昭

能勢 嘉朗

その他

機器運用・セキュリティ部門報告，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 45，pp. 114-115，（2017. 3），伊藤稔，能勢嘉朗

平成 28 年度国立高等専門学校機構情報担当者研修会報告，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 45，pp. 118-119，（2017. 3），能勢嘉朗，野間正泰，伊藤稔，芦田康弘

平成 28 年度近畿地区高等専門学校情報処理教育連絡協議会報告，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 45，pp. 120-121，（2017. 3），能勢嘉朗，野間正泰

西川 隼人

査読付論文

鳥取県内の地震観測点における地盤構造の把握とサイト特性の評価，土木学会論文集 A1（構造・地震工学），Vol. 72，No. 4，pp. I_646-I_658，（2016. 5），野口竜也，西川隼人，吉田昌平，香川敬生

学会発表

レシーバー関数を用いた鳥取県内の地震観測点における地盤構造推定，日本地球惑星科学連合連合大会 2016 年大会，講演番号 SSS25-P25，（2016. 5），野口竜也，西川隼人，吉田昌平，香川敬生

鳥取県の強震観測点におけるレシーバー関数による地盤構造の同定，2016 年日本地震学会秋季大会，講演番号 S16-P11，（2016. 10），野口竜也，西川隼人，吉田昌平，香川敬生

鳥取県鹿野地域における地盤構造および地盤震動特性，第 36 回土木学会地震工学研究発表会，講演番号 C13-924，（2016. 10），野口竜也，上野太士，吉田昌平，香川敬生，西川隼人

学位取得状況

学位	校長	人文	自然	機械	電気	制御	建設	計
博士		4	7	11	10	10	10	52
修士		7	3					10
学士	1	1	1					3
合計	1	12	11	11	10	10	10	65

研究成果発表状況

区 分	著 書	解 説	査読論文	国際会議	学会発表	特 許	その他	計
校 長							1	1
人文科学部門		1	3	1	7		11	23
自然科学部門					2		2	4
機械工学科			7	7	21	2	17	54
電気情報工学科			3	8	18		7	36
電子制御工学科	1		7	4	31		8	51
建設システム工学科	2	1	5	10	26		9	53
教育研究支援センター			1		3		5	9
合 計	3	2	26	30	108	2	60	231

外部研究費受入

科学研究費助成事業

研究種目等	研究課題名	研究代表者	配分額 (千円)
基盤研究 (C)	「NIRS による脳機能測定」を異分野の共通課題とする 高等専門学校分野横断的教育	竹澤 智樹 (電気情報工学科)	520
基盤研究 (C)	石炭燃焼に伴う微量有害金属の PM2.5 への濃縮・凝 縮機構の解明	奥村 幸彦 (電子制御工学科)	1,040
基盤研究 (C)	学習到達度への影響を含む物理的学習環境の評価手 法に関する研究	齋藤 福栄 (校長)	910
挑戦的萌芽 研究	分散型ロボティック照明システムの構築	室巻 孝郎 (機械工学科)	780
基盤研究 (C)	難解な制御工学を実体験により学び直すことができ る実験教材の開発	川田 昌克 (電子制御工学科)	1,560
基盤研究 (C)	特別支援学校教員の技術力向上のために高専の実践 教育を取り入れた教育システムの構築	船木 英岳 (電気情報工学科)	325
基盤研究 (C)	障害物情報を配信する電子マップと連動した視覚障 害者の歩行を支援する超音波白杖	丹下 裕 (電気情報工学科)	1,170
若手研究 (B)	再生可能なエネルギー教育のためのシリコン太陽電 池教材の開発と実践	内海 淳志 (電気情報工学科)	910
基盤研究 (C)	「技術者としての地域貢献」を舞鶴市と連携して実施 する教育モデルの構築	片山 英昭 (電気情報工学科)	2,730
基盤研究 (C)	礫床河川への覆砂による土砂移動機構と流路の再変 動化に関する研究	三輪 浩 (建設システム工学科)	1,430
基盤研究 (C)	舞鶴から日本のエネルギーを変える：浮体式洋上風 車発電量予測手法の確立	小林 洋平 (機械工学科)	2,730
若手研究 (B)	廃藩置県をめぐる日朝双方の対応を軸に読み解く近 代日朝関係の成立	牧野 雅司 (人文科学部門)	1,430
若手研究 (B)	監獄学(刑事政策学)継受過程の再検討-「日本の特 質」をめぐる言説に着目して	児玉 圭司 (人文科学部門)	650
特別研究員 奨励費	越境する霊性と身体一行から見る宗教の近代化と国 際化の歴史記述	栗田 英彦 (特別研究員(PD))	302
計	14 件		16,487

※間接経費を含む。学外分担者への送金分は含まない。

受託事業

研究題目	研究担当者	相手先	受入額 (千円)
京都府北部地域におけるアクティブ・ラーニングを基軸とし たインフラメンテナンス技術者育成のための教育プログラ ムの開発	玉田 和也 (建設システム工学科)	文部科学省	15,767
計		1 件	15,767

受託研究

研 究 題 目	研究担当者	相手先	受入額 (千円)
舞鶴市イルミネーション設置事業（東舞鶴駅周辺）に関する研究	中川 重康 (電気情報工学科)	舞鶴市	1,500
ウェアラブル端末を活用した運動習慣支援に関する実証実験 (舞鶴いきいき健康まちづくり推進事業)	小野 伸一郎 (自然科学部門) 中川 重康 (電気情報工学科) 尾上 亮介 (建設システム工学科)	舞鶴市	200
鉄筋コンクリート構造物の品質確保に関する調査研究	毛利 聡 (建設システム工学科)	株式会社 丸屋建設	110
橋梁長寿命化修繕計画実施における課題の検討及び調査研究	玉田 和也 (建設システム工学科)	舞鶴市	485
東地区商店街の空き店舗及び空地活用の調査・研究	尾上 亮介 (建設システム工学科)	舞鶴市	540
計		5 件	2,835

※間接経費を含む。

共同研究

研 究 題 目	研究担当者	相手先	受入額 (千円)
低炭素リサイクル燃料 (Low Carbon Recycle Fuel) の研究と装置の開発	野毛 宏文 (機械工学科)	京都プラント工業 株式会社 (京都府綾部市)	1,200
ダイヤモンドライクカーボン膜等機能性膜の 形成・特性評価・応用開発	清原 修二 (電子制御工学科)	豊橋技術科学大学 (愛知県豊橋市)	176
植物工場に関する研究開発	須田 敦 (機械工学科)	株式会社椿本チエイン (大阪市北区)	500
DCDC コンバータの効率アップ (発熱低減)	平地 克也 (電気情報工学科)	富士通テン株式会社 (愛知県豊橋市)	165
計		4 件	2,041

※間接経費を含む。

寄附金

件 名	研究担当者	受入額 (千円)
教育研究等奨励助成金 (舞鶴工業高等専門学校後援会 3件)	教 職 員	3,000
学校施設整備助成金 (舞鶴工業高等専門学校後援会 1件)	校 長	1,000
日本教育公務員弘済会寄附金 (日本教育公務員弘済会)	野毛 宏文 (機械工学科)	971
日新電機寄附金 (日新電機株式会社)	平地 克也 (電気情報工学科)	50
iMec 寄附金 (金下建設株式会社 3件)	玉田 和也 (建設システム工学科)	360
iMec 寄附金 (鶴美建設株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (株式会社グラン・ソラリス)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (大日コンサルタント株式会社 2件)	玉田 和也 (建設システム工学科)	280
iMec 寄附金 (一般社団法人兵庫県測量設計業協会)	玉田 和也 (建設システム工学科)	680
iMec 寄附金 (塩見測量設計株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	120
iMec 寄附金 (株式会社計測リサーチコンサルタント)	玉田 和也 (建設システム工学科)	80
株式会社堀場製作所助成金 (株式会社堀場製作所)	片山 英昭 (電気情報工学科)	300
公益財団法人 LIXIL 住生活助成金 (公益財団法人 LIXIL 住生活財団)	毛利 聡 (建設システム工学科)	210
矢崎総業助成金 (矢崎総業株式会社)	平地 克也 (電気情報工学科)	300
国土技術研究センター寄附金 (一般財団法人国土技術研究センター)	玉田 和也 (建設システム工学科)	2,000
iMec 寄附金 (内外エンジニアリング(株))	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
塩見寄附金 (塩見 堯)	教 職 員	12
iMec 寄附金 (株式会社日本コムダック)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
株式会社東京建設コンサルタント助成金 (株式会社東京建設コンサルタント)	三輪 浩 (建設システム工学科)	300
公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団助成金 (公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団)	室巻 孝郎 (機械工学科)	1,000
株式会社日進製作所寄附金 (株式会社日進製作所)	校 長	500
計 26 件		11,343

学協会委員及び学会・研究会等の開催協力

校長

齋藤 福栄	国立教育政策研究所，フェロー，（2016.4～2017.3）
	関西工学教育協会高専部会，部会長，（2016.4～2018.3）

人文科学部門

畑 恵里子	全国大学国語国文学会，委員，（2013.7～2017.3）
	日本文学協会，委員，（2015.12～2017.3）
松井 信義	（財）日本英語検定協会実用英語技能検定面接委員，（京都光華女子大学 2016.7.10，京都光華女子大学 2016.11.6）

自然科学部門

上杉 智子	特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会，物理チャレンジ実行委員会 理論問題部会，委員，（2016.4～2017.3）
-------	---

機械工学科

篠原 正浩	先端材料技術協会（SAMPE Japan）コンポジット委員会，事務局，（2016 年度）
	日本材料学会複合材料部門委員会，委員，（2016 年度）
	SAMPE-Japan 先端材料技術協会 京都国際会議 2016（JISTES 2016 Kyoto）実行委員会事務局，（2016.7.14，15）
	第7回自動車用途コンポジットシンポジウム実行委員，（2016.11.11）
	関西工学教育協会高専部会，幹事，（2016 年度）
	近畿地区 7 高専連携シンポジウム 災害時に役立つ乗り物コンテスト審査員，（2017.2.11）
小林 洋平	2016 年度日本機械学会年次大会 再生可能エネルギー（2），座長，日本機械学会，九州大学（2016.9.14）
野毛 宏文	Associate Member, Vehicle System Engineering, Malaysia-Japan International Institute of Technology, Universiti Teknologi Malaysia International Campus,（2012.4～present）
	平成28年度研究プロジェクト経費助成事業（高専機構）一次審査員，（2016.4.28～5.17）
室巻 孝郎	日本機械学会関西支部，学生会顧問，（2016 年度）
須田 敦	公益社団法人日本設計工学会関西支部 2016 年度研究発表講演会，Session A2 装具・リヤカー，座長，（2016.11.12）

電気情報工学科

平地 克也	電子情報通信学会ソサイエティ論文誌編集委員会査読委員，（2014.6～2017.3）
	電気学会，論文委員会（D1 グループ）委員，（2009.12～2017.3）
	パワーエレクトロニクス学会，査読委員，（2012.6～2017.3）
	電気学会エネルギー利用の高度化に対応する最新の高周波電力変換技術調査専門委員会，委員，（2015.5～2017.3）
	電気学会関西支部，協議員，（2015.4～2017.3）

電子制御工学科

金森 満	関西工学教育協会高専部会幹事 (2016. 4. 1～2017. 3. 31)
	日本工学教育協会「工学教育」編集・出版委員会, 委員
野間 正泰	日本トライボロジー学会・”超”を目指す軸受技術研究会, 幹事, (2016. 4. 1～2017. 3. 31)
	日本トライボロジー学会・教育講習委員会, 委員, (2016. 7. 1～2017. 5. 31)
	関西潤滑懇談会, 理事, (2016. 4. 1～2017. 3. 31)
奥村 幸彦	日本燃焼学会 平成 28 年度先進的燃焼技術の調査研究委員会 (石炭/バイオマス燃焼・ガス化小委員会), 委員, (2016. 11. 20～2017. 3. 31)
	第 53 回石炭科学会議 (日本エネルギー学会, 福山市), セッション名: バイオマス (3), 座長, (2016. 10. 27)
	日本エネルギー学会大会, 奨励賞評価委員, (2016. 8.)
	American Chemical Society, Registered member of publication assistance for Energy & Fuels, (2016. 4-)
高木 太郎	電気学会, データに基づく性能指向型制御システム調査専門委員会, 委員 (2016. 4. 1～2016. 9. 30)
	電気学会, データ駆動制御とモデルベースド制御の相互強化とその応用展開調査専門委員会, 幹事, (2016. 10. 1～2017. 3. 31)

建設システム工学科

三輪 浩	土木学会水工学論文集査読委員, (2016 年度)
	砂防学会関西支部運営委員, (2016. 8. 22～)
	土木学会関西支部年次学術講演会, 水環境・水質および海岸工学 (1), 座長, (2016. 6. 11)
	土木学会西部支部主催第 8 回土砂災害に関するシンポジウム実行委員会委員, (2015. 12. 9～2016. 9. 30)
	土木学会西部支部主催第 8 回土砂災害に関するシンポジウム論文集編集委員会委員, (2015. 12. 9～2016. 9. 30)
	土木学会西部支部主催第 8 回土砂災害に関するシンポジウムコメンテーター, (2016. 9. 16)
	平成 29 年度 (公社) 砂防学会定時総会並びに研究発表会「奈良大会」実行委員会メンバー, (2016. 8. 27～)
玉田 和也	土木学会平成 28 年度全国大会第 71 回年次学術講演会, 座長 (I-11: 橋梁一般 (測定)), (2016. 9. 9)
渡部 昌弘	日本建築学会, 建築社会システム委員会固定資産評価小委員会家屋評価システム研究 WG, (2016. 4. 1～2017. 3. 31)
毛利 聡	第 22 回高専シンポジウム in Mie, H-11-15 土木・建築, 座長, (2017. 1. 28)

教育研究支援センター

西川 隼人	日本地震工学会論文集編集委員, (2016. 4. 1～2017. 3. 31)
	土木学会地震工学論文集査読委員, (2016)
	土木学会構造工学論文集査読委員, (2016)

教 職 員 の 活 動 状 況

受 賞

電子制御工学科	准教授	清原 修二	ベストポスタープレゼンテーション賞，2016 年度精密工学会関西地方定期学術講演会，吉田捷吾，清原修二，石川一平，針谷達，滝川浩史，倉島優一，(2016. 7. 12)
			論文発表賞，平成 28 年度電気学会関西支部高専卒業研究発表会，森脇 涼平，清原 修二，石川 一平，清水 友人，吉田 捷吾，針谷 達，滝川 浩史，倉島 優一，(2017. 3. 4)
電子制御工学科	助教	高木 太郎	Best Paper Award, ICICIC2016 Committees, (2016. 8. 16)
建設システム工学科	教授	尾上 亮介	舞鶴市子育て交流施設あそびあむ，キッズデザイン賞 2016，尾上亮介（尾上研究室）共同（2016. 5）

地域・社会活動

地域・社会業績	1 3 8
公開講座	1 3 9
出前授業	1 4 2
産学連携事業	1 4 4
学外講演，講習，展示	1 4 5
地域共同テクノセンター技術相談	1 4 9
地域委員	1 5 1

地 域 ・ 社 会 業 績

公開講座

講 座 名	講 師 名	開講期日	開講時間	受 講 対象者	募集 人数	受講 者数
社会基盤メンテナンス教育センター iMec 講習会【基礎編】	玉田 和也 嶋田 知子 宮本美奈子 河岸 明 加登 朋恵	月 1～2 回	(1 日目) 13:00～ 17:15 (2 日目) 9:00～ 16:00	地方自治 体に所属 する技術 職員及び 民間企業 技術者	各 8 名 最大 10 名	延べ 91 名
商店街ラボよろず「夜の市」出展 光であそぼう	金山 光一 上杉 智子 内海 淳志 石川 一平	H28. 7. 2 H28. 7. 9 H28. 7. 16	18:00～ 21:00	小中学生 及び一般 市民	随時	延べ 242 名
商店街ラボよろず「夜の市」出展 まちをつくろう 1, 2, 3	尾上 亮介	H28. 7. 9 H28. 7. 16 H28. 7. 23	16:00～ 22:00	小中学生 及び一般 市民	随時	延べ 265 名
商店街ラボよろず「夜の市」出展 ダンボールであそんで防災について 学ぼう	加登 文学	H28. 7. 23	18:00～ 21:00	小中学生 及び一般 市民	随時	30 名
第 1 回ナノテクノロジー体験教室 空気のない世界、鏡の中の世界（小学 生対象）	内海 淳志 石川 一平	H28. 7. 24	10:00～ 12:00	小学校 3～6 年生	10 名	10 名
第 1 回ナノテクノロジー体験教室 小さな加工の世界、小さなモノの世界 （中学生対象）	清原 修二 小林 洋平	H28. 7. 24	13:30～ 15:30	中学生	10 名	5 名
夏休み親子工作教室 （舞鶴市大浦会館）	内海 淳志 井上 泰仁 福井 繁雄	H28. 8. 17	9:00～ 11:30	小学生及 び保護者	20 名	17 名
第 4 回パワーエレクトロニクス公開講座 「DC/DC コンバータの 4 つの回路方式 について」	平地 克也	H28. 8. 20	14:00～ 17:00	企業技術 者	25 名	29 名
電子制御工学科公開講座 つくってみよう！移動ロボット （小学生の部・第 1 回） 「活火山停止大作戦」	野間 正泰 川田 昌克 清原 修二 高木 太郎 畑 亮次	H28. 8. 28	10:00～ 16:00	小学校 4 年生以上	20 名	19 名
電子制御工学科公開講座 つくってみよう！移動ロボット （中学生の部・第 1 回） 「ブロックタワー建設作戦！」	奥村 幸彦 町田 秀和 伊藤 稔	H28. 8. 28	10:00～ 15:00	中学生	20 名	16 名
教育研究支援センター公開講座 電子ピアノを作ろう	福井 繁雄 北代 浩次 畑 亮次 西川 隼人 櫻井 一樹 西村 良平 古林 達哉	H28. 9. 3	10:00～ 12:00	小学校 3 年生～ 中学生	40 名	39 名
機械工学科公開講座 考えて動かそう！ きみにもできるロボットづくり	室巻 孝郎 須田 敦	H28. 9. 3	12:30～ 17:00	小中学生	10 名	13 名

機械工学科公開講座 3D-CAD を使ってみよう！ パソコンで 3D モデル組立て	須田 敦 室巻 孝郎	H28. 9. 4	13:00～ 17:00	中学生	10 名	11 名
社会基盤メンテナンス教育センター iMec 講習会（半日コース）	玉田 和也 嶋田 知子 河岸 明 加登 朋恵	H28. 9. 5	13:00～ 17:00	京都府土木施工管理技士会 会員対象	20 名	25 名
赤れんがフェスタ in 舞鶴 2016 出展 ハロウィンイルミネーションの製作	福井 繁雄 古林 達哉	H28. 10. 22	10:00～ 16:00	一般来場者（中学生）	随時	多数
赤れんがフェスタ in 舞鶴 2016 出展 LED ハロウィンパタークラフトの製作	福井 繁雄 古林 達哉	H28. 10. 23	10:00～ 16:00	一般来場者（小学生）	随時	多数
赤れんがフェスタ in 舞鶴 2016 出展 本校学生の作品を用いた 電気情報分野の体験と理解	片山 英昭 金山 光一 舩木 英岳 芦澤 恵太	H28. 10. 22 H28. 10. 23	10:00～ 16:00	一般来場者	随時	多数
舞鶴高専 高専祭内実施 防災について学ぼう	金山 光一 加登 文学	H28. 10. 29	9:00～ 16:00	小中学生 一般市民	随時	55 名
電子制御工学科公開講座 つくってみよう！移動ロボット （小学生の部・第 2 回） 「活火山停止大作戦」	石川 一平 野間 正泰 清原 修二 高木 太郎 畑 亮次	H28. 10. 29	9:00～ 16:00	第 1 回講座に参加した 小学生	19 名	15 名
電子制御工学科公開講座 つくってみよう！移動ロボット （中学生の部・第 2 回） 「ブロックタワー建設作戦！」	石川 一平 奥村 幸彦 町田 秀和 伊藤 稔 高木 太郎	H28. 10. 30	9:00～ 16:00	第 1 回講座に参加した 中学生	16 名	13 名
舞鶴高専 高専祭内実施 光であそぼう	上杉 智子 内海 淳志 金山 光一	H28. 10. 30	9:00～ 16:00	小中学生 一般市民	随時	113 名
空気抵抗の小さな浮子とルアーを作 ってみよう	小林 洋平	H28. 11. 5	10:00～ 12:00	小中学生 高校生	30 名	13 名
中丹絆フェスタ出展 「防災について学ぼう」	上杉 智子 金山 光一 加登 文学	H28. 11. 13	9:00～ 17:00	小中学生 一般市民	随時	102 名
教育研究支援センター公開講座 「レーザー加工でオリジナル定規を作ろう！ -測って削ってコマも作ろう-	櫻井 一樹 北代 浩次 石井 貴弘 植田 邦明 西村 良平 能勢 嘉朗 西川 隼人	H28. 11. 19	10:00～ 12:00	小学 5 年生～ 中学 3 年生	10 名	7 名
若狭湾青少年自然の家 わかさわんクラフトマルシェ出展 空気抵抗の小さな浮子とルアーを作 ってみよう	小林 洋平	H28. 11. 19	14:30～ 17:30	小中学生 高校生	随時	約 50 名
第 2 回ナノテクノロジー体験教室 （小学生対象） ・空気のない世界、鏡の中の世界	内海 淳志 石川 一平	H28. 12. 3	10:00～ 12:00	小学校 3～6 年生	10 名	6 名

第2回ナノテクノロジー体験教室 (中学生対象) ・自分で顕微鏡を作って「ナノの世界」 を覗いてみよう！ ・ナノインプリントでマイクロギヤを 作ってみよう！	清原 修二	H28. 12. 3	13:30～ 15:30	中学生	10 名	9 名
教育研究支援センター公開講座 「暗くなると光る 家型 LED ライトを作ろう」	西川 隼人 福井 繁雄 北代 浩次 石井 貴弘 植田 邦明 櫻井 一樹 西村 良平 古林 達哉	H28. 12. 3	13:00～ 16:00	小学5年生～ 中学3年生	10 名	7 名
大浦会館 公開講座 「親子クリスマスツリー作り教室」	内海 淳志	H28. 12. 4	9:30～ 12:00	小学生及 び保護者	20 名	16 名
フルカラーLED で七色に光る クリスマスツリーを作ろう!!	片山 英昭 丹下 裕 福井 繁雄	H28. 12. 10	10:00～ 16:00	小学4年生～ 中学3年生	20 名	21 名
赤れんが4号棟赤れんが工房公開講 座「レゴロボットで障害物競争！」	児玉 圭司 畑 亮次	H29. 1. 15	13:00～ 18:00	小学校 高学年～ 中学生	40 名	21 名
3D プリンターで造形したプラスチッ ク試験片の引張試験と各種測定工具 を用いた実習	生水 雅之 篠原 正浩 梶田 勲	H29. 2. 4	13:00～ 16:00	舞鶴工業 集積協議 会会員対 象	5 名	5 名
科博連サイエンスフェスティバル出展 「MDF 材でネームプレートを作ろう」	生水 雅之 山田耕一郎	H29. 2. 5	10:00～ 16:00	科博連サイ エンスフェ スティバ ル来場者	80 名	80 名
科博連サイエンスフェスティバル出展 「レーザーカットした材料で乗り物 を作ろう」	須田 敦 室巻 孝郎	H29. 2. 5	10:00～ 16:00	科博連サイ エンスフェ スティバ ル来場者	80 名	80 名
京都市 あすなろ会にて実施 「光であそぼう～紫外線の効果～」	内海 淳志	H29. 2. 25	16:30～ 17:30	小学校 高学年	20 名	6 名
亀岡市 志塾にて実施 「光であそぼう～紫外線の効果～」	内海 淳志	H29. 2. 25	19:30～ 20:30	小学校 高学年	20 名	4 名
目の錯覚を利用した スキャニメーションを作ろう!!	丹下 裕 福井 繁雄	H29. 2. 25	13:00～ 17:00	小学4年生 ～中学生	20 名	8 名
志楽小学校公開講座 「音に反応して走る車を作ろう」	丹下 裕 福井 繁雄 古林 達哉	H29. 2. 27	9:00～ 12:00	志楽小学 校1～4年 生	40 名	40 名
空気抵抗の小さな浮子とルアーを作 ってみよう	小林 洋平	H29. 3. 18	10:00～ 12:00	小中学生 高校生	30 名	22 名
第5回パワーエレクトロニクス公開講座 1. PFC コンバータの基礎から応用まで 2. ソフトスイッチングの最新技術動向	平地 克也	H29. 3. 18	14:00～ 17:00	企業技術 者	40 名	21 名

デジタルファブリケーション入門！ デジタル工作機械を作ってみよう	須田 敦 室巻 孝郎	H29. 3. 25	13:00～ 17:00	小学6年生 ～中学2年 生	5名	4名
-------------------------------------	---------------	------------	-----------------	---------------------	----	----

出前授業

授 業 名	講 師 名	実施期日	実施場所等	対象者
パワーエレクトロニクスの基礎	平地 克也	H28. 5. 12	日新電機株式会社	2016年度 新入社員
小浜ロボット教室 ロボットについて、 EV3 ロボットプログラミング	川田 昌克	H28. 6. 11	おばま まちの駅 旭座特設会場	小浜ロボット 教室参加者
朝来小学校出前授業 「光る残像イルミネーション」	丹下 裕	H28. 6. 21 H28. 7. 12	朝来小学校	4, 5, 6 年生
志楽ダイヤモンド協議会主催 「高専のロボットたちがやってくる 2016」 「楽しいものづくり」	西山 等 野毛 宏文	H28. 6. 26	舞鶴市立 志楽小学校	幼保育園児、 小中学生～ 一般市民
総合的な学習の時間 「ぼく・わたしの未来」における出前授業 『ものづくりの夢「ロボコンを中心として」』	西山 等	H28. 7. 13	舞鶴市立 倉梯小学校	6 年生
三笠小学校出前授業 「マーブリングをしてみよう」	野間 正泰 畑 亮次	H28. 7. 14	舞鶴市立 三笠小学校	1, 2 年生
はまっこ夜の市におけるロボコン展示	西山 等	H28. 7. 16	東舞鶴商店街 八島アーケード内	はまっこ夜の 市来場者
中地区いきいきセミナー 「呼吸筋ストレッチで老化予防」	小野伸一郎 中川 重康	H28. 7. 28	舞鶴市中央公民館	いきいきセミ ナー参加者
京都府立特別支援学校研究会 ワークショップ 「握りスイッチ&タイマーの製作」	船木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次	H28. 8. 3	京都府立 舞鶴支援学校	京都府立特別 支援学校研究 会ワークショップ 参 加者
舞鶴支援学校出前授業 「支援機器やタブレット端末の活用事例の 交流等」	船木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次	H28. 8. 8	京都府立 舞鶴支援学校	舞鶴支援学校 及び近隣支援 学校教員
鹿原町内会出前授業 「自然災害と地域防災について」	加登 文学	H28. 9. 25	鹿原公會堂	一般市民
みずなぎ鹿原学園出前授業 「ロボット操作体験」	川田 昌克 畑 亮次	H28. 10. 22	みずなぎ鹿原学園	学園生、近隣の 小中学生 一般市民
みずなぎ鹿原学園出前授業 「太陽光で色が変わるアクセサリ作り」	内海 淳志	H28. 10. 22	みずなぎ鹿原学園	学園生、近隣の 小中学生 一般市民

京都進学セミナー出前授業 「音に反応して走る車を作ろう」	福井 繁雄 栴田 勲 能勢 嘉朗 古林 達哉 西川 隼人	H28. 11. 12	京都進学セミナー 峰山教室	小学校 5, 6 年 生
舞鶴高専出前授業 2016in 高浜中 「高専でロボットってつくれるの？」 「高専で自動車ってつくれるの？」	川田 昌克 山田耕一郎	H28. 11. 17	高浜中学校	1～2 年生
舞鶴高専出前授業 2016in 城南中 「光の力と化学反応を使ってカラフルな工作物を作ってみよう」	野毛 宏文	H28. 11. 19	城南中学校	1～3 年生
舞鶴高専出前授業 2016in 城南中 「LEGO MINDSTORM と iPad を利用したロボット製作と競技」	川田 昌克	H28. 11. 19	城南中学校	1～3 年生
舞鶴高専出前授業 2016in 城南中 「線と面で作る『小さな建築』の模型製作」	尾上 亮介	H28. 11. 19	城南中学校	1～3 年生
舞鶴高専出前授業 2016in 白糸中 光の力と化学反応を使って カラフルな工作物を作ってみよう	野毛 宏文	H28. 11. 20	白糸中学校	1～3 年生
舞鶴高専出前授業 2016in 白糸中 iPad を用いたプログラミング教室	川田 昌克 井上 泰仁	H28. 11. 20	白糸中学校	1～3 年生
舞鶴高専出前授業 2016in 白糸中 「防災学習～自然災害を学ぶ～」	加登 文学	H28. 11. 20	白糸中学校	1～3 年生
志楽小学校科学クラブ出前授業 「UVレジンの説明と それを使った簡単な工作」	内海 淳志	H28. 11. 22	舞鶴市立 志楽小学校	4～6 年生
朝来小学校出前授業 「音に反応して走る車を作ろう」	福井 繁雄 西川 隼人 石井 貴弘	H28. 11. 26	舞鶴市立 朝来小学校	4～6 年生
桂中学校出前授業 「工学（数値による制御）の大切さを体験しよう」	芦澤 恵太 高木 太郎 畑 亮次	H28. 11. 28	京都市立 桂中学校	2 年生
社会基盤メンテナンス教育センター 道路橋のメンテナンスに関する講義と実習	玉田 和也	H28. 12. 3	京都市立 伏見工業高校 ¹ 京都工学院高校 ²	1, 2 年生 ¹ 1 年生 ²
志楽小学校科学クラブ出前授業 「UVレジnakアクセサリ作り」	内海 淳志	H28. 12. 13	舞鶴市立 志楽小学校	4～6 年生
白糸中学校出前授業 「住まいの設計」	尾上 亮介 加登 文学 徳永 泰伸 渡部 昌弘 毛利 聡 西村 良平	H29. 1. 31 H29. 2. 2	白糸中学校	2 年生
京都府立聾学校舞鶴分校出前授業 「放射線と原子力防災について」	上杉 智子	H29. 2. 6	京都府立 聾学校舞鶴分校	1～5 年生

青葉中学校出前授業 「住まいの設計」	尾上 亮介 加登 文学 徳永 泰伸 渡部 昌弘 毛利 聡 西村 良平	H29. 2. 13 H29. 2. 14	青葉中学校	2 年生
舞鶴支援学校出前授業 「ハンダ基礎講習」	船木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次	H29. 3. 7	京都府立 舞鶴支援学校	舞鶴支援学校 教職員
舞鶴支援学校行永分校出前授業 「打楽器をたたくスイッチの製作実習」	船木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次	H29. 3. 24	京都府立 舞鶴支援学校	舞鶴支援学校 教職員
舞鶴支援学校出前授業 ・支援機器やタブレット端末の活用事例の交流 ・スイッチ等の教育支援具製作実習	船木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次	H29. 3. 27	京都府立 舞鶴支援学校	舞鶴支援学校 及び近隣支援 学校教員

産学連携事業

連携事業名称	連携先	実施期間	指導者
専攻科エンジニアリングデザイン演習	株式会社堀場製作所 株式会社日進製作所 加美電機株式会社	2016. 10 ~2017. 1	篠原正浩 豊田 香 船木英岳 野間正泰 奥村幸彦
製品開発に応用できる「機械加工」に関する質保障 推進のための教育コーディネーターを活用した技術 指導向上プログラムの実施	日東精工株式会社	2016. 11. 24	生水雅之
教育コーディネーターを活用した「工作，材料，機 械設計」の質的保障の推進とそれらの各種ねじの加 工，表面改質への応用	日東精工株式会社	2016. 4~ 2017. 3	山田耕一郎 生水雅之
機械設計開発のための最新の電気電子材料の適用事 例の学習	株式会社村田製作所	2016. 11. 18	野毛宏文
地域企業との連携による地域を担う機械技術者の育 成	オムロン株式会社 綾部工場	2016. 11	豊田 香 山田耕一郎 室巻孝郎

学外講演、講習、展示

人文科学部門

畑 恵里子	丹後の伝説に触れる，招待講演，宮津ライオンズクラブ例会，ホテル北野屋，宮津市，(2016. 11. 4)
	京都府北部地域を舞台とする伝説・物語・旧跡，招待講演，大学 COC 事業，中古文学会創立五十周年記念祝賀連携企画，舞鶴工業高等専門学校地域テクノアカデミア見学会・講演会，日東精工株式会社，綾部市，(2016. 11. 14)
児玉 圭司	公開講座，LEGO ロボットで障害物競走！，舞鶴市，(2017. 1. 15)
	講演，明治時代の罪と罰，志楽幼稚園，(2017. 3. 24)
牧野 雅司	講演「朝鮮通信使と日朝交流」(舞鶴市城南会館主催いきいきセミナー「ふるさと歴史講座」，於・舞鶴市城南会館，2016 年 12 月 10 日)

自然科学部門

小野伸一郎	講演「呼吸筋ストレッチ体操の実際」，NP0 安らぎ呼吸プロジェクト，福岡市，(2016. 5. 27)
	COC 事業・出前授業「呼吸筋ストレッチと老化防止」，舞鶴市中央公民館生き生きセミナー，60 名，舞鶴市，(2016. 7. 28)
	講演「運動がもたらす効果について」，平成 28 年度中丹地区スポーツ推進委員研修会，舞鶴市，(2016. 10. 27)
上杉 智子	公開講座「光であそぼう」，講師，はまっこ夜の市，商店街ラボ「よろず」，舞鶴市，(2016. 7. 2)
	公開講座「光であそぼう」，講師，高専祭，本館 B403 室，舞鶴市，(2016. 10. 30)
	公開講座「防災について学ぼう」，講師，中丹絆フェスタ，赤れんがパーク内赤れんが倉庫 4 号棟 2 階，舞鶴市，(2016. 11. 13)
	出前授業「放射線と防災についてまなぼう」，講師，京都府立聾学校舞鶴分校，舞鶴市，(2017. 2. 6)

機械工学科

生水 雅之	日東精工と舞鶴高専機械工学科の産学連携活動のご紹介，舞鶴高専地域テクノアカデミア，綾部市，(2016. 11. 14)
西山 等	ロボット展示，高専のロボットたちがやってくる 2016，志楽ダイヤモンド協議会，舞鶴市，(2016. 6. 26)
	出前授業，総合的な学習の時間「ぼく・わたしの未来」，舞鶴市立倉梯小学校，(2016. 7. 13)
	ロボコン展示，東舞鶴はまっこ夜の市，舞鶴市，(2016. 7. 16)
篠原 正浩	測定工具取り扱いの基礎と引張試験の実習，舞鶴工業集積協議会対象講座，舞鶴市（本校），(2017. 2. 4)
小林 洋平	空気抵抗の小さい浮子とルアーを作ろう，若狭湾フェスティバル，若狭青少年自然の家，(2016. 11. 19)
	空気抵抗の小さい浮子とルアーを作ろう，舞鶴高専公開講座，(2016. 11. 5、2017. 3. 18 予定)
山田耕一郎	第 11 回科博連サイエンス・フェスティバル，京都市青少年科学センター，(2017. 2. 5) 山田耕一郎，生水雅之，室巻孝郎，須田敦
須田 敦	公開講座「考えて動かそう！きみにもできるロボットづくり」，舞鶴工業高等専門学校機械工学科，舞鶴高専大会議室，(2016. 09. 03)
須田 敦	公開講座「3D-CAD を使ってみよう！パソコンで 3D モデル組立て」，舞鶴工業高等専門学校機械工学科，舞鶴高専 CAD 実習室，(2016. 09. 04)

	公開講座「レーザーカットした材料で乗り物を作ろう」, 科博連サイエンスフェスティバル, 京都市青少年科学センター, (2017. 02. 05)
	公開講座「デジタルファブリケーション入門! デジタル工作機械を使ってみよう」, 舞鶴工業高等専門学校機械工学科, 舞鶴高専地域共同テクノセンター1階 構造解析システム支援室, (2017. 03 予定)

電気情報工学科

平地 克也	第4回舞鶴高専パワーエレクトロニクス公開講座, 講師, メルパルク京都, (2016. 8. 20)
	第5回舞鶴高専パワーエレクトロニクス公開講座, 講師, メルパルク京都, (2017. 3. 18)
金山 光一	公開講座「光であそぼう」, 八島商店街 商店街ラボ「よろず」, 舞鶴市, (2016. 7. 2)
	公開講座「防災について学ぼう」, 高専祭, 舞鶴高専 B403 室, 舞鶴市, (2016. 10. 29-30)
	公開講座「防災について学ぼう」, 絆フェスタ, 赤れんがパーク (赤れんが 4 号棟 2 階), 舞鶴市, (2016. 11. 13)
船木 英岳	打楽器を叩くスイッチの製作・物体通過を検知するスイッチの製作, 出前授業, 京都府立舞鶴支援学校, 舞鶴市, (2017. 3. 27)
	打楽器を叩くスイッチの製作, 出前授業, 京都府立舞鶴支援学校, 舞鶴市, (2017. 3. 24)
	ハンダ基礎講習, 出前授業, 京都府立舞鶴支援学校, 舞鶴市, (2017. 3. 7)
	磁気スイッチの製作, 出前授業, 京都府立舞鶴支援学校, 舞鶴市, (2016. 8. 8)
	握りスイッチとタイマーの製作, 出前授業, 京都府立舞鶴支援学校, 舞鶴市, (2016. 8. 3)
内海 淳志	公開講座, 光であそぼう ～紫外線の効果～, 商店街ラボ「よろず」, 舞鶴市, (2016. 7. 9)
	公開講座, 第1回ナノテクノロジー体験教室, 舞鶴高専地域共同テクノセンター, 舞鶴市, (2016. 7. 24)
	公開講座, 夏休み親子工作教室 ～UV レジンアクセサリ作り～, 舞鶴市大浦会館, 舞鶴市, (2016. 8. 17)
	出前授業, 太陽光で色が変わるアクセサリ作り, みずなぎ鹿原学園, 舞鶴市, (2016. 10. 22)
	公開講座, 光であそぼう ～紫外線ストラップ作り～, 舞鶴高専, 舞鶴市, (2016. 10. 30)
	出前授業, UV レジン工作入門, 志楽小学校, 舞鶴市, (2016. 11. 22)
	イルミネーション展示, 舞鶴市イルミネーション設置事業, 東舞鶴駅, 舞鶴市, (2016. 12. 1～2017. 2. 28)
	公開講座, 第2回ナノテクノロジー体験教室, 舞鶴高専地域共同テクノセンター, 舞鶴市, (2016. 12. 3)
	公開講座, 親子クリスマスツリー作り教室, 舞鶴市大浦会館, 舞鶴市, (2016. 12. 4)
	出前授業, 光る UV レジンアクセサリを作ろう, 志楽小学校, 舞鶴市, (2016. 12. 13)
	出前授業, 光であそぼう ～紫外線の効果～, あすなろ会, 京都市, (2017. 2. 25)
	出前授業, 光であそぼう ～紫外線の効果～, 志塾, 亀岡市, (2017. 2. 25)
丹下 裕	支援機器やタブレット端末の活用事例の交流、およびスイッチ等の教育支援具製作実習, 出前授業, 京都府立舞鶴支援学校, 舞鶴市, (2017. 3. 27)
	打楽器をたたくスイッチの製作実習, 出前授業, 京都府立舞鶴支援学校, 舞鶴市, (2017. 3. 24)
	ハンダ基礎講習, 出前授業, 京都府立舞鶴支援学校, 舞鶴市, (2017. 3. 7)
	目の錯覚を利用したスキャニメーションの製作, 公開講座, 舞鶴工業高等専門学校, 舞鶴市, (2017. 2. 25)
	音に反応して走る車を作ろう, 公開講座, 志楽小学校区地域放課後児童クラブ, 舞鶴市, (2017. 2. 27)
	フルカラーLED で七色に光るクリスマスツリーを作ろう!! , 公開講座, 舞鶴工業高等専門学校, 舞鶴市, (2016. 12. 10)

	「現役舞鶴高専生が開発した福祉機器の体験」, キッズ☆バリアフリーフェスティバルしちゃった in まいづる, 舞鶴工業高等専門学校, 舞鶴市, (2016. 11. 19).
	磁気スイッチの製作, 出前授業, 京都府立舞鶴支援学校, 舞鶴市, (2016. 8. 8)
	握りスイッチとタイマーの製作, 出前授業, 京都府立舞鶴支援学校, 舞鶴市, (2016. 8. 3)
	振れば絵が出る残像イルミネーション！！, 出前授業, 京都府立舞鶴支援学校, 舞鶴市, (2016. 6. 21, 2016. 7. 12).
井上 泰仁	iPad を用いたプログラミング教室, 白糸中学校, 舞鶴市, (2016. 11. 21)

電子制御工学科

野間 正泰	COC 事業・出前授業「水の流れをマッピングしてみよう!」, 「自動車のまわりの流れを見てみよう!」, 舞鶴市立三笠小学校, 1 年生 33 名, 2 年生 29 名, 舞鶴市, (2016. 7. 14)
川田 昌克	制御実験で学ぶ PID 制御の基礎とモデルベース設計による制御性能向上のポイント, 講師, 日本テクノセンター, 大阪市, (2016. 7. 8)
	平成 28 年度制御技術教育講座, 講師, 日本鉄鋼協会 計測・制御・システム工学部会, 東京, (2017. 2. 2)
	制御実験で学ぶ PID 制御の基礎とモデルベース設計による制御性能向上のポイント, 講師, 日本テクノセンター, 大阪市, (2017. 3. 3)
清原 修二	公開講座「第 1 回ナノテクノロジー体験教室」, 舞鶴高専地域共同テクノセンター, 舞鶴市, (2016. 7. 24)
	公開講座「第 2 回ナノテクノロジー体験教室」, 舞鶴高専地域共同テクノセンター, 舞鶴市, (2016. 12. 3)
石川 一平	公開講座「光であそぼう」, はまっこ夜の市, 商店街ラボ「よろず」, 舞鶴市, (2016. 7. 16)
	公開講座「第 1 回ナノテクノロジー体験教室」, 舞鶴高専地域共同テクノセンター, 舞鶴市, (2016. 7. 24)
	公開講座「第 2 回ナノテクノロジー体験教室」, 舞鶴高専地域共同テクノセンター, 舞鶴市, (2016. 12. 3)

建設システム工学科

四蔵 茂雄	平成 28 年度ネイチャーガイド養成講座講師 (2016. 9. 6)
玉田 和也	京都府北部・橋りょう維持管理研修会, 講師, 京都府及び 8 市町, 第 1 回舞鶴市 (2016. 5. 12), 第 2 回綾部市 (2016. 6. 9), 第 3 回福知山市 (2016. 7. 7), 第 4 回綾部市 (2016. 8. 5), 第 5 回綾部市 (2016. 9. 1), 第 6 回宮津市 (2016. 10. 13), 第 7 回綾部市 (2016. 10. 25), 第 8 回綾部市 (2016. 11. 17), 第 9 回京都市 (2016. 12. 15)
	地方自治体の技術者向け学び直し講座, 京都府, 第 1 回 (2016. 8. 5) ~ 第 4 回 (2016. 11. 17)
	社会基盤の長寿命化について, 講演者, 平成 28 年度宮津建設協会, 技術講習会, 宮津市, (2016. 7. 21)
	iMec 講習会, 講師, (2016. 5. 14, 5. 26, 6. 11, 6. 23, 7. 23, 7. 25, 8. 6, 9. 3, 9. 15, 11. 19, 11. 24, 12. 8, 3. 11) 基礎編 13 回, (2016. 10. 21, 10. 31) 応用編 2 回, 非破壊検査 2 回, コンクリートの品質管理 2 回
	橋梁上部工の設計, 維持管理 (鋼橋), 講師, 愛媛大学 ME 要請講座, 松山市, (2016. 9. 28)
	京都府北部における土木技術者の再教育, 講演者, 岐阜大学シンポジウム「あたりまえのまちのために」, 名古屋市, (2017. 2. 3)
尾上 亮介	公開講座「いえをつくろう 1・2」よろず 商店街・まちづくり研究所, 舞鶴市 (2016. 7)
	宮津景観シンポジウム, パネラー, 宮津市 (2016. 11)
	出前授業「線と面で作る小さな建築」, 講師, 舞鶴市立城南中学校, 舞鶴市 (2016. 12)
	出前授業「住宅プランニング」, 講師, 舞鶴市立白糸中学校, 舞鶴市 (2017. 1)
	宮津文化的景観フォーラム, パネラー, 宮津市 (2017. 2)

	展示「商店街のゲストハウス」、よろず 商店街・まちづくり研究所，舞鶴市（2017. 2）
加登 文学	出前授業「住宅プランニング」，舞鶴市立白糸中学校，舞鶴市，（2017. 1. 31，2. 1）
	出前授業「住宅プランニング」，舞鶴市立青葉中学校，舞鶴市，（2017. 2. 13，14）
	出前授業「防災学習～自然災害を学ぶ～」，舞鶴市立白糸中学校，舞鶴市，（2016. 11. 20）
	公開講座「ダンボールであそんで防災について学ぼう」，八島商店街商店街ラボ「よろず」，舞鶴市，（2016. 7. 23）
	公開講座「防災について学ぼう」，中丹絆フェスタ，赤れんがパーク 4 号棟，舞鶴市，（2016. 11. 13）
徳永 泰伸	出前授業「住宅プランニング」，講師，舞鶴市立白糸中学校，舞鶴市，（2017. 1. 31）
	出前授業「住宅プランニング」，舞鶴市立青葉中学校，舞鶴市，（2017. 2. 13）
渡部 昌弘	出前授業「住宅プランニング」，舞鶴市立白糸中学校，舞鶴市，（2017. 1. 31，2. 1）
	出前授業「住宅プランニング」，舞鶴市立青葉中学校，舞鶴市，（2017. 2. 14）

教育研究支援センター

古林 達哉	赤れんがフェスタ in 舞鶴 2016 展示，舞鶴赤れんがパーク，舞鶴市，（2016. 10. 22-23）
	科学の祭典展示，石川県津幡町文化会館 シグナス，（2016. 12. 10）

地域共同テクノセンター技術相談

	相談内容	対応教員	備考
1	地域貢献文化交流の一環である「佛舞」に関する質疑並びに TV 出演	村上美登志	○
2	イスラム墓地について詳しい研究者を紹介した	吉永進一	○
3	地元の文学・文化に関する教育・普及活動についての相談	畑恵里子	○
4	市内の史蹟（中世の山城跡）の保存・活用についての相談	牧野雅司	○
5	市域の古文書の整理・活用についての相談	牧野雅司	○
6	近世の両替商や北前船の活動についての質問	牧野雅司	○
7	近世丹後地域の海に関する資料の活用と研究の推進についての相談	牧野雅司	○
8	近代丹後地域における商業活動と朝鮮半島との関係についての質問	牧野雅司	○
9	養蚕を自動機とロボットを使って復活させたい。 最終的には無人養蚕を目指したい（2 回目の技術相談）	機械工学科	○
10	舞鶴集積工業会向け公開講座の実施内容の打合せ	機械工学科	○
11	京都府流域下水道設備に関する共同研究の打診	機械工学科	○
12	舞鶴市聖地化プロジェクト（スタンプラリーのはんこ製作依頼）	機械工学科	○
13	ホーニング加工における砥石の基礎的研究	生水雅之	○
14	バーナーでのすす堆積事例について	野毛宏文	○
15	EFB の分析、研究者の紹介、EFB 固体燃料形成方法について、 PAO の使用例、PAO 熱量分析、PAO 無機物分析、その他多数、 合計 40 回程度	野毛宏文	○
16	パーム酸油の改質に関する技術相談、50 回程度	野毛宏文	○
17	農作物の自動収穫について	須田 敦	○
18	車いすについて	須田 敦	○
19	農作物の自動収穫について	須田 敦	○
20	農作物の自動収穫について	須田 敦	○
21	農作物の自動収穫について	須田 敦	○
22	農作物の自動収穫について	須田 敦	○
23	起立動作や起立補助に関する装置に関して	室巻, 須田	○
24	起立動作や起立補助に関する装置に関して	室巻, 須田	○
25	産業用機械の自動化について	室巻, 須田	○
26	起立動作や起立補助に関する装置に関して	室巻, 須田	○
27	車いすに関して	室巻, 須田	○
28	産業用機械の自動化について	室巻, 須田	○
29	起立動作や起立補助に関する装置に関して	室巻, 須田	○
30	起立動作や起立補助に関する装置に関して	室巻, 須田	○
31	起立動作や起立補助に関する装置に関して	室巻, 須田	○
32	起立動作や起立補助に関する装置に関して	室巻, 須田	○
33	養蚕を自動機とロボットを使って復活させたい。 最終的には無人養蚕を目指す。（打合せのみ）	平地, 川田 須田, 生水	○
34	インバータのデジタル制御の勉強方法	平地克也	○
35	電解コンデンサレスで 250W のマイクロインバータを開発したい	平地克也	○
36	LLC 方式は普通の HB よりも非対称 HB が一般的な理由	平地克也	○
37	位相シフトフルブリッジ方式についていろんな質問	平地克也	○
38	位相シフトフルブリッジ方式の偏磁について教えてほしい	平地克也	○
39	ホーニングマシンの砥石の改良に関する基礎的研究の依頼	平地克也	○

4 0	PFC コンバータの論文発表について	平地克也	○
4 1	DC モータの制御に関する技術セミナーの講師を務めてほしい	平地克也	○
4 2	磁束密度の計算式について	平地克也	○
4 3	原発廃炉処置に関する技術開発募集への共同での応募	平地克也	○
4 4	電流型プッシュプル方式 DD コンの FET のサージ電圧抑制方法	平地克也	○
4 5	次回舞鶴高専パワーエレクトロニクス公開講座の内容についての希望	平地克也	○
4 6	パワーエレクトロニクス出前授業の依頼	平地克也	○
4 7	チョッパ回路の伝達関数導出方法	平地克也	○
4 8	車載用 DD コンに関する各種技術課題	平地克也	○
4 9	下水道設備のメンテナンスの自動化の技術協力依頼	平地克也	○
5 0	人工養蚕の技術協力依頼	平地克也	○
5 1	変圧器の電源投入時の磁束密度計算式について	平地克也	○
5 2	チャージポンプ方式の出力電圧可変方法	平地克也	○
5 3	インバータの基礎に関するいろんな質問	平地克也	○
5 4	自動織機の性能向上について	金山光一	○
5 5	圧電デバイスについて	金山光一	○
5 6	障害者のための iPad 用スイッチデバイスの技術相談	丹下, 中川	○
5 7	マイクロ部品（可動マイクロギヤ）の実用化について	清原修二	○
5 8	PID 制御に関する技術セミナーの講師を務めてほしい	川田昌克	○
5 9	PI, PD 制御, I-PD 制御の目的に応じた使い分けを教えてください	川田昌克	○
6 0	PID 制御に関する資料を提供してほしい	川田昌克	○
6 1	日本鉄鋼協会の制御技術教育講座で講師を務めてほしい	川田昌克	○
6 2	PID 制御に関する技術セミナーの講師を務めてほしい	川田昌克	○
6 3	神崎浜の侵食状況調査に関する相談	三輪 浩	○
6 4	河口砂州の観測について	三輪 浩	○
6 5	PC プレテン床版橋において、床版下面（床版間詰部）からの遊離石灰が確認された場合の補修工法についての相談	玉田和也	○
6 6	PC プレテン床版橋において、PC 定着部（横締め）からの遊離石灰が確認された場合の補修工法についての相談	玉田和也	○
6 7	鉛を含む塗装塗替えの対応について、小規模な橋の場合、最低限とすべき対応についての相談	玉田和也	○
6 8	大和橋の健全性評価についての相談	玉田和也	○
6 9	橋面舗装に関する簡易補修工法についての相談	玉田和也	○
7 0	舞鶴国際観光都市商店街化戦略会議について	尾上亮介	○
7 1	空き店舗活用について	尾上亮介	○
7 2	商店街で展開する民泊シェアハウス、ゲストハウスについて	尾上亮介	○
7 3	商店街創成支援プロジェクト事業について -商店街活性化-	尾上亮介	○
7 4	空き屋活用による I・U ターン者用住宅について	尾上亮介	○
7 5	多目的ホールの天井改修工事に関して、改修前後の音響性能の評価方法について相談	徳永泰伸	○
7 6	コンクリート工事における初期欠陥の低減に関する研究を実施したい	毛利 聡	○

備 考：○印……本校で対応した相談

■印……他の機関に紹介した相談

地 域 委 員

校長

齋藤 福栄	舞鶴市青少年問題協議会, 委員, (2015. 9～2017. 8)
	舞鶴市公共交通ネットワーク会議, 委員, (2015. 10～2019. 10)
	舞鶴市みらい戦略推進会議, 委員, (2015. 7～2020. 3)

人文科学部門

荒川 吉孝	中部日本海高専国際化推進委員会, 委員長, (2016. 4～2017. 3)
垂谷 茂弘	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター・倫理委員会, 委員, (2016. 6～2017. 3)
	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター・臨床倫理委員会, 委員, (2016. 11～2017. 3)
畑 恵里子	舞鶴市文化財保護委員, (2015. 1. 1～2017. 3)
児玉 圭司	舞鶴市情報公開・個人情報保護審査会, 委員, (2010. 6～2018. 5 (予定))
	舞鶴市情報公開・個人情報保護審議会, 委員, (2013. 1～2019. 1 (予定))
	舞鶴市行政不服審査会, 委員, (2016. 6～2018. 5 (予定))
	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター・臨床倫理委員会, 委員, (2016. 6～2017. 3)
	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター・倫理委員会, 委員, (2016. 11～2017. 3)
	綾部市行政不服審査会, 委員, (2016. 12～2018. 12 (予定))
牧野 雅司	第 16 回全国藩校サミット舞鶴大会実行委員会、実行委員 (2016～2018)

機械工学科

西山 等	舞鶴工業高等専門学校同窓会, 理事, (2016. 4～2017. 3)
	きのくにロボットフェスティバル 2016, 全日本小・中学生ロボット選手権・きのくに高校生ロボットコンテスト, 特別賞審査員, 和歌山県他, 御坊市, (2016. 12. 18)
豊田 香	京都府流域下水道共同研究に係る京都府流域下水道共同研究技術審査委員会, アドバイザー, (2016. 12～)
小林 洋平	社会実装プロジェクト, 実行委員, (2016. 4～2017. 3)
	廃炉創造ロボコン、実行委員, (2016. 4～2017. 3)

電気情報工学科

中川 重康	舞鶴市公共工事事故調査委員会, 委員, (2015. 4～2017. 3)
	舞鶴こども発明クラブ, 指導員, (2016. 7～2017. 2)
片山 英昭	おおい町, 学校 ICT 活用アドバイザー, (2015. 7～2016. 3)
井上 泰仁	特定非営利活動法人プレアヴィヒアものづくりの会, 理事, (2016. 11～)

電子制御工学科

金森 満	舞鶴市高等教育機関等連携会議, 委員, (2015. 4. 1～2016. 3. 31)
	京都工芸繊維大学 COC 事業 K16 推進協議会, 委員, (2015. 4. 1～2016. 3. 31)
奥村 幸彦	舞鶴工業高等専門学校同窓会, 理事長, (2014. 9～)

石川 一平	舞鶴工業高等専門学校同窓会，理事長，（2016.4～2017.3）
-------	-----------------------------------

建設システム工学科

高谷 富也	ACM ブレース研究会，幹事会員（2016.4～2017.3）
高谷 富也	舞鶴市公共工事事故対策会議，委員長（2016.4～2017.3）
	畜産クラスター計画委員会，委員（2016.7～2017.3）
四蔵 茂雄	舞鶴市新たな都市計画制度検討会委員，（2015.8～）
	舞鶴市水道事業審議会委員，（2015.7～）
玉田 和也	舞鶴市入札監視委員会，委員，（2016.4～2017.3）
	舞鶴市地域公共交通会議，委員，（2016.4～2017.3）
	府民公募型安心・安全整備事業審査委員会（中丹広域振興局），座長，（2016.8～2017.3）
	国土交通省近畿地方整備局，橋梁ドクター，（2016.4～2017.3）
	国土交通省近畿地方整備局，近畿地方整備局新技術活用評価会議，委員，（2016.7～2017.3）
尾上 亮介	舞鶴市都市計画審議会，委員，（2016.4～）
	宮津市都市計画審議会，会長，（2016.4～）
	宮津市景観審議会，委員，会長職務代理，（2016.11～）
	宮津市文化的景観検討委員会，委員，（2008.11～）
	綾部市都市計画審議会，会長，（2016.4～）
	福知山都市計画審議会，委員，（2016.10～）
	福知山景観審議会，委員，（2016.12～）
	宮津市景観デザイン委員会，委員長，（2014.7～）
	与謝野町都市計画審議会，委員長，（2015.3～）

教育研究支援センター

能勢 嘉朗	福井県おおい町教育委員会，学校 ICT 活用アドバイザー，（2015.7～）
古林 達哉	福井県おおい町教育委員会，学校 ICT 活用アドバイザー，（2015.7～）

報 道 記 事

報道記事一覧	1 5 4
--------------	-------

報道記事一覧

見 出 し	掲載紙(誌)	掲 載 年 月 日
英語の楽しさ知った 舞鶴の生徒 帰国報告	読 売 新 聞	平成28年 4月 6日 (水)
英国訪問 勉強に意欲 舞鶴の中高生9人、帰国し報告 (舞鶴高専1年 奥田真さんら)	京 都 新 聞	平成28年 4月 8日 (金)
中高生帰国報告 もっと語学力をつけたい 英国ポーツマス市へ英語研修 (舞鶴高専2年 鈴木諒さんら)	舞鶴市民新聞	平成28年 4月15日 (金)
春の叙勲 府から90人 瑞宝中綬賞 荻野文丸(元舞鶴高専校長)	読 売 新 聞	平成28年 4月29日 (金)
【商店街巡礼 63】 大阪の古書店街「阪急古書のまち」 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成28年 4月30日 (土)
小浜・町並み保存資料館 重伝建 耐震高め後世へ 「住民に警鐘を」 舞鶴高専が評価実験	福 井 新 聞	平成28年 5月11日 (水)
【ウは「京都」のウ】 静坐社のたそがれ (上) (人文科学部門 吉永進一教授に取材)	京 都 新 聞	平成28年 5月25日 (水)
【ウは「京都」のウ】 静坐社のたそがれ (下) (人文科学部門 吉永進一教授に取材)	京 都 新 聞	平成28年 5月26日 (木)
運動 日常習慣化へ実験 舞鶴高専と市 腕時計型活動量計で (自然科学部門 小野伸一郎教授)	京 都 新 聞	平成28年 5月27日 (金)
市内4校のおいしさを一冊に 在校生が語る母校の魅力 (舞鶴市高等教育機関等連絡会議「舞鶴の高校・高専で学ぼう！」2000部作成)	舞鶴市民新聞	平成28年 5月27日 (金)
知っているようで知らない？市内学校めぐり 第1回 舞鶴工業高等専門学校	広報まいづる	平成28年 6月 1日 (水)
【商店街巡礼 64】 京都最長の商店街「新大宮商店街」 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成28年 6月 3日 (金)
【まちかど】 夕涼みコンサート 6/18 松尾寺駅前観光交流施設 (舞鶴高専軽音楽部、吹奏楽部)	京 都 新 聞	平成28年 6月15日 (水)
舞鶴の進学先 特色紹介 中学生対象にパンフレット (「舞鶴の高校・高専で学ぼう！」)	京 都 新 聞	平成28年 6月18日 (土)
高専と舞鶴市の共同研究 運動習慣支援の実証実験	舞鶴市民新聞	平成28年 6月21日 (火)

見 出 し	掲載紙(誌)	掲 載 年 月 日
ロボットに興味津々 舞鶴・志楽小 高専生操作教える	京 都 新 聞	平成28年 6月27日(月)
2016 はまっこ夜の市 7/2、9、16、23 光のワークショップ、クラフトワークショップ、 ロボコン展示など 舞鶴高専サテライトラボ「よろず」	折り込みチラシ	平成28年 7月 1日(日)
ロボットがつむぐ地域の笑顔 志楽ダイヤモンド協議会 ふれあいイベント開催 高専ロボット大集合	舞鶴市民新聞	平成28年 7月 1日(金)
【商店街巡礼 65】 京都の花街「上七軒」 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成28年 7月 1日(金)
舞鶴東西商店街 今年も「夜の市」 (舞鶴高専が商店街に置くラボ「よろず」でレン ズを使った光の実験など)	京 都 新 聞	平成28年 7月 2日(土)
第98回全国高校野球選手権大会 9日から京都大会開幕 舞鶴高専 投手リレーで相手を翻弄	舞鶴市民新聞	平成28年 7月 8日(金)
「最後まで付いてきてくれてありがとう」 (舞鶴高専野球部・石川一平監督)	朝 日 新 聞	平成28年 7月13日(水)
舞鶴高専生行う科学体験会来て 八島商店街	京 都 新 聞	平成28年 7月16日(土)
人とまち守る技術者目指す 舞鶴高専生 防災士に 37人取得 専門科目で意欲高め	京 都 新 聞	平成28年 7月20日(水)
駅前電飾やゲーム開発 舞鶴高専 30、31日に公開実験	京 都 新 聞	平成28年 7月21日(木)
高専 防災意識を常に心に 初の防災士誕生	舞鶴市民新聞	平成28年 7月22日(金)
平成28年 一暑中特集号— 舞鶴高専オープンキャンパス開催 中学生大歓迎	舞鶴市民新聞	平成28年 7月22日(金)
舞鶴高専 第32回定期演奏会 学生とOB・OGの手づくり演奏会 (吹奏楽部)	舞鶴市民新聞	平成28年 7月26日(火)
創造工学 地域課題解決案を提案 舞鶴高専 まちに起こす化学変化	舞鶴市民新聞	平成28年 7月29日(金)
旧丸山小の保存活用策提案 舞鶴高専生、市会と意見交換	京 都 新 聞	平成28年 8月 9日(火)
松尾ゴボウ復活への道 舞鶴発 新たな京野菜 地域 行政 学生がともに汗かき普及格闘活動 (舞鶴高専学生が2年前から参加)	舞鶴市民新聞	平成28年 8月23日(火)
はるかなる時 語り継ぐ記憶 29日まで「満鉄の記憶典」開催 (舞鶴高専からボランティアの協力)	舞鶴市民新聞	平成28年 8月23日(火)

見 出 し	掲載紙(誌)	掲 載 年 月 日
【募集】舞鶴工業高等専門学校とのウェアラブル端末を活用した運動習慣支援に関する実証実験のモニター (舞鶴市健康づくり課)	舞鶴市民新聞	平成28年 8月23日(火)
【商店街巡礼 66】 北野天満宮のおひざもと「北野商店街」 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成28年 8月26日(金)
夢は世界で活躍するグローバルエンジニア 高専の吉田さん2年連続受賞の快挙 (精密工学会関西地方定期学術講演会ベストポスタープレゼンテーション賞)	舞鶴市民新聞	平成28年 9月 2日(金)
かやぶき美術館 耐震性調査 震度6強でも大丈夫 美山 舞鶴高専生がまとめ	京 都 新 聞	平成28年 9月 3日(土)
おおい・名田庄の県文化財 薬師堂に免震性 舞鶴高専教授が評価 (建設システム工学科 高谷富也教授)	福 井 新 聞	平成28年 9月 5日(月)
東舞鶴再開発 高専生が発表 市に提案へ	京 都 新 聞	平成28年 9月16日(金)
【商店街巡礼 67】 妖怪ストリート「大將軍商店街」 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成28年 9月30日(金)
JR 松尾寺駅舎すっきり 舞鶴高専生や住民清掃	京 都 新 聞	平成28年10月 2日(日)
人口減抑制へ意見交換 舞鶴で市民レビュー	京 都 新 聞	平成28年10月 3日(月)
母国で活かす技術 舞鶴で学ぶ 舞鶴高専で JICA 研修 アフリカから14カ国14人が参加	舞鶴市民新聞	平成28年10月11日(火)
記録を塗りかえ記憶に残る高専祭 技術と創造の融合 地域も学生も趣向を凝らして	舞鶴市民新聞	平成28年11月 8日(火)
まいづる環境市民賞 2団体1人 「名水の里杉山」など まいづる環境市民会議 (会長=尾上亮介・舞鶴高専教授)	読 売 新 聞	平成28年11月12日(土)
舞鶴を照らす光のイルミネーション ポリテク、高専学生らが仮点灯作業	舞鶴市民新聞	平成28年11月25日(金)
【催し】 第41回情報科学センター講演会 12/1 舞鶴高専大会議室	舞鶴市民新聞	平成28年11月25日(金)
【まちかど】 情報科学センター講演会 12/1 舞鶴高専	京 都 新 聞	平成28年11月29日(火)

見 出 し	掲載紙(誌)	掲 載 年 月 日
【シリーズ市政の今】 健康に暮らせるまちづくり (舞鶴高専と共同・連携し、運動を習慣化する取り組み)	広報まいづる	平成28年12月 1日(木)
学生デザイン電飾キラキラ 舞鶴高専とポリテク京都 JR東・西舞鶴両駅に	京 都 新 聞	平成28年12月 2日(金)
【商店街巡礼 68】 京都市内北部の交通拠点「北大路商店街」 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成28年12月 2日(金)
旧丸山小 耐震性調べる 舞鶴高専生 木造校舍活用目指す	京 都 新 聞	平成28年12月 6日(火)
駅前イルミネーション 学生らの技術の結晶 ポリテクカレッジ京都・舞鶴高専	舞鶴市民新聞	平成28年12月 9日(金)
死刑制度を考える 舞鶴高専生 廃止是非を議論 団藤・元最高裁判事著書 教材に	読 売 新 聞	平成28年12月16日(金)
ビジネス・エンカレッジフェア2016 ～関西のものづくりが未来を描く～ (舞鶴高専からも出展)	日本経済新聞	平成28年12月20日(火)
平成29年新春特別号 「謹賀新年」 国立舞鶴工業高等専門学校	舞鶴市民新聞	平成29年 1月 1日(金)
【商店街巡礼 69】 北野天満宮「天神さん」 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成29年 1月13日(金)
日本最大のハッカー大会「SECCON2016」 (本校の学生が出場)	京 都 新 聞	平成29年 1月30日(月)
舞鶴市PR動画完成 感動、大きく映し出す 高校生と高専生が制作	毎 日 新 聞	平成29年 2月 3日(金)
学生目線で舞鶴「案内」 PR動画完成、YouTubeで公開中	産経ニュース	平成29年 2月 5日(日)
Made in 学生 舞鶴市PR動画完成 (西高、東高、舞鶴高専、日星高の学生10人)	舞鶴市民新聞	平成29年 2月 7日(火)
原子力防災学習「放射線って何？」 舞鶴高専の専門家招き、府立聾学校で	毎 日 新 聞	平成29年 2月 7日(火)
聾学校の児童ら放射線特徴学ぶ 舞鶴で原子力防災学習 (自然科学部門・上杉准教授)	朝 日 新 聞	平成29年 2月 7日(火)
若者目線で市PR動画 舞鶴の3高と高専の生徒・学生 共同制作	京 都 新 聞	平成29年 2月11日(土)
【催し】舞鶴高専空き家再利用の研究発表会 12/1 舞鶴市西市民プラザ向かいの空き家で	舞鶴市民新聞	平成29年 2月17日(金)
ベンチで木造校舍眺めて 舞鶴高専生 旧丸山小に製作	京 都 新 聞	平成29年 2月25日(土)

見 出 し	掲載紙(誌)	掲 載 年 月 日
橋 170 基早期修繕必要 府北部自治体 改修費確保に不安 (舞鶴高専 3 年前に社会基盤メンテナンス教育センターを立ち上げ)	京 都 新 聞	平成 2 9 年 2 月 2 6 日 (日)
舞鶴 P R 動画 若い感性 高校生と高専生 出演、脚本、撮影 ドローン使いロケ 投稿サイトで公開	読 売 新 聞	平成 2 9 年 2 月 2 7 日 (月)
舞鶴高専生が土木・建築フォーラム 空き店舗 交流の場に改装 ゲストハウス化 にぎわいづくり提案	京 都 新 聞	平成 2 9 年 2 月 2 8 日 (火)
舞鶴 P R 動画 市内の高校生たちが制作	広報まいづる	平成 2 9 年 3 月 1 日 (水)
舞鶴の兄弟 市優秀文化賞 全日本ロボ選手権で好成績	読 売 新 聞	平成 2 9 年 3 月 1 日 (水)
児童 橋の迫力に驚き 舞鶴で河川国道事務所、授業 (講師に建設システム工学科・玉田教授)	京 都 新 聞	平成 2 9 年 3 月 7 日 (火)
舞鶴高専と市が連携 空き家が魅力的な解放空間へ	舞鶴市民新聞	平成 2 9 年 3 月 7 日 (火)
旧丸山小に新たなスポット 若き感性 廃校で躍動 (舞鶴高専学生が設計から施工まで)	舞鶴市民新聞	平成 2 9 年 3 月 1 4 日 (火)
舞鶴高専生・豊浦さん 旧三上家住宅(宮津)を卒業研究 3D モデルで活用策提案 寸法や状態調査、耐震性も評価	京 都 新 聞	平成 2 9 年 3 月 2 3 日 (木)
【商店街巡礼 70】 伊勢神宮の参道「おはらい町」 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成 2 9 年 3 月 2 4 日 (金)
【ソフィア 京都新聞文化会議】 奈良監獄 刑罰近代化の象徴 (人文科学部門・児玉圭司准教授)	京 都 新 聞	平成 2 9 年 3 月 3 1 日 (金)

編集後記

今年も無事に舞鶴高専年報を発行できることとなりました。

平成28年6月には改正公職選挙法が施行され、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられました。参政権の拡大は71年ぶりです。平成28年7月の参院選から、本校の学生の多くもこの改正で新たに投票する権利を得ました。

近年、人工知能や機械学習技術が進展するなどして、ロボットや自動車の自動運転など新しい技術が生まれ発展し続けています。それに伴い、求められる技術者像も大きく変化してきています。

舞鶴高専を取り巻く社会情勢や国際情勢は激動の様相を見せていますが、過去の記憶や記録は、その先行きを照らす灯明となります。

舞鶴高専の1年を記録したこの年報も、そうした記録の一つとして読んでいただけたらと期待します。

(S. O)

舞鶴高専年報－2016年度の教育・研究活動－(第14号)

平成30年1月31日 発行

発行 舞鶴工業高等専門学校広報委員会

〒625-8511

舞鶴市字白屋234番地

TEL 0773-62-5600

FAX 0773-62-5558

編集 舞鶴工業高等専門学校

広報委員会「年報」WG

座長 奥村 昌司

委員 船木 英岳

Annual Report 2016

– Education and Research Activities–



National Institute of Technology, Maizuru College

No.14 April 2017